

地図で見る統計  
(jSTAT MAP)

# 操作説明書

---

第 2.5 版  
令和 7 年 3 月



独立行政法人  
統計センター

変更履歴

版数	年月日	変更内容
0.0	2018年1月	初版
1.0	2019年4月	ジオコーディング件数等の変更
1.1	2019年7月	・1.1.1 起動:e-Statトップ画面を最新に更新 ・4.3.7 ユーザデータの集計:ユーザデータ削除方法を追加
1.2	2019年9月	・2.1.2 経路距離(徒歩/車)を削除 ・2.5 最寄駅検索を削除
1.3	2020年2月	・4.1.1.1 プロットアイコンの登録:PNG形式のみに変更
1.4	2020年4月	・1.4.4 行政界レイヤーの表示→3次メッシュレイヤーの表示機能を追加し、「行政界レイヤー、3次メッシュレイヤーの表示」に変更 ・「1.4.5.5 メッシュコードによる移動」を新規追加 ・3.4 ツアー→「操作ガイド」に変更 ・3.5 その他→「マニュアル等」に変更
1.5	2020年5月	・3.3.1.5 ユーザ統計インポート 選択した統計調査境界との照合(チェック)を追加 ・4.1.2 ジオコーディングでのプロット登録 ・4.1.3 緯度経度付きファイルでのプロット登録 既存プロットグループへの追加登録機能を追加
1.6	2020年9月	1.4.7 GoogleMapsでの注意 「斜め画像」について、プロットなどのオーバーレイ表示時の注記を変更 4.1.2 ジオコーディングでのプロット追加 1日あたりの最大件数を変更、1月あたりの最大件数制限を追加
1.7	2021年4月	1.1.2 のログインの画面の変更 3.6 「お問い合わせ」追加
1.8	2022年4月	1.4.4 行政界レイヤー、3次メッシュレイヤーの表示変更
1.9	2022年8月	1.4.4 行政界レイヤー、3次元メッシュレイヤーの表示変更 行政界プルダウン画像の変更 4.4.2 リッチレポート 「調査年次」ドロップダウンリストに「令和2年国勢調査」を追加 4.4.3 リッチレポート標準シートの構成 (8)人口・世帯数増減を令和2年国勢調査との比較に更新
2.0	2023年1月	2022年度改修
2.1	2023年12月	4.4.2 リッチレポート 到達圏エリア:車/時速/時間(分)の条件変更
2.2	2024年1月	3.3.1.1 シェープファイルインポートの属性ファイルの対応文字コードの変更
2.3	2024年4月	1.4.4.3 防災情報レイヤの表示を追加
2.4	2024年12月	・4.3 統計グラフ作成「統計データタブ」の変更 プルダウンの順序変更 「指標/データ」欄の選択形式追加(事項項目選択形式) ・統計データに関連する項目名称変更 「調査名」→「統計名」 「年」→「年または年月」 「集計単位」→「集計地域」 「統計表」→「統計表(表題)」
2.5	2025年3月	・4.4.2 リッチレポート 「調査年次」ドロップダウンリストに「令和3年経済センサス」を追加

# 目次

<b>1 はじめに</b> .....	<b>1-1</b>
1.1 起動とログインの方法 .....	1-1
1.1.1 起動 .....	1-1
1.1.2 ログインの方法 .....	1-2
1.2 基本構成・用語説明 .....	1-2
1.2.1 メイン画面構成 .....	1-2
1.2.2 左パネルの構成 .....	1-3
1.2.3 プロット、エリア、統計グラフ .....	1-3
1.3 ツールチップ表示 .....	1-4
1.4 地図操作 .....	1-4
1.4.1 GoogleMaps 操作 .....	1-4
1.4.2 地図上からの移動 .....	1-4
1.4.3 背景地図の変更 .....	1-5
1.4.4 行政界、3次メッシュ、防災情報レイヤの表示 .....	1-6
1.4.4.1 行政界レイヤ .....	1-6
1.4.4.2 3次メッシュレイヤ .....	1-7
1.4.4.3 防災情報レイヤ .....	1-7
1.4.5 地理院 Vector 合成表示 .....	1-8
1.4.6 住所、郵便番号検索 .....	1-9
1.4.6.1 住所検索 .....	1-9
1.4.6.2 施設検索 .....	1-9
1.4.6.3 郵便番号検索 .....	1-9
1.4.6.4 座標値による移動 .....	1-9
1.4.6.5 メッシュコードによる移動 .....	1-9
1.4.7 現在地への移動 .....	1-10
1.4.8 GoogleMaps での注意 .....	1-10
1.4.9 国土地理院地図の利用について .....	1-10
1.5 画面操作 .....	1-12
1.5.1 地図画面データ選択表示 .....	1-12
1.5.2 地図画面データ選択表示終了 .....	1-14
1.6 終了 .....	1-16
<b>2 ツールバーの機能</b> .....	<b>2-1</b>
2.1 計測 .....	2-1
2.1.1 距離計測 .....	2-1
2.1.2 面積計測 .....	2-2
2.2 サブ地図 .....	2-3
2.3 案内図 .....	2-4
2.4 矩形選択 .....	2-5
2.5 再描画 .....	2-6
2.6 秘匿情報 .....	2-6
2.7 終了 .....	2-7
<b>3 メニューバーの機能</b> .....	<b>3-1</b>
3.1 左パネル開閉 .....	3-1
3.2 統計地図作成 .....	3-1
3.3 ファイル .....	3-1
3.3.1 インポート .....	3-1
3.3.1.1 エリアデータのシェープファイルインポート .....	3-2
3.3.1.2 プロット/エリアデータの KML ファイルインポート .....	3-4
3.3.1.3 エリアデータの GML ファイルインポート .....	3-7
3.3.1.4 グラフファイルインポート .....	3-9

3.3.1.5 ユーザ統計インポート .....	3-10
3.3.1.6 プロットデータの住所マッチングインポート .....	3-12
3.3.1.7 プロットデータの緯度経度リストインポート .....	3-18
3.3.2 利用ディスク容量の表示 .....	3-21
3.4 マニュアル等 .....	3-22
3.4.1 操作マニュアル表示 .....	3-22
3.4.2 API マニュアル表示 .....	3-22
3.4.3 API 利用申請 .....	3-23
3.4.4 ユーザデータ移行 .....	3-23
3.5 お問い合わせ .....	3-24
3.6 ログイン .....	3-24
<b>4 統計地図作成機能 .....</b>	<b>4-1</b>
4.1 プロット作成 .....	4-2
4.1.1 地図クリックによるプロット追加 .....	4-3
4.1.1.1 プロットアイコンの登録 .....	4-5
4.2 エリア作成 .....	4-7
4.2.1 多角形エリア作成 .....	4-9
4.2.2 円エリア作成 .....	4-11
4.2.2.1 フリー円 .....	4-11
4.2.2.2 半径指定円 .....	4-12
4.2.2.3 同心円 .....	4-13
4.2.2.4 同心円(プロットグループ指定) .....	4-14
4.2.3 バッファエリア作成 .....	4-16
4.2.3.1 地図上にラインを引く .....	4-16
4.2.3.2 点間最短経路バッファ .....	4-18
4.2.3.3 線路を選択する .....	4-19
4.2.3.4 河川を選択する .....	4-20
4.2.4 到達圏エリア作成 .....	4-21
4.2.4.1 到達圏 .....	4-21
4.2.4.2 到達圏(プロットグループ指定) .....	4-23
4.2.5 エリア合成 .....	4-24
4.3 統計グラフ作成 .....	4-26
4.3.1 広域での集計 .....	4-28
4.3.2 統計データのグラフ化 .....	4-30
4.3.3 プロット集計(数・属性) .....	4-46
4.3.4 プロット属性を利用したグラフ .....	4-48
4.3.5 エリア集計(数・属性) .....	4-49
4.3.6 エリア属性を利用したグラフ .....	4-52
4.3.7 ユーザデータの集計 .....	4-53
4.3.8 エリア単位の集計 .....	4-56
4.3.9 エリア範囲の集計 .....	4-58
4.3.10 お気に入り .....	4-59
4.4 レポート作成 .....	4-61
4.4.1 シンプルレポート .....	4-61
4.4.2 リッチレポート .....	4-64
4.4.3 リッチレポート標準シートの構成 .....	4-69
<b>5 プロット操作 .....</b>	<b>5-1</b>
5.1 プロットセクション .....	5-1
5.2 プロットグループの表示／非表示 .....	5-1
5.3 プロット追加 .....	5-2
5.4 ラベルの表示・設定 .....	5-2
5.5 プロットグループプロパティ .....	5-5
5.5.1 属性の設定タブ .....	5-5
5.5.2 条件アイコン設定タブ .....	5-6
5.6 プロットグループのグループ表示順序変更 .....	5-7
5.7 プロットグループ内の範囲検索／集計 .....	5-8

5.8	プロットグループの削除	5-11
5.9	新規プロットグループ作成	5-11
5.10	インポート	5-11
5.11	プロット名称検索	5-12
5.12	データパネルからの操作	5-12
<b>6</b>	<b>エリア操作</b>	<b>6-1</b>
6.1	エリアセクション	6-1
6.2	エリアグループの表示／非表示	6-1
6.3	エリアの追加	6-2
6.4	ラベルの表示・設定	6-2
6.5	エリアグループプロパティ	6-5
6.6	エリアデータのシェープファイルエクスポート	6-7
6.7	エリアグループのグループ表示順序変更	6-7
6.8	エリアグループの削除	6-8
6.9	新規エリアグループの作成	6-9
6.10	インポート	6-9
6.11	エリア名称検索	6-9
6.12	データパネルからの操作	6-10
<b>7</b>	<b>グラフ操作(統計データ)</b>	<b>7-1</b>
7.1	グラフパネル	7-1
7.2	グラフの表示／非表示	7-2
7.3	グラフのデータ値表示	7-3
7.4	プロパティ	7-6
7.4.1	配色設定について	7-6
7.4.2	ランク種類の違いについて	7-7
7.4.3	グラフの透過率	7-9
7.4.4	界面グラフのプロパティ	7-9
7.4.5	棒グラフのプロパティ	7-10
7.4.6	円グラフのプロパティ	7-11
7.4.7	界面クロスのプロパティ	7-11
7.5	グラフ集計結果表示	7-13
7.6	グラフ抽出	7-14
7.6.1	トップ 10 抽出	7-16
7.6.2	ランク抽出	7-17
7.6.3	条件指定抽出	7-18
7.7	グラフ抽出解除	7-19
7.8	グラフのエクスポート	7-19
7.9	グラフの表示順序変更	7-20
7.10	表示位置移動	7-22
7.11	グラフの削除	7-22
7.12	グラフ読み込み	7-23
7.13	グラフの凡例表示	7-23
7.14	グラフの凡例昇順・降順変更	7-24
7.15	データパネルからの操作	7-24
<b>8</b>	<b>利用上の注意事項</b>	<b>8-1</b>
8.1	統計データについて	8-1
8.2	各種上限値	8-2
8.3	利用者登録による機能の比較	8-3

Microsoft® Excel®は米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標です。本書では Microsoft® Excel®のことを「Excel」と略して記述しています。

Map data ©2022 Google

# 1 はじめに

## 1.1 起動とログインの方法

### 1.1.1 起動

- ・ 地図で見る統計(jSTAT MAP)(以下「jSTAT MAP」と記載)を起動するには、政府統計の総合窓口(以下「e-Stat」と記載)のトップ画面から「地図」を選択して、次の画面で「地図で見る統計(jSTAT MAP)」を選択します。



- ・ 以上で jSTAT MAP が起動します。  
e-Stat でログイン済みの場合は、そのままお使いいただけますが、ログインしていない場合は、jSTAT MAP 画面上に次ページに示すメッセージ画面が表示されます。

※ 地図の初期表示中心位置は独立行政法人統計センターです。地図表示位置の移動は、地図をスクロールするほか「1.4.6 住所、郵便番号検索」「1.4.7 現在地への移動」でも可能です。

## 1.1.2 ログインの方法

- e-Stat でログインしていない場合は、jSTAT MAP を起動すると、下記の画面が表示されます。

### 地図で見る統計 (jSTAT MAP)

地図で見る統計 (jSTAT MAP) は、誰でも使える地理情報システムです。  
都道府県、市区町村、小地域、地域メッシュ統計の結果を地図に表示することができます。

ログインしないで始める

【ログインしないで利用できる機能】

統計グラフ作成、エリア作成などを利用できます。

ログイン

【ログインすると利用できる機能】

- ・利用者が取り込んだデータを保存できます。
- ・リッチレポート（地域分析レポート）が利用できます。

[詳細はこちら](#)

操作方法につきましては[マニュアル](#)を参照ください。

- ログインしなくてもjSTAT MAP の利用は可能です。「ログインしないで始める」をクリックしてください。ただし、機能の制限があります。
- e-Stat にアカウントをお持ちの方は、「ログイン」をクリックすると、e-Stat のログイン画面に移りますので、そこでログインしてjSTAT MAP を利用することができます。（e-Stat ログイン画面でログインを行うとjSTAT MAP に戻ります。）
- 「ログインしないで利用できる機能」「ログインすると利用できる機能」「ログインに必要なアカウントの作成方法」については、[詳細はこちら](#)、をクリックしてご参照ください。

## 1.2 基本構成・用語説明

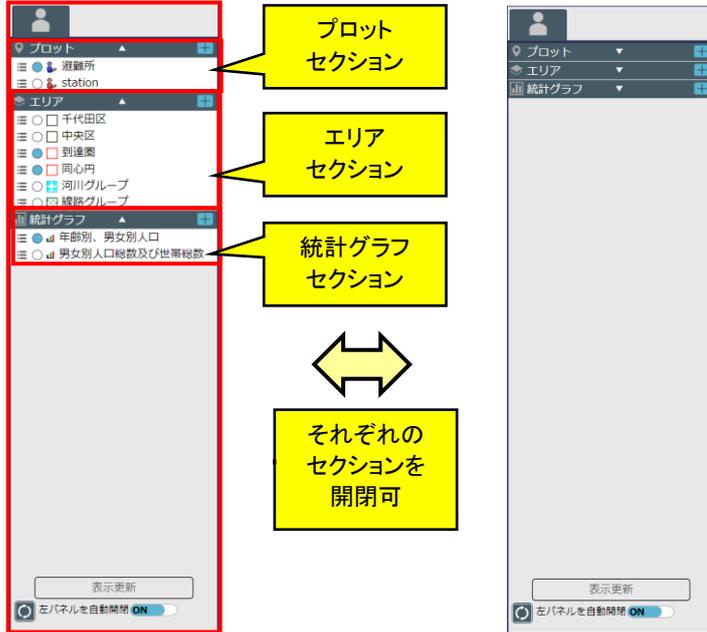
### 1.2.1 メイン画面構成

- jSTAT MAP を起動すると以下のようなメイン画面が表示されます。それぞれ以下の名称となります。

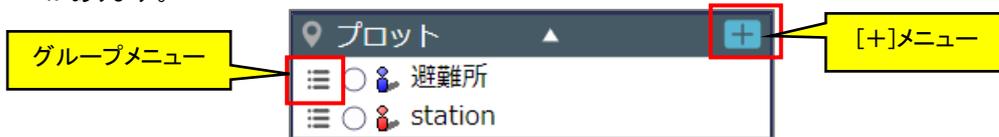


### 1.2.2 左パネルの構成

- 左パネルは、以下の構成になっています。



- データは、プロット、エリア、統計グラフに分類され、それぞれのグループ一覧が各セクション内に表示されます。各セクションは、それぞれのラベルを押すことにより開閉することができます。
- 左パネルは主に、各データグループに対する操作を提供します。各セクションには[+]メニュー、グループメニューがあります。



	左パネルのメニュー	説明
1	プロットメニュー(+メニュー)	グループに紐付かないプロット全体に対するメニュー
2	プロットグループメニュー	個々のプロットグループに対するメニュー
3	エリアメニュー(+メニュー)	グループに紐付かないエリア全体に対するメニュー
4	エリアグループメニュー	個々のエリアグループに対するメニュー
5	統計グラフメニュー(+メニュー)	グループに紐付かない統計グラフ全体に対するメニュー
6	統計グラフグループメニュー	個々の統計グラフグループに対するメニュー

各メニューの詳細については「5 プロット」「6 エリア操作」「7 グラフ操作(統計データ)」を参照ください。

### 1.2.3 プロット、エリア、統計グラフ

- jSTAT MAP では、地図画面上に「プロット」、「エリア」、「統計グラフ」などのデータを作成できます。それぞれの違いは以下の通りです。



### 1.3 ツールチップ表示

- ・メイン画面から見える範囲のボタンは、マウスカーソルを一定時間置くことで下図のようなツールチップが表示されます。



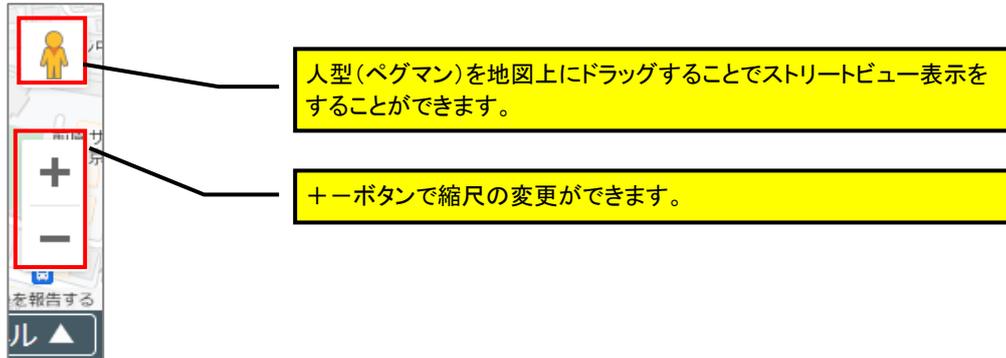
- ・ [左パネル]メニューや、データグループの[+]メニューなど、ツールチップが表示されないボタンもあります。

### 1.4 地図操作

- ・ 地図の移動操作は、基本的には GoogleMaps と同じとなります。

#### 1.4.1 GoogleMaps 操作

- ・ 地図画面右下にある GoogleMaps の地図操作パネルを利用した地図操作ができます。



#### 1.4.2 地図上からの移動

- ・ 地図上を左クリックしたままカーソルを移動することで地図移動ができます。



- ・ マウスにホイールが付いている場合は、地図上でホイール操作することで地図の縮尺の変更ができます。
- ・ マウスの設定によっては、ホイールで縮尺変更できない場合もあります。

### 1.4.3 背景地図の変更

- 背景地図を変更することができます。



#### オプション選択:

背景地図の上に重ねるレイヤを選択することができます。

以下表はそれぞれの地図とオプションの対応表です。

背景地図	オプション
Google Map(標準)・(白黒)	POI ※
Google Map 航空写真	ラベル ・ 45° ※
Google Map(地形)	なし
地理院地図	色別標高図
国土画像情報	なし

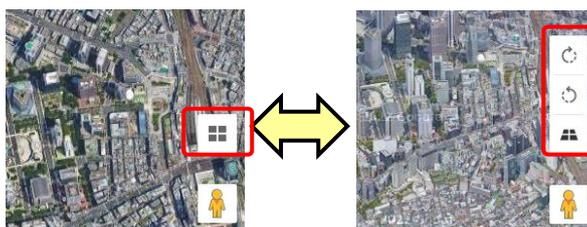
#### ※POIについて:

POIを表示したままプロットやエリアを作成しようとすると、POIが邪魔になり、プロットやエリアの作成作業が難しい場合があります。そのような場合は、POI表示のチェックをオフにして作業することをお勧めします。



#### ※航空写真の45°表示について:

航空写真を選択している場合、斜め45°表示に対応したズームレベル・場所では切替ボタンが表示されます。ボタン押下により斜め45°の表示に切り替えたり、地図を回転することが可能です。



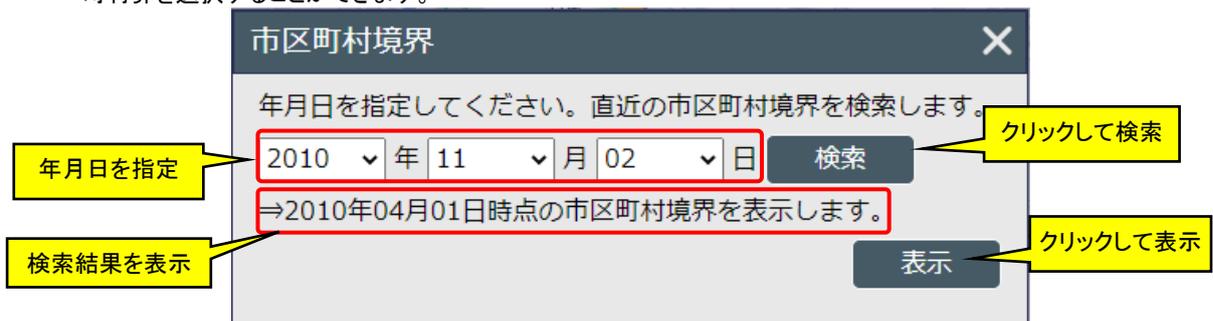
### 1.4.4 行政界、3次メッシュ、防災情報レイヤの表示

- ・ 地図上に行政界(都道府県、市区町村、国勢調査小地域、国勢調査人口集中地区の境界線)レイヤ、3次メッシュレイヤ、および防災情報レイヤを表示することができます。
- ・ 表示したいレイヤをチェックすると、選択したレイヤが表示されます。表示できるレイヤは1種類となります。
- ・ 小地域、3次メッシュ、防災情報は縮尺によっては表示されないことがあります。

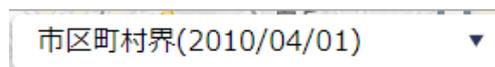


#### 1.4.4.1 行政界レイヤ

- ・ 「市区町村界」の「:」をクリックすると、「市区町村境界」画面が表示され年月日を指定することで過去の市区町村界を選択することができます。



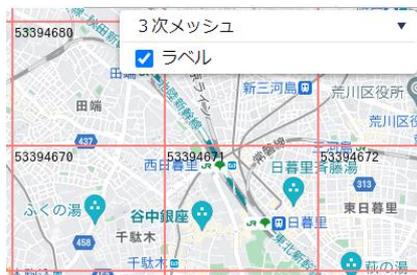
- ・ 年月日をプルダウンリストで選択し、「検索」ボタンをクリックすると、登録されている市区町村境界レイヤを検索し、指定した年月日の直近(最も近い過去)の年月日を検索結果として表示します。
- ・ 「表示」ボタンをクリックすると、地図上に市区町村境界レイヤが表示され、行政界レイヤ選択プルダウンリストにはその年月日が表示されます。



- ・ 「×」ボタンをクリックすると過去の市区町村界が指定されずに「市区町村境界」画面が閉じられます。
- ・ ログイン中は、検索した過去の市区町村界で表示します。

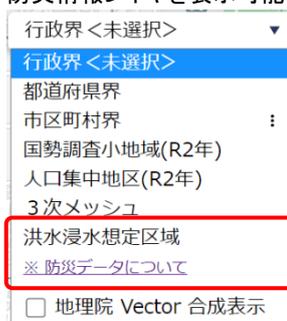
### 1.4.4.3 3次メッシュレイヤ

- ・「3次メッシュ」をクリックすると、地図上に3次メッシュが表示されます。
- ・「ラベル表示」をチェックすると、メッシュ矩形の左上隅にメッシュコードが表示されます。
- ・「ラベル表示」は、3次メッシュの場合のみ有効となります。



### 1.4.4.3 防災情報レイヤ

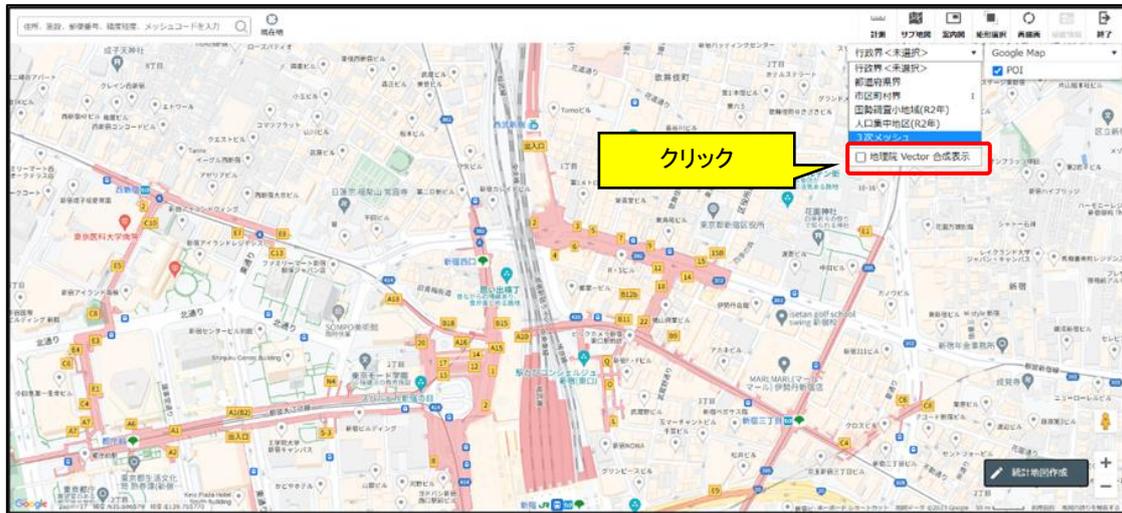
- ・防災情報レイヤは「洪水浸水想定区域」が選択可能です。クリックすると、国土数値情報より公開されているデータが表示されます。
- ・防災情報レイヤを表示可能なズームレベル(縮尺)は9~17で、この範囲外では表示されません。



- ・表示内容については「[防災データについて](#)」のリンク先を参照ください。

### 1.4.5 地理院 Vector 合成表示

- ・ 地図上に地理院地図 Vector を表示することができます。
- ・ レイヤー選択プダウンリストの「地理院 Vector 合成表示」ボタンから表示を切り替えることができます。



## 1.4.6 住所、郵便番号検索

- ・ 地図画面左上の「検索ワード」欄を使用して、住所検索、施設検索、郵便番号検索、座標値、メッシュコードによる検索を行うことにより地図移動ができます。



### 1.4.6.1 住所検索

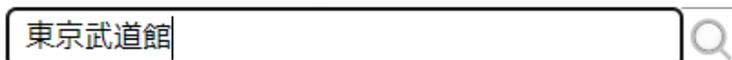
- ・ 「検索ワード」欄に、住所を入力して「Enter」キーを押します。
- ・ 住所は都道府県から入力してください。



- ・ 入力された住所の位置にジャンプします。

### 1.4.6.2 施設検索

- ・ 「検索ワード」欄に、施設名を入力して「Enter」キーを押します。



- ・ 入力された施設の位置にジャンプします。

### 1.4.6.3 郵便番号検索

- ・ 「検索ワード」欄に、郵便番号を入力して「Enter」キーを押します。



- ・ 入力された郵便番号の位置にジャンプします。

### 1.4.6.4 座標値による移動

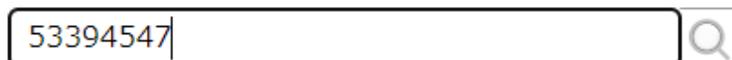
- ・ 「検索ワード」欄に、緯度、経度を入力して「Enter」キーを押します。
- ・ 緯度、経度入力時には、頭に緯度を表す”N”、経度を表す”E”を付与し、緯度と経度の間に半角スペース文字で区切ってください。



- ・ 入力された緯度、経度の位置にジャンプします。
- ・ 世界測地系 10 進の緯度経度形式で入力する必要があります。
- ・ 精度は GoogleMapsAPI の仕様では、小数点以下6桁となっています。

### 1.4.6.5 メッシュコードによる移動

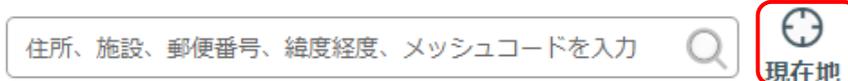
- ・ 「検索ワード」欄に、メッシュコードを入力して「Enter」キーを押します。



- ・ 入力されたメッシュ矩形の中心位置にジャンプします。
- ・ メッシュコードは、3次メッシュ(1km メッシュ)、4次メッシュ(500m メッシュ)、5次メッシュ(250m メッシュ)の検索が可能です。

### 1.4.7 現在地への移動

- 検索ワード欄の右「現在地」アイコンをクリックすると、ブラウザの位置情報取得機能を使って現在位置を取得し、地図の表示をその位置に移動することができます。



- 「現在地」アイコンをクリックすると、ブラウザから位置の取得を許可するか確認のメッセージが表示されます（下図は Chrome の例です）。



- これを許可すると、地図の表示がブラウザから取得した現在位置に移動します。

### 1.4.8 GoogleMaps での注意

本システムでは、GoogleMaps をアプリケーションプログラムで制御しているため、Google 社のサイトで見える一般的な Google マップとは一部動作が異なる部分があります。

- Google マップでは、地図の拡大を続けていると自動でストリートビュー表示に切り替わりますが、本システムでは切り替わりません。
  - Google マップでは、航空写真がない地域は「～この地域の詳細画像はありません～」が表示されますが、本システムでは画像レベルで拡大されたものが表示されます。
- など。

その他の注意点としては、通常地図と航空地図では測量誤差や航空写真取り込み時の画像処理による補正など、の関係上若干のずれがあります。このため、例えば航空写真上で建物の中心にプロットを置き、通常地図に切り替えるとプロットが建物の中心にないということになります。プロットの位置指定は地図上でお願いします。

斜め画像について

Google マップの航空写真モードでの斜め画像表示では、プロット、エリア、グラフが建物や道路からずれて表示される場合があります。これは 45° 表示の特性となります。ご承知の上お使いください。

GoogleMaps の利用にあたっては、画面右下にあります Google の利用規約を確認ください。

### 1.4.9 国土地理院地図の利用について

- 地理院地図画像の利用にあたっては、画面右下にあります利用規約を確認ください。
- 地図画像データをダウンロードした上で複製・加工して再配布するような利用のうち、「測量成果の複製」(測量法第 29 条)または「測量成果の使用」(測量法第 30 条)に該当するような 利用を頂く場合には承認申請が必要です。以下をご参照ください。
  - ◆ 国土地理院:測量成果の複製・使用: <http://www.gsi.go.jp/LAW/2930-index.html>
- その他利用データについて
  - ◆ 小縮尺地図(500 万分 1 日本とその周辺)
 

「The bathymetric contours are derived from those contained within the GEBCO Digital Atlas, published by the BODC on behalf of IOC and IHO (2003) (<http://www.gebco.net>) 海上保安庁許可第222510号(水路業務法第25条に基づく類似刊行物)」
  - ◆ 色別標高図
 

「海域部は海上保安庁海洋情報部の資料を使用して作成」
  - ◆ 国土画像情報
 

国土画像情報については、日本全国すべての地域の国土画像が提供されているわけではありません。画像データがない地域は灰色で表示されます。提供されている範囲は年次で異なります。(提供範囲については下図をご参照ください。)

提供されているズームレベル(縮尺)は 10～17 で、この範囲外では表示されません。



【第1期: 1974~1978 年撮影】



【第2期: 1979~1983 年撮影】



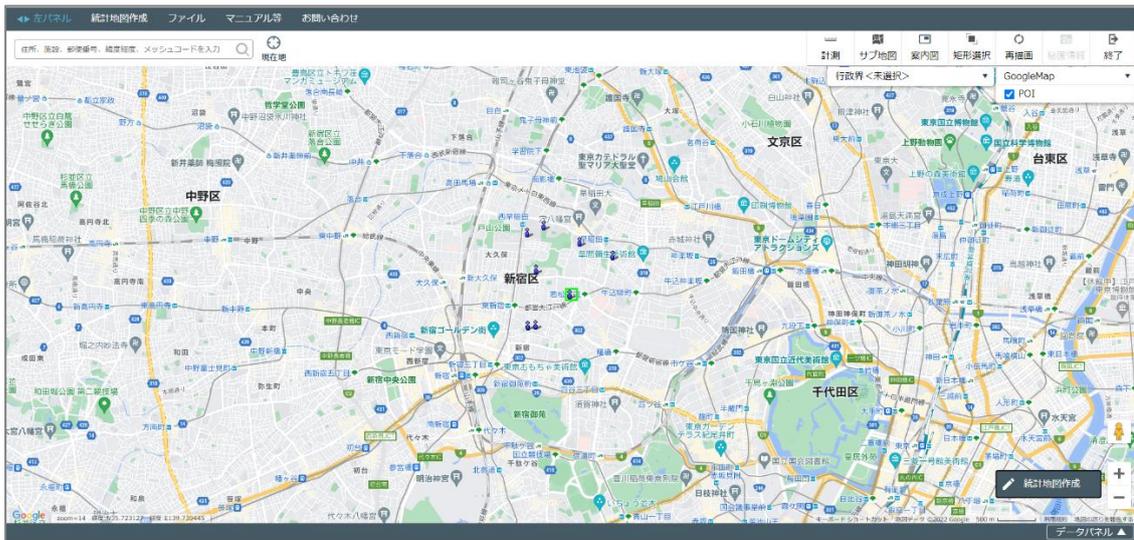
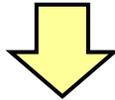
【第3期: 1984~1986 年撮影】



【第4期: 1988~1990 年撮影】

## 1.5 画面操作

- ・左パネルは、メニューバーの「左パネル」を押すことで開閉することができます。



- ・ 地図画面を大きく使いたい場合などにご利用ください。

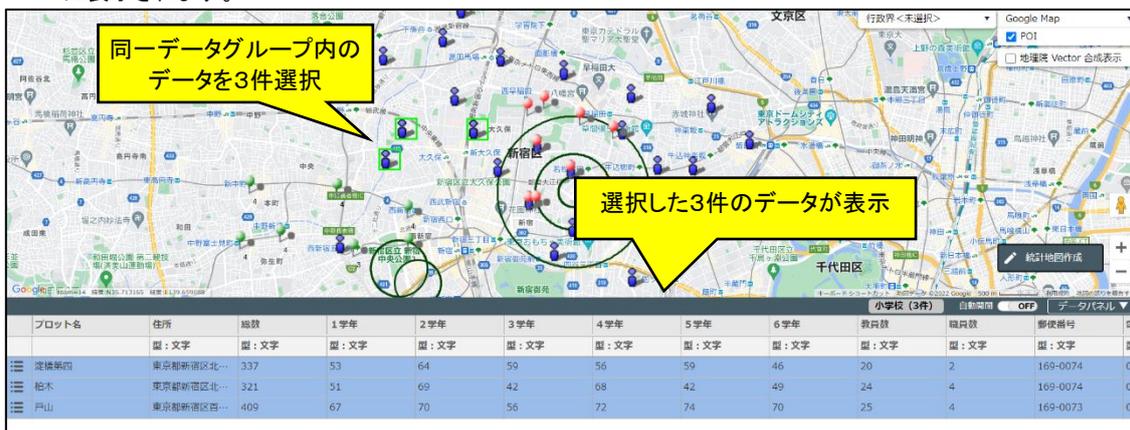
### 1.5.1 地図画面データ選択表示

- ・ 地図画面から、プロット、エリア、統計グラフなどのデータを選択することができます。
- ・ 選択したデータは地図画面上でハイライト表示になり、データパネルで属性を確認することができます。





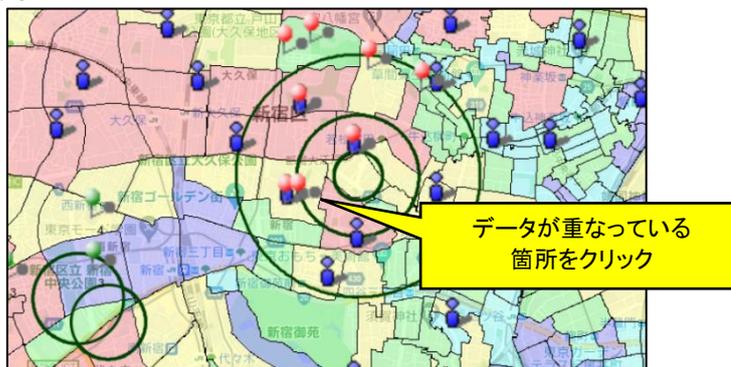
- ・ 同一のデータグループ内に登録されているデータを連続で選択した場合、選択したデータが順次データパネルに表示されます。



- ※ 別のデータグループのデータを選択した場合、データパネルはリセットされ、新たに選択したデータが表示されます。



- ※ 地図上でデータが重なっている場合、該当箇所を選択すると重なっているデータの一覧が表示され、選択することができます。



該当するデータの一覧を表示。

### 1.5.2 地図画面データ選択表示終了

- ・ データパネル下部、「選択表示終了」ボタンで、選択表示状態を終了することができます。



※ 「選択表示終了ボタン」押下時、左パネルに選択しているデータグループが存在する場合、データパネルにそのデータグループの属性一覧が表示されます。

現在選択されているデータグループ

プロット名	住所	総数	1学年
淀橋第四	東京都新宿区北...	337	53
柏木	東京都新宿区北...	321	51
戸山	東京都新宿区百...	409	67

クリック



左パネルで選択されているデータグループの属性が表示される

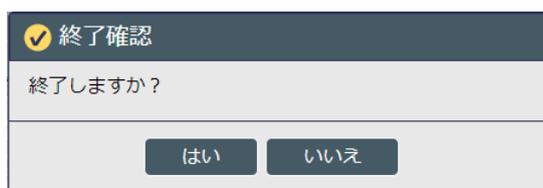
リンクコード	住所	人口総数
合計		949031
13101001001	東京都千代田区丸の内1丁目	4
13101001002	東京都千代田区丸の内2丁目	1
13101001003	東京都千代田区丸の内3丁目	3
13101002001	東京都千代田区大手町1丁目	3
13101002002	東京都千代田区大手町2丁目	2

## 1.6 終了

- ・ ツールバー右端の「終了」ボタンを押してください。



- ・ 終了確認のメッセージが表示されます。「はい」を選択すると、jSTAT MAP を終了して、政府統計の総合窓口の統計地理情報システムトップ画面に遷移します。



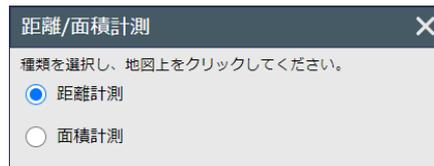
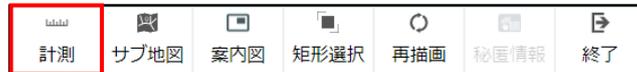
- ※ ログインしてご利用の方は、作成したプロット、エリアの情報はログイン ID と紐づいて保存されています。グラフは jSTAT MAP 終了で破棄されますので、次回再利用する場合は、エクスポートで保存して、インポートで取り込んでください。
- ※ ログインしないでご利用の方は、作成したプロット、エリア、グラフは保存されません。また、エクスポートすることもできません。
- ※ 何も操作しないで2時間を経過するとタイムアウトになり、メッセージ画面が表示されます(ログインしないでご利用の場合は 30 分)。メッセージ確認「はい」で、政府統計の総合窓口の統計地理情報システムトップ画面に遷移します。

## 2 ツールバーの機能

ここでは「1.4.7 現在地への移動」に記載した「現在地」以外のツールバー上の機能について説明します。

### 2.1 計測

- ・ ツールバー上の「計測」ボタンを押すと地図画面左上に「距離／面積計測」画面が表示されます。



#### 2.1.1 距離計測

- ・ 「距離／面積計測」画面の「距離計測」にチェックし、地図上を次々にクリックすることで距離が表示されます。



- ・ 描いたラインを取り消す場合は、右クリックメニューから「全点取消」を選択します。



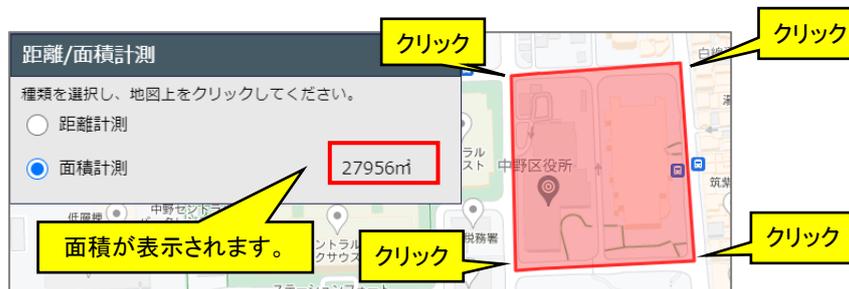
- ・ 描いたラインを確定する場合は、ダブルクリックするか、右クリックメニューから「確定」をクリックします。



- ・ 確定後にラインを引き直す場合は、再度地図上をクリックすることでラインが引き直せます。(確定したラインは破棄されます)

## 2.1.2 面積計測

- ・「距離／面積計測」画面の「面積計測」にチェックを入れ、地図上に多角形を描くことで、おおよその面積計測ができます。



- ・描いた多角形を取り消す場合は、右クリックメニューから「全点取消」を選択します。



- ・描いたラインを確定する場合は、ダブルクリックするか、右クリックメニューから「確定」をクリックします。



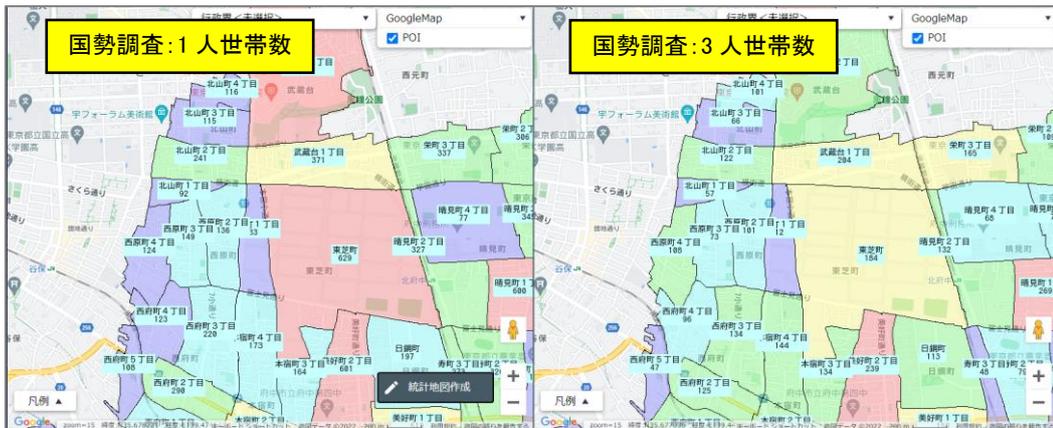
- ・確定後に多角形を描き直す場合は、再度地図上をクリックすることで描き直せます。(確定した多角形は破棄されます)

## 2.2 サブ地図

- ・ ツールバー上の「サブ地図」ボタンを押すと地図画面が2分割され、現在表示している地図と全く同じものが右側の地図に表示されます。
- ・ 「サブ地図」ボタンを押すことでサブ地図の表示／非表示を切り替えます。(起動直後はサブ地図は表示されていません。)



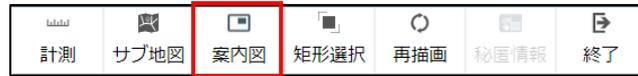
- ・ 本機能は、「サブ地図」ボタンを押したときのメイン地図の状態をサブ地図にコピーする機能となっています。用途としては、例えば2つのグラフを比較したいときなどに利用します。



- ・ 上記は「3人世帯数」の集計後に「サブ地図」ボタンを押し、メイン地図の「3人世帯数」グラフが非表示にされた状態で、新たに「1人世帯数」を集計したイメージとなります。  
(サブ地図が表示された時点で、メイン地図の全グラフは自動的に非表示となります。)
- ・ 「サブ地図」ボタンを押して非表示→表示にする度に、その時メイン地図に表示していた状態がコピーされます。

## 2.3 案内図

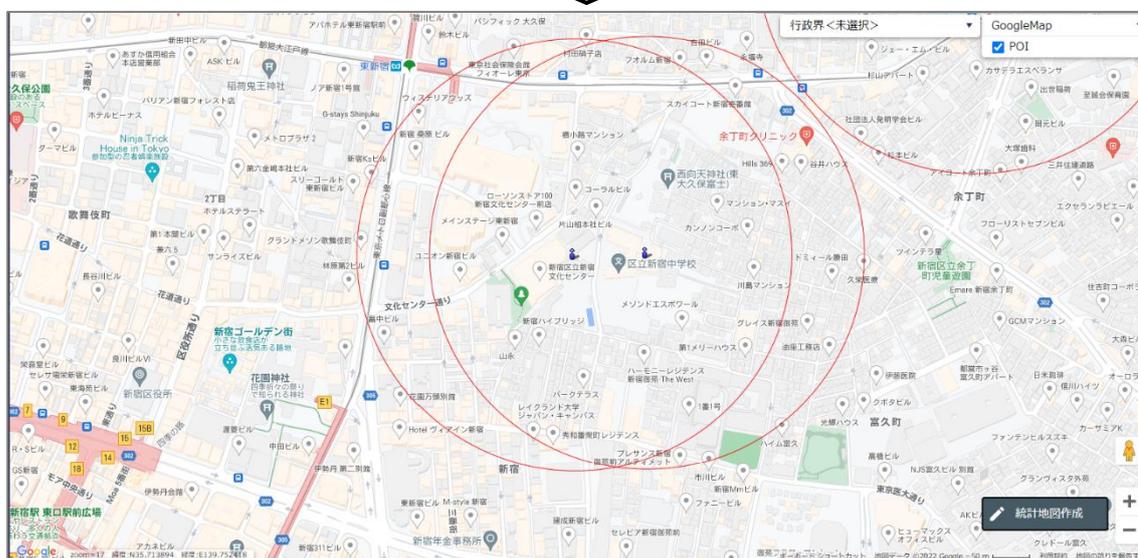
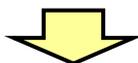
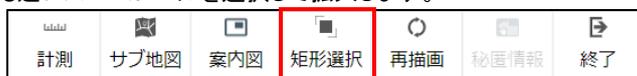
- ・ ツールバー上の「案内図」ボタンを押すとメイン地図の右上に案内図が表示されます。
- ・ 「案内図」ボタンを押すことで案内図の表示／非表示を切り替えます。(起動直後は案内図は表示されていません。)



- ※ 案内図は表示中画面の中心位置が同じで、ズームレベルが2小さい GoogleMaps を表示します。  
(例: 背景地図のズームレベルが14の場合、案内図はズームレベル12で表示します)
- ※ 現在表示されている背景地図の種類に関わらず GoogleMaps を表示します。
- ※ 背景地図の地図移動操作、ズームレベル変更操作に案内図は追従します。
- ※ 案内図内の青矩形は、背景地図の表示範囲を表していて、案内図内で移動可能です。
- ※ 青矩形を案内図内で移動すると、背景地図の中心位置がそれに追従します。

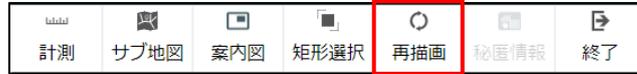
## 2.4 矩形選択

- ・ ツールバー上の「矩形選択」ボタンを押し、マウス操作で地図画面上で矩形を指定すると、その範囲が画面全域表示となるのに最も近いズームレベルを選択して拡大します。



## 2.5 再描画

- ・ ツールバーの「再表示」ボタンを押すと、地図及び地図上に表示されているプロット、エリア、グラフを描画します。ネットワークの関係などで、描画が途中で止まってしまったりした場合にお使いください。



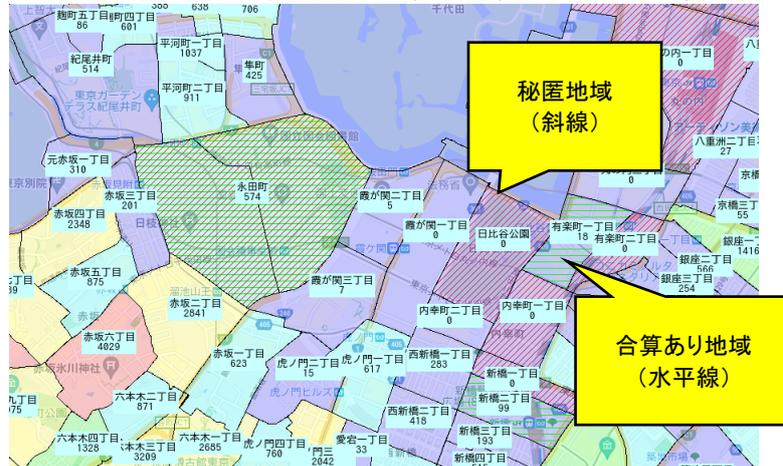
## 2.6 秘匿情報

- ・ 「4.3 統計グラフ作成」で作成した統計グラフに秘匿情報がある場合、本機能で地図上で秘匿地域と合算あり地域を確認することができます。
- ・ 作成したグラフに秘匿情報が含まれている場合、本アイコンが有効化されます。(ただし、集計した範囲(地域)に秘匿がない場合は有効にはなりません。)



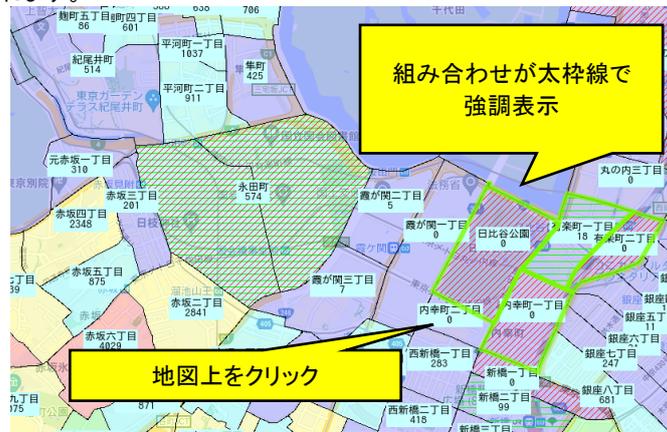
※ 複数のグラフを同時に表示 ON としている場合、秘匿情報表示は機能しません。本機能を使用する場合は、表示するグラフはひとつとしてください。

- ・ 「秘匿情報」をクリックすると、地図上に秘匿地域が斜線で、合算あり地域が水平線で表示されます。



(上図は、「7.3 グラフのデータ値表示」を使って、統計値と町丁・字等名称の表示を ON にして実行した状態です。「秘匿情報」表示を行うと自動で統計値、地域名が表示される訳ではありません。)

- ・ 地図上で「秘匿地域」もしくは「合算あり地域」をクリックすると、秘匿地域と秘匿先(合算あり地域)の組み合わせが強調表示されます。

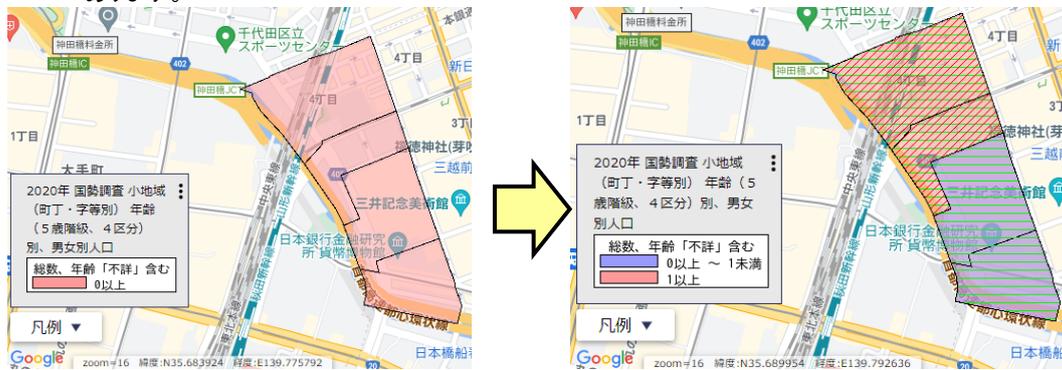


- ・ 強調表示状態を解除するには、地図上で秘匿がない地域(斜線、水平線のない地域)をクリックしてください。

- ※ 秘匿先(合算あり地域)が小計地域の場合は、小計地域が表示されます。  
また、小計地域内に秘匿情報が含まれているため、斜線と水平線が重なって表示されます。



- ※ 小計地域の表示有無がグラフのランク分けに影響することで、秘匿がない地域も表示色が変わる場合があります。



## 2.7 終了

- ・「終了」を選択すると、jSTAT MAP を終了します。「1.6 終了」を参照ください。



## 3 メニューバーの機能

### 3.1 左パネル開閉

- メニューバー上の「左パネル」をクリックすると、左パネルの開閉操作ができます。



### 3.2 統計地図作成

- 「統計地図作成」をクリックすると、「プロット作成」「エリア作成」「統計グラフ作成」「レポート作成」のサブメニューが表示されます。地図右下にある「統計地図作成」ボタンと同じ機能で、それぞれ「プロット作成」「エリア作成」「統計グラフ作成」「レポート作成」を開始します。



統計地図作成機能の詳細は「4 統計地図作成機能」を参照ください。

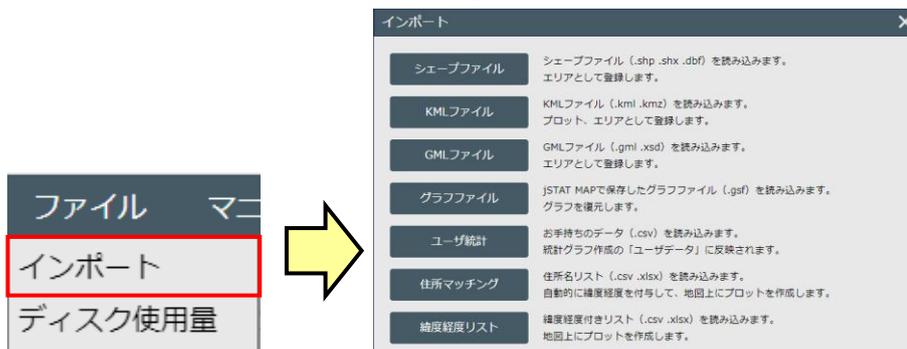
### 3.3 ファイル

- メニューバー上の「ファイル」メニューについて詳細を以下に説明します。



#### 3.3.1 インポート

- メニューバー上の「ファイル」メニューから「インポート」を選択すると、「インポート」画面が表示されます。
- ファイル名、グループ名の先頭に「.(ドット)」は入力できません。



### 3.3.1.1 エリアデータのシェープファイルインポート

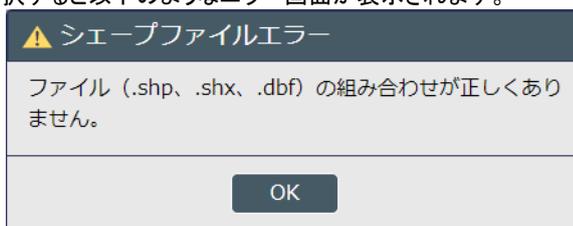
- 他の GIS 等から出力したシェープファイルのエリアデータをインポートすることができます。
  - インポートできるのはポリゴンのシェープファイルです。ポイントデータやラインデータを含んだシェープファイルを選択した場合は、「ポリゴン以外のシェープファイルインポートはできません」のメッセージが表示され、データは登録されません。
  - インポート可能なファイルサイズはディスク容量制限値と同じとなります。取り込み可能件数は最大 1,000 件となります。上記制限を超えるデータの場合、一時データとして登録されます。一時データは、jSTAT MAP 終了時に破棄されます。
  - 属性ファイル(.dbf)の文字コードは Shift\_JIS に対応しています。
- インポートは、インポート画面の「シェープファイル」をクリックして行います。



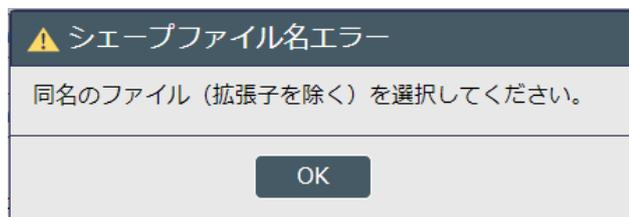
- シェープファイルは、「.shp」、「.shx」、「.dbf」の 3 つのファイルを 1 セットで扱います。したがって、シェープファイルインポート画面では、「ファイルを選択」ボタンをクリックして 3 つの種類のファイルを複数指定します。
- 「アップロード」ボタンをクリックするとファイルのアップロードが行われ、そのファイルの情報が表示されます。



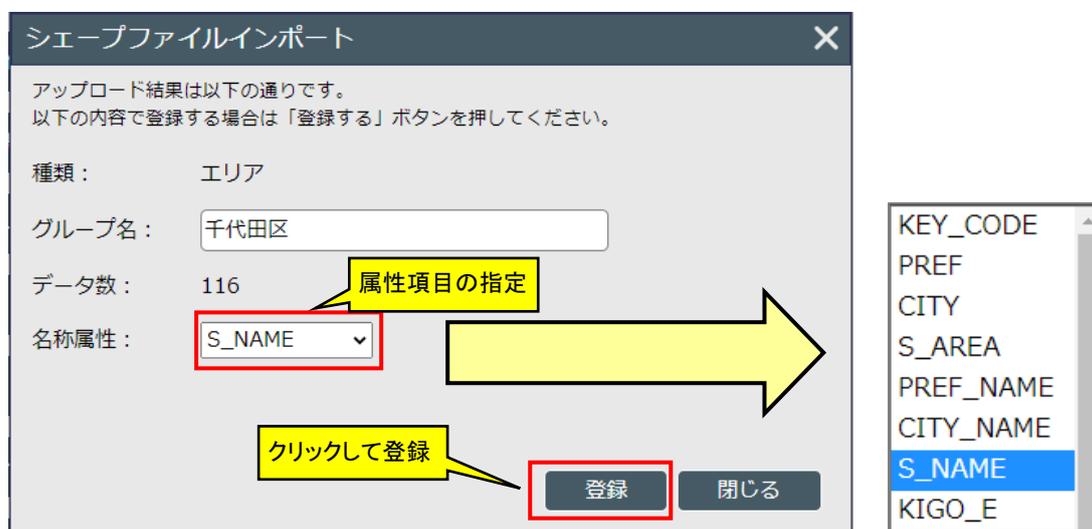
- ※シェープファイルの座標単位は、「世界測地系 10 進の緯度経度」で取り込みます。
- ※拡張子の違うファイルを選択すると以下のようなエラー画面が表示されます。



※ファイル名の部分は.SHP ファイルのものと同じである必要があります。SHX ファイル、DBF ファイルとしてそれと異なるファイルを選択してアップロードすると以下のようなエラー画面が表示されます(SHP ファイルとして工業用地エリア.shp を選択し、DBF ファイルとしてそれとは違ったファイル名(例えば”工業用地エリア-全国.dbf”)選択したときの例)。



- ・ アップロードが完了すると、アップロード結果が表示されます。
- ・ 「名称属性」のプルダウンリストには、シェープファイルの属性ファイル(.dbf)内に記述されているすべての属性項目がリストアップされるので、リストからエリアの名称とする属性項目を選択します。
- ・ 「登録」ボタンをクリックして登録します。



- ・ この画面で「登録」ボタンを押さずに「×」または「閉じる」ボタンを押した場合は、登録されません。

### 3.3.1.2 プロット/エリアデータの KML ファイルインポート

- ・ KML ファイルをインポートすることができます。
- ・ 取り込みに関する制約は次の通りです。
  - サポートする KML バージョンは 2.0 または 2.2 とします。
  - ファイル形式は kml と kmz の両方に対応しています。
  - エンコーディングは UTF-8 固定です。
  - 読み込み対象 KML タグは以下の表の通りです。

KML タグ	内容
Document	KML ドキュメント本体
Folder	Point や Polygon をまとめるフォルダ。プロットグループやエリアグループに相当します。ただし、Point と Polygon が混在することもあります。
Placemark	Point や Polygon のスタイル、属性、形状をまとめたものです。個々のプロットやエリアに相当します。
name	Document、Folder、Placemark の名称です。通常は Folder の名称をグループ名としますが、Folder が無い KML の場合は、Document の名称をグループ名とします。Placemark は個々のプロットやエリアの名称となります。
Style	Polygon のスタイル定義です。LineStyle と PolyStyle を子ノードに持ちます。エリアグループのプロパティとしてセットします。 Point で使用する IconStyle は無視します。プロットグループのアイコンは常に P のデフォルトアイコンをセットします。(kmz に同梱されるアイコンも無視し、デフォルトアイコンをセットします。)
MultiGeometry Polygon outerBoundaryIs innerBoundaryIs LinearRing coordinates	Polygon 形状の定義。MultiGeometry は飛び地の場合のみ使用します。 outerBoundaryIs は通常の単一ポリゴン、innerBoundaryIs は中抜きポリゴン。 coordinates は頂点座標列(世界測地系単位)であり、カンマ区切りで経度、緯度、高度の順に並びますが高度は無視します。(高度の記述がない場合も読み込みは可能) 個々のエリア形状としてセットします。
Point coordinates	Point 座標の定義です。coordinates は座標であり、カンマ区切りで経度、緯度、高度の順に並びますが、高度は無視します。(高度の記述がない場合も読み込み可能) 個々のプロット座標としてセットします。
styleUrl	スタイルの参照先の定義です。通常は「http://～」の URL が指定可能ですが、jSTAT MAP では「#」で始まる KML 内のスタイルのみ参照可能。
Schema SimpleField	属性項目の定義です。SimpleField で個々の属性の名称と型を定義します。 プロットグループやエリアグループの属性項目として取り込みます。
ExtendedData SchemaData SimpleData	属性値の定義です。SchemaData で参照する Schema を定義(KML 内のみ)し、SimpleData で属性項目に対する値を定義します。 個々のプロットやエリアの属性値として取り込みます。

※上記以外のタグは取り込むときに無視します。(エラーメッセージは表示しません)

※Style は複数定義することが可能ですが、最後に取り込んだ Style をエリアグループのプロパティとしてセットします。

※Folder が複数ある場合、Folder 内に Point と Polygon が混在する場合は、それぞれをグループとして取り込みます。

※インポートできるのはポイントとポリゴンの KML ファイルです。ラインデータを含んだ KML ファイルを選択した場合は、「ラインデータを含む KML ファイルはインポートできません。」のメッセージが表示され、データは登録されません。

※取り込み可能件数は最大 1,000 件となります。

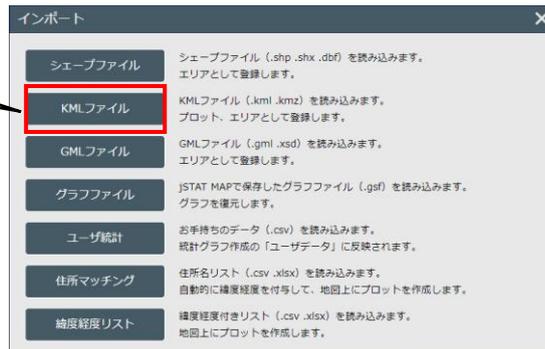
上記制限を超えるデータの場合、一時データとして登録されます。

一時データは、jSTAT MAP 終了時に破棄されます。

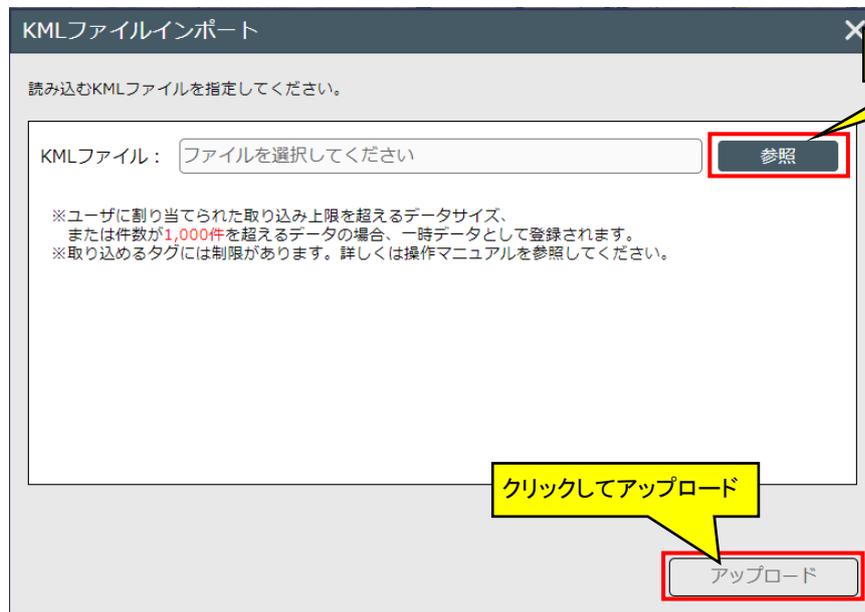
※取り込み可能最大レコード数の適用は、上記それぞれのグループ単位とします。

※kmz は圧縮されたファイルです。最大取り込みサイズ制限は、サーバ上でファイルを解凍後のサイズでチェックしています。

KML ファイルをクリック



- ・ 「参照」ボタンをクリックして KML(KMZ)ファイルを指定します。
- ・ 「アップロード」ボタンをクリックするとファイルのアップロードが行われ、そのファイルの情報が表示されます。



- ・ 画面中央はリスト表示となっていて、取り込まれ先の情報(どの種類グループに、どういう名前で、何件)が一覧表示されます。
- ・ グループ名は KML ファイル内の「Folder」タグで指定される名称で、これをグループの名称として取り込みます。
- ・ リスト上には5件表示され、Folder がそれ以上ある場合はスクロールします。
- ・ 「登録」ボタンをクリックすることで登録処理が開始されます。登録が終了すると、以下の画面が表示されます。

**KMLファイルインポート** ×

アップロード結果は以下の通りです。  
以下の内容で登録する場合は「登録」ボタンを押してください。

種類	グループ名	データ数
エリア	同心円	150
エリア	到達圏	150
プロット	小学校	150

クリックして登録

**登録**

- ・ この画面で「登録」ボタンを押さずに「**×**」ボタンを押した場合は、登録されません。
- ・ 登録後は、「閉じる」ボタンをクリックして画面を閉じて完了です。

**KMLファイルインポート** ×

アップロード結果は以下の通りです。  
以下の内容で登録する場合は「登録」ボタンを押してください。

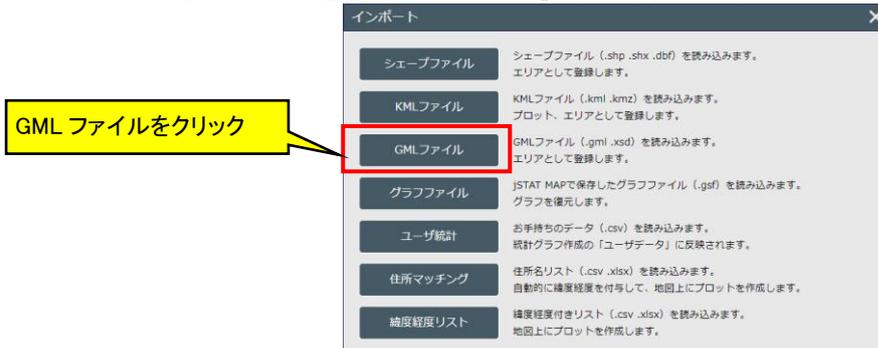
種類	グループ名	結果	データ数
エリア	同心円	成功	150/150
エリア	到達圏	成功	145/150
プロット	小学校	成功	139/150

クリックして完了

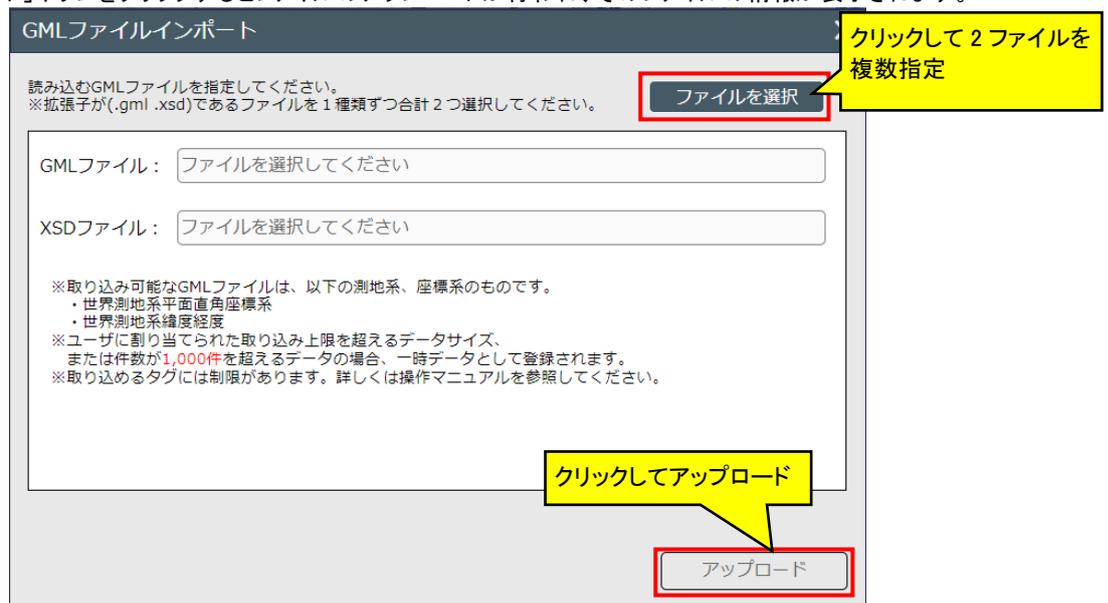
**閉じる**

### 3.3.1.3 エリアデータの GML ファイルインポート

- ・ GML 形式データもシェープファイルのエリアデータ同様に jSTAT MAP に取り込むことができます。
- ・ 取り込めるデータ測地系は以下の通りです。
  - 世界測地系平面直角座標系
  - 世界測地系緯度経度
- ・ 取り込めるデータ種類はエリアデータのみです。
- ・ ポイントデータとラインデータは取り込めません(例: 施設データ、境界線データなど)。
- ・ エリアデータと他データが混在している場合も取り込めません。
- ・ インポートは、インポート画面の「GML ファイル」をクリックして行います。



- ・ GML ファイルは「GML」、「XSD」の 2 つのファイルを 1 セットで扱います。したがって、GML ファイルインポート画面では、「ファイルを選択」ボタンをクリックして 2 種類のファイルを複数指定します。
- ・ 「アップロード」ボタンをクリックするとファイルのアップロードが行われ、そのファイルの情報が表示されます。



- ・ アップロードが完了すると、グループ名・名称属性を設定することができます。
- ・ 「登録する」ボタンをクリックして登録します。

GMLファイルインポート

アップロード結果は以下の通りです。  
以下の内容で登録する場合は「登録する」ボタンを押してください。

種類: Polygon データはエリアとして登録されます。

グループ名: 中央区 グループ名を入力します。

データ数: 101

名称属性: S\_NAME データ欄に表示するエリア名を属性から選択します。

クリックして登録

登録する 閉じる

※この画面で「登録する」ボタンを押さずに「」または「閉じる」ボタンを押した場合は、登録されません。

- ・ 登録が完了すると、以下のような画面が表示され、エリアグループ一覧に登録されます。



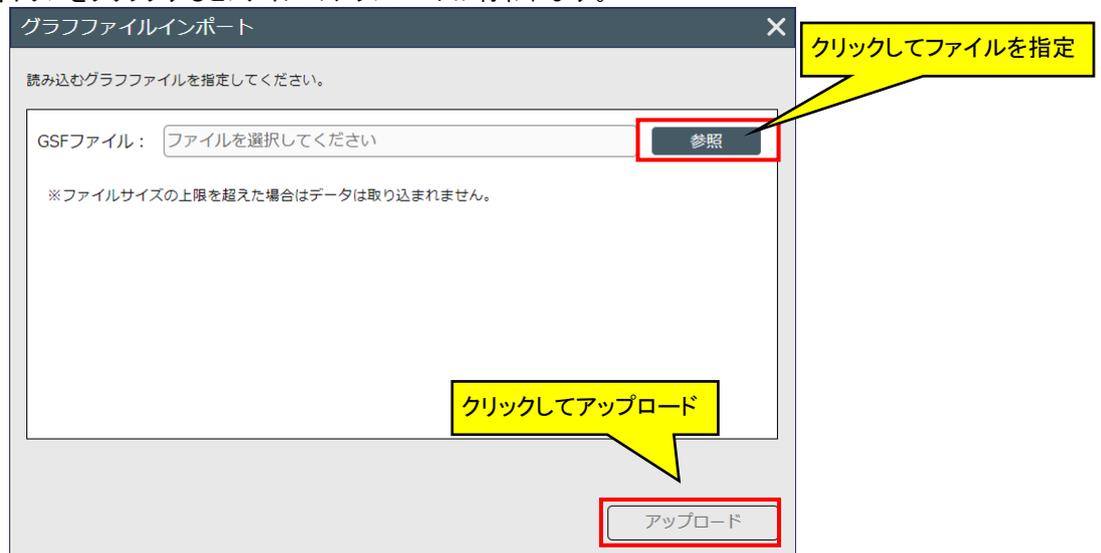
- ・ インポート可能なファイルサイズはディスク容量制限値と同じとなります。  
取り込み可能件数は最大 1,000 件となります。  
上記制限を超えるデータの場合、一時データとして登録されます。  
一時データは、jSTAT MAP 終了時に破棄されます。

### 3.3.1.4 グラフファイルインポート

- ・ インポートは、インポート画面の「グラフファイル」をクリックして行います。



- ・ 「参照」ボタンをクリックすると、ファイル選択画面が表示されるので、グラフファイル(.gsf)を指定します。
- ・ 「アップロード」ボタンをクリックするとファイルのアップロードが行われます。



※この画面で「アップロード」ボタンを押さずに「」ボタンを押した場合は、登録されません。

### 3.3.1.5 ユーザ統計インポート

- ・ 統計データを独自に持っている場合や後述するグラフをエクスポートしたデータを再加工して投入する場合は、「ユーザデータ」指標を利用します。
- ・ ユーザデータの登録を行う場合は、CSV ファイル形式で、フォーマットは以下のようになります。

コード	2000歳	総数30~34歳	総数35~39歳	三十代人口	シェア
131.04.01.7005	4	311	245	556	0.7
131.04.01.7006	6	278	263	541	1.1
131.04.01.7007	25	616	584	1200	2.1
131.04.01.8002	7	249	257	506	1.4
131.04.02.0000	6	335	322	657	1.1
131.04.05		51	29	80	0.9
131.04.05		81		81	
131.04.05		81		81	

1 行目はタイトル。指標名になります。

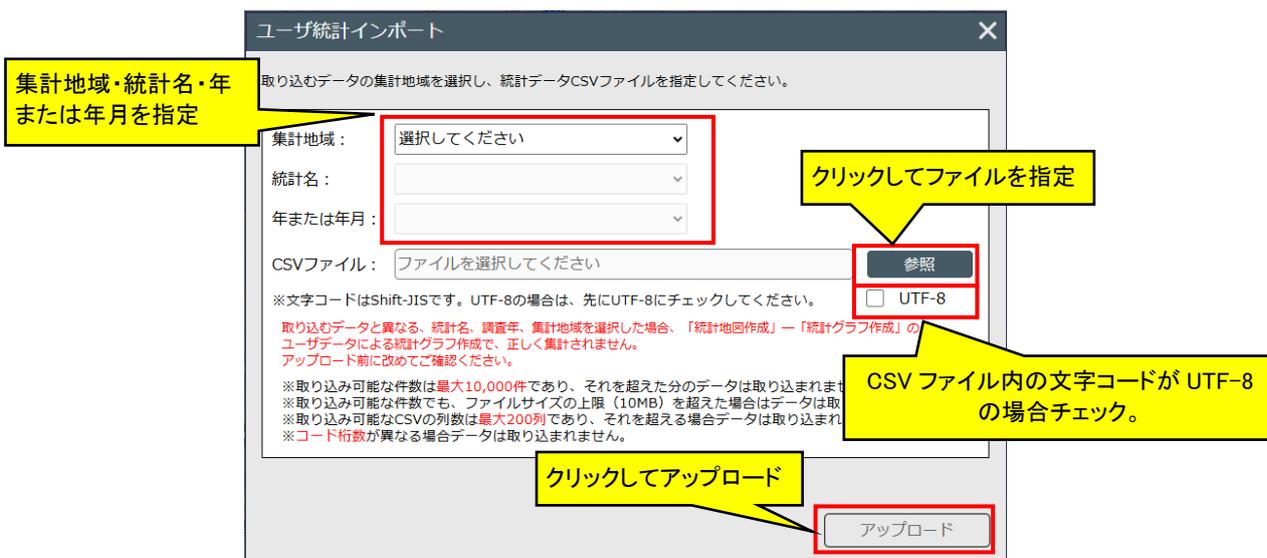
1 列目は小地域コード、またはメッシュ番号となります。

2 列目以降がデータとなります。

- ・ 1 行目のタイトル、1 列目のコードは必須となります。
  - ・ 上図は、会員データとターゲット人口 (30~34 歳、35~39 歳) を小地域単位で集計後、後述するエクスポート機能で出力し、「三十代人口」と「シェア」を算出して入力したサンプルデータとなります。
  - ・ 1 回の操作で登録できるユーザデータの上限は、10,000 件 (5MB 以内) となっています。
  - ・ 文字コードは Shift\_JIS と UTF-8 に対応しています。
  - ・ **コード桁数が異なる場合、取り込まれません。**
- ・ インポートは、インポート画面の「ユーザ統計」をクリックして行います。

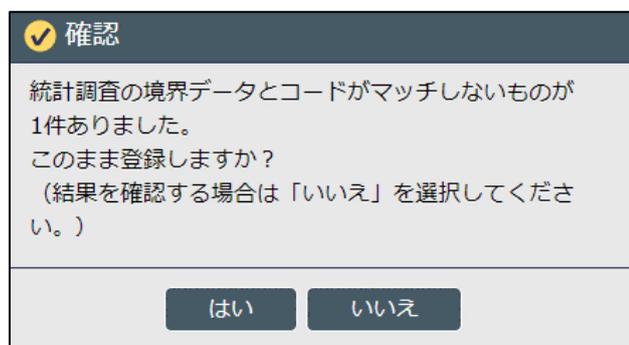


- ・ 「集計地域」「統計名」「年または年月」をプルダウンリストから選択してください。
- ・ 「参照」ボタンをクリックしてユーザデータ (.csv) を指定します。
- ・ 「アップロード」ボタンをクリックするとファイルのアップロードが行われます。



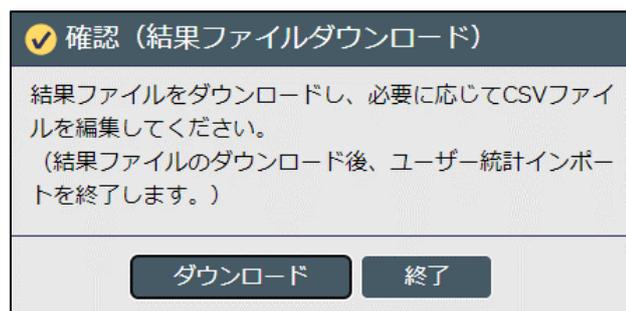
※この画面で「アップロード」ボタンを押さずに「×」ボタンを押した場合は、登録されません。

※都道府県・市区町村・小地域単位のユーザ統計のインポートでは、アップロード時に、選択した統計調査(集計地域・統計名・年または年月)の境界コードと、登録しようとするユーザ統計の各レコードについて、コードの照合チェックを行います。  
ユーザ統計に、選択した統計調査の境界コードには存在しないコードがあった場合、以下のようなメッセージが表示されます。



このまま登録する場合は「はい」を選択してください。(登録したユーザ統計のグラフ集計は可能ですが、統計調査の境界データにないコードのデータは、地図上に反映されません。)

「いいえ」を選択すると「確認(結果ファイルダウンロード)」画面が表示されますので、「ダウンロード」ボタンから結果ファイルをダウンロードすることができます。



登録したユーザ統計のグラフ集計については「4.3.7 ユーザデータの集計」を参照ください。

### 3.3.1.6 プロットデータの住所マッチングインポート

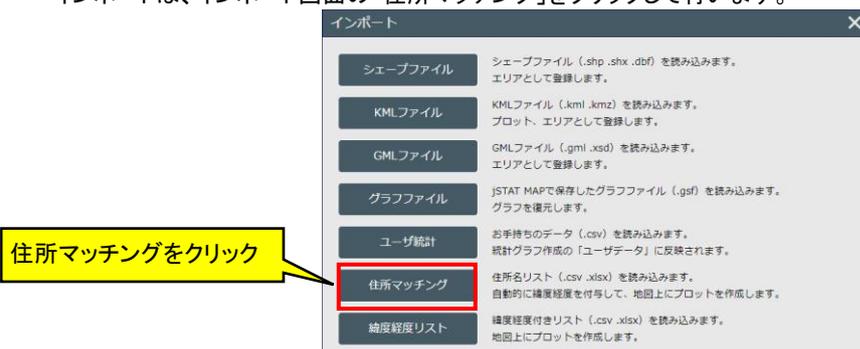
- 任意の列に住所名の入った Excel または CSV ファイルから一括でプロット登録する方法となります。例として、以下のようなデータを住所マッチングによって登録します。

学校名	住所	電話番号	生徒数	教員数
九段小学校	東京都千代田区三番町16	03-3263-0564	339	18
番町小学校	東京都千代田区六番町8	03-3263-3721	474	26
お茶の水小学校	東京都千代田区猿樂町1丁目1-1	03-3292-0414	298	20
和泉小学校	東京都千代田区神田和泉町1	03-3866-3939	280	19
富士見小学校	東京都千代田区富士見1丁目10-3	03-3263-1006	308	23
昌平小学校	東京都千代田区外神田3丁目4-7	03-3251-0448	273	13
麹町小学校	東京都千代田区麹町2丁目8	03-3263-7337	391	18

- 上記のように 1 行目にタイトル、任意の列に住所名を記載します。
- 住所は都道府県から入力してください。
- 以下のように、2行目に文字の場合は「S」、数字の場合は「N」、URL の場合は「U」を記述することで、各項目の属性の型を指定することができます。  
(2行目に指定がない場合は、すべて文字型として取り込まれます。)

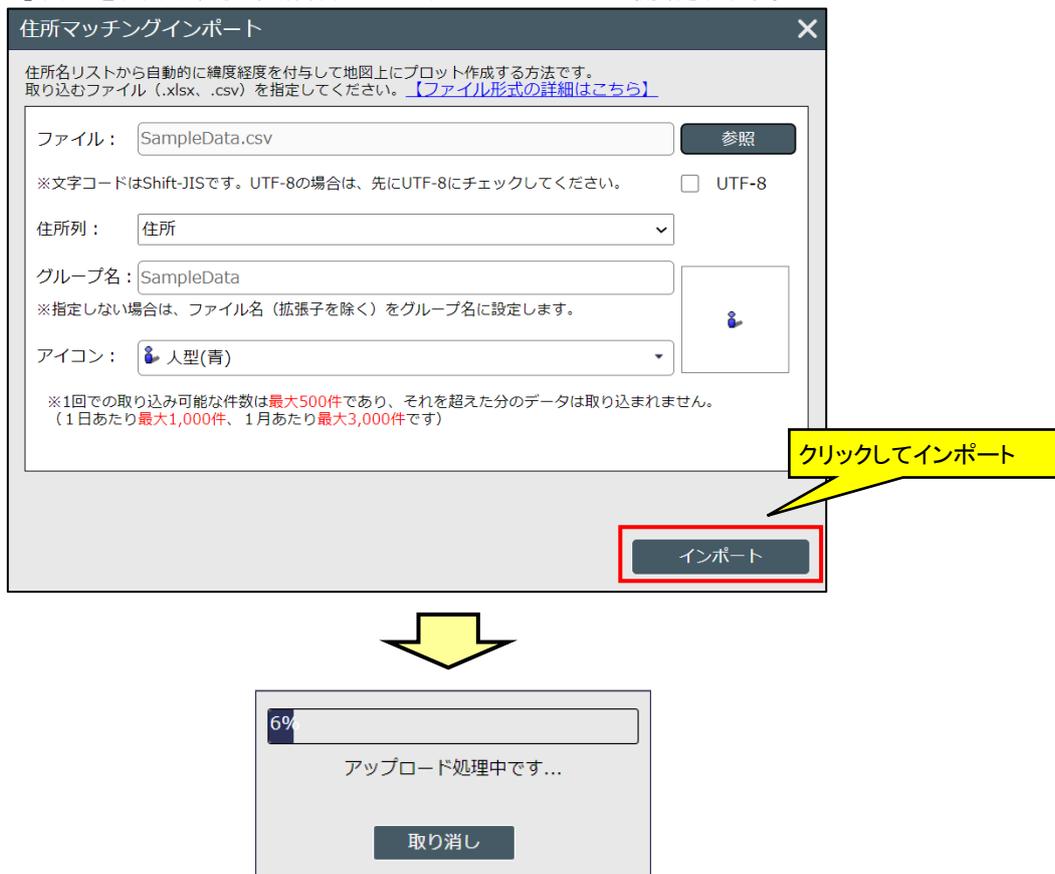
学校名,住所,電話番号,生徒数,教員数,URL  
S,S,S,N,N,U

- 住所マッチングでは1回の操作で作成できるプロットの上限を 500 件(1日あたり 1000 件、1月あたり 3000 件)に設定しています。
- 文字コードは Shift\_JIS と UTF-8 に対応しています。
- インポートは、インポート画面の「住所マッチング」をクリックして行います。

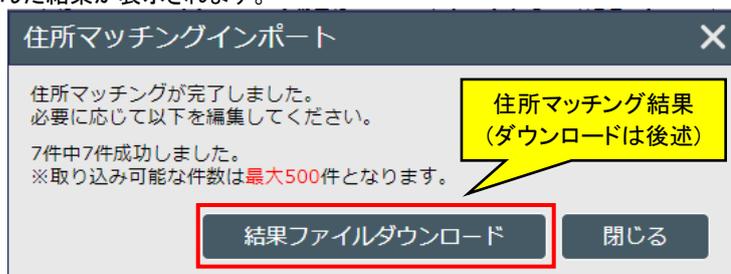


- 「参照」ボタンをクリックして、住所名リストファイル(.xlsx、.csv)を指定します。
- 文字コードは標準では Shift-JIS です。UTF-8 の場合は、「UTF-8」にチェックしてアップロードしてください。

- ・「インポート」ボタンをクリックすると住所名リストファイルのアップロードが開始されます。



- ・完了すると取り込んだ結果が表示されます。



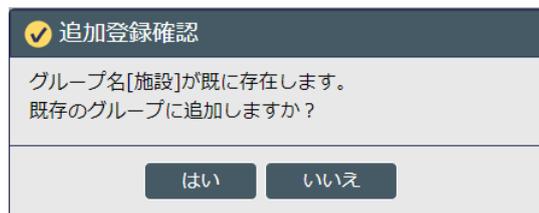
- ※ 個別のプロット名は、Excel または CSV ファイルの 1 列目の属性データが利用されます。
- ※ 1 列目、住所列、以外は属性として Excel または CSV ファイルに入っていた内容がそのまま登録されます。
- ※ 同一グループ内では、名称の重複はできません。  
住所マッチング結果ファイルの「説明」カラムに「名称が重複しています」が記載されます。プロットとしては取り込まれません。

- ・ 以下のようにプロットが登録されます。



#### ■ 既存のプロットグループに追加登録する場合

- ・ 既に存在しているプロットグループ名と同名の Excel または CSV ファイルをアップロードすることで、プロットの追加、更新を行うことができます。  
(ただし追加登録する場合は、既存のプロットグループの属性項目と、これから取り込もうとする Excel または CSV ファイルの属性項目が完全に一致している必要があります。属性項目が一致していない場合は、追加登録は行えません。)
- ・ 既に存在しているプロットグループ名と同名の Excel または CSV ファイル(例えば「施設」というプロットグループがすでに登録作成済みの状態で、「施設.csv」というファイル)を選択すると、以下のメッセージ画面が表示されます。



- ・ 既存のプロットグループに追加する場合は「はい」を選択してください。  
(属性項目が一致していない場合は「ファイルに書かれている属性項目が既存の属性項目と一致しません」のメッセージが表示されます)。
- ・ 「いいえ」を選択すると、追加登録を行いません。同名のプロットグループを複数作成することはできませんので、別グループとして取り込む場合は、グループ名を変更してから、「インポート」ボタンをクリックしてください。
- ・ 既存のプロットグループへの追加、更新は以下の規則で行われます。
  - 既存のプロットグループ内に、名称が一致したものがない  
⇒ 新規として住所マッチングを行い、追加登録
  - 既存のプロットグループ内に、名称は一致しているが、Excel または CSV 内の住所とは異なっているものがある  
⇒ 住所マッチングを行い、上書き更新
  - 既存のプロットグループ内に、名称と住所が一致しているものがある  
⇒ 登録済みとして、住所マッチング・追加登録は行わない。  
(結果ファイルには「登録済み」と出力されます。)

例を示します。

※既存のプロットグループ (グループ名 : 施設)

名称	住所
統計局	東京都新宿区若松町19-1
しんじゅくいるまこども園	東京都新宿区戸山1丁目21-1
新宿戸山郵便局	東京都新宿区戸山2丁目10

※取り込むCSVファイル (ファイル名 : 施設.csv)

名称	住所	説明
統計局	東京都新宿区若松町19-1	既存
新宿いるまこども園	東京都新宿区戸山1丁目21-1	名称が漢字 ⇒新規追加
新宿戸山郵便局	東京都新宿区戸山2丁目10-101	住所が異なる ⇒上書き
新宿区立戸山生涯学習館	東京都新宿区戸山2丁目11-101	新規追加
新宿区立余丁町小学校	東京都新宿区若松町13-1	新規追加

※結果

名称	住所	マッチングレベル	説明
しんじゅくいるまこども園	東京都新宿区戸山1丁目21-1		登録済み
新宿いるまこども園	東京都新宿区戸山1丁目21-1	6	号
新宿区立余丁町小学校	東京都新宿区若松町13-1	6	号
新宿区立戸山生涯学習館	東京都新宿区戸山2丁目11-101	6	号
新宿戸山郵便局	東京都新宿区戸山2丁目10-101	5	番地
統計局	東京都新宿区若松町19-1		登録済み

■ 住所マッチング結果を参照する場合

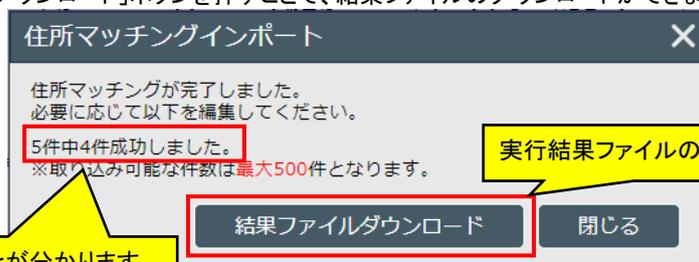
- 住所マッチングは、Excel または CSV ファイル内の任意の列に書かれている「住所名」から「緯度・経度」を自動的に割り振ります。住所名が間違っている場合や住所名が古すぎる(または新しすぎる)場合は、アンマッチまたはマッチングレベルが低くなります。  
ここでは、住所マッチング結果の参照方法を記載します。

- 以下のような CSV ファイルを例とします。

会員番号	住所	購買額	電話番号
1	東京都新宿区若松町 1 8	1000	03-1234-4567
2	東京都新宿区若松町 1 9		
3	東京都新宿区若松町 2 1	800	03-1111-2222
4	東京都新宿区若松町 2 1 - 7	1050	03-2222-3333
5	テスト区テスト 1	999	99-0999-999

不正な住所が入っています。

- 前述の通りアップロードした住所マッチングの結果画面は、以下のように表示されます。
- 「結果ファイルダウンロード」ボタンを押すことで、結果ファイルのダウンロードができます。



1 件失敗していることが分かります。

実行結果ファイルのダウンロード

- ダウンロードされたファイルは、以下のように記載されています。

1	東京都新宿区若松町 1 8	1000	03-1234-4567	5	番地
2	東京都新宿区若松町 1 9	1200	03-2345-6789	5	番地
3	東京都新宿区若松町 2 1	800	03-1111-2222	5	番地
4	東京都新宿区若松町 2 1 - 7	1050	03-2222-3333	6	号
5	テスト区テスト 1	999	99-0999-999	-1	市区町村検索に失敗しました：てすと区てすと 1

マッチングできなかった旨の記載がされています。

- 結果ファイルにはマッチングの評価結果が表示されています。評価は以下のようになっています。

評価	説明(以下範囲まで特定できている。)
-1	住所マッチングに失敗
-9	制限件数を超えました
0	不明
1	都道府県
2	市区町村
3	大字
4	字・丁目
5	番地
6	号

■ 登録できるプロットがない場合

- ・ アンマッチなどの理由によって登録できるプロットが1つもない場合は、以下のような画面が表示されます。

3件中0件成功しました。

- ・ データを取直し直す場合は、一旦終了してからやり直してください。

■ 住所マッチング件数の制限について

- ・ 先にも記載していますが、住所マッチングでは1回の操作で作成できるプロットの上限を500件(1日あたり1000件、1月あたり3000件)に設定しています。
- ・ 1回で500件よりも多いファイルを指定したときは、画面上に「1000件中500件成功しました」のように表示されます。
- ・ 1日あたりの件数制限については、ファイルアップロード時点で1000件以上になっている場合、「1日あたりの件数(1000件)」を超えています、が表示されます。(取り込み開始時点の件数が1000件未満の場合は、今回の取り込みで1000件を超えてしまう場合でもその取り込みは行われます。1000件で打ち切ることはしていません。)
- 1月あたりの件数制限についても、1日あたりの件数制限と同様の適用となります。
- ・ 1回で500件を超えるファイルを住所マッチングした場合、1日あたりの件数としてカウントされるのは500件です。超える分はカウントされません。
- ・ カウントはExcelまたはCSVファイルをアップロードして、住所マッチングが行われた時点でカウントされます。途中で中断した場合も件数としてカウントされます。
- ・ 1日あたりの件数制限は0時を超えた時点でクリアされます。1月あたりの件数制限は月変わりでクリアされます。

### 3.3.1.7 プロットデータの緯度経度リストインポート

- 緯度経度が付与された Excel または CSV ファイルから一括でプロット登録が行えます。
- 任意の列に世界測地系の 10 進経度、緯度を記載した Excel または CSV ファイルを準備します。  
(緯度経度値は小数点以下8桁まで取り込まれます。)

会員番号	住所(市区町村)	電話番号	購買額	最新来店日	前回来店日	経度	緯度
A001	東京都新宿区	03-1234-5678	1000	2012/3/1	2011/10/1	139.7176217	35.70008917
A002	東京都新宿区	03-1234-5678	200	2012/2/1	2011/10/1	139.717411	35.69974722
A003	東京都新宿区	03-1234-5678	400	2011/12/1	2011/9/30	139.7162006	35.69970444
A004	東京都新宿区	03-1234-5678	550	2011/12/20	2011/12/12	139.7156742	35.69988222
A005	東京都新宿区	03-1234-5678	1230	2012/3/1	2011/10/1	139.7170428	35.69945278
A006	東京都新宿区	03-1234-5678	1000	2012/2/1	2011/10/1	139.7183061	35.7002175
A007	東京都新宿区	03-1234-5678	200	2011/12/1	2011/9/30	139.7179114	35.699556
A010	東京都新宿区	03-1234-5678	1230	2012/2/1	2011/10/1	139.7149214	35.70000917
A011	東京都新宿区	03-1234-5678	400	2011/12/1	2011/9/30	139.7150425	35.70075194

プロット名になります  
属性値になります  
任意の列に経度・緯度

- 最初の列はプロット名に利用され、2 列目以降(経度、緯度以外)が属性項目となります。
- 以下のように、2行目に文字の場合は「S」、数字の場合は「N」、URL の場合は「U」を記述することで、各項目の属性の型を指定することができます。  
(2行目に指定がない場合は、すべて文字型として取り込まれます。)

会員番号,住所(市区町村),電話番号,購買額,最新来店日,前回来店日,経度,緯度  
S,S,S,N,S,S,N,N

- 緯度経度付きファイルでの取り込みは、1回の上限を 2,000 件に設定しています。
- インポートは、インポート画面の「緯度経度リスト」をクリックして行います。



- 「参照」ボタンをクリックして、緯度経度付きファイル(.xlsx, .csv)を指定します。
- 文字コードは標準では Shift-JIS です。UTF-8 の場合は、UTF-8 にチェックしてアップロードしてください。

- ・「インポート」ボタンをクリックすると緯度経度付きファイルのアップロードが開始されます。

**緯度経度リストインポート** ✕

緯度経度リストから地図上にプロット作成する方法です。  
 取り込むファイル (.xlsx、.csv) を指定してください。 [【ファイル形式の詳細はこちら】](#)

ファイル:  参照

※文字コードはShift-JISです。UTF-8の場合は、先にUTF-8にチェックしてください。  UTF-8

緯度列:

経度列:

グループ名:

※指定しない場合は、ファイル名(拡張子を除く)をグループ名に設定します。

アイコン:  四角形(赤) [赤い四角のプレビュー]

※1回での取り込み可能な件数は最大2,000件であり、それを超えた分のデータは取り込まれません。

**インポート**

クリックしてアップロード

- ・完了すると取り込んだ結果が表示されます。

**緯度経度リストインポート** ✕

緯度経度リストの取り込みが完了しました。  
 必要に応じて以下を編集してください。

8件中8件成功しました。  
 ※取り込み可能な件数は最大2,000件となります。

**結果ファイルダウンロード** 閉じる

取り込み結果  
(ダウンロードは後述)

- ・個別のプロット名は、Excel または CSV ファイルの 1 列目の属性データが利用されます。
- ・1 列目、緯度列、経度列、以外は属性として Excel または CSV ファイルに入っていた内容がそのまま登録されます。
- ・同一グループ内では、名称の重複はできません。名称が重複している場合、先の行の内容で登録されます。
- ・以下のようにプロットが登録されます。



■ 取り込み結果を参照する場合

- ・ 以下のような CSV ファイルを例とします。

物件名	所在地	経度	緯度
パークスクエアさいたま新都心	さいたま市中央区上落合6-1090-1他	139.6239111	35.89468889
パークスクエア湘南茅ヶ崎	茅ヶ崎市浜之郷字太子免1239-1他	139.3985842	35.33356028
シティテラス目白	豊島区高田2-1361-3他	139.7130383	35.71673972
パークスクエア相模大野タワー &レジデンス	相模原市南区相模大野7-3622-2外	139.4414561	35.53010389

全角文字が混ざっています。

- ・ 前述の通りアップロードした「緯度経度付きファイル」画面は、以下のように表示されます。
- ・ 「結果ファイルのダウンロード」ボタンを押すことで、結果ファイルのダウンロードができます。

**緯度経度リストインポート** ✕

緯度経度リストの取り込みが完了しました。  
必要に応じて以下を編集してください。

4件中3件成功しました。  
※取り込み可能な件数は最大2,000件となります。

**実行結果ファイルのダウンロード**

1件失敗していることが分かります。

**結果ファイルダウンロード** 閉じる

- ・ ダウンロードされたファイルは、以下のように記載されています。

パークスクエアさいたま新都心	さいたま市中央区上落合6-1090-1他	139.6239111	35.89468889	OK	
パークスクエア湘南茅ヶ崎	茅ヶ崎市浜之郷字太子免1239-1他	139.3985842	35.33356028	OK	
シティテラス目白	豊島区高田2-1361-3他	139.7130383	35.71673972	OK	
パークスクエア相模大野タワー &レジデンス	相模原市南区相模大野7-3622-2外	139.4414561	35.53010389	NG	緯度または経度が不正な値です

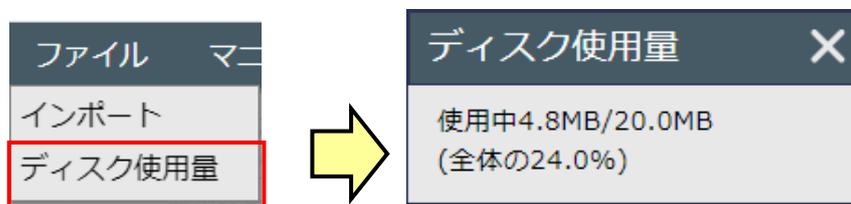
マッチングできなかった旨の記載がされています。

■ 既存のプロットグループへの追加登録

- ・ 住所マッチングでのプロット登録と同様に、すでにあるプロットグループ名と同じ名称のファイルを選択すると、既存のプロットグループへ追加登録することができます。
- ・ 操作については「プロットデータの住所マッチングインポート」の「■既存のプロットグループに追加登録する場合」を参照ください。
- ・ 緯度経度付きファイルでの取り込みでの、追加登録、修正登録の規則は以下の通りです。
  - 既存のプロットグループ内に、名称が一致したものがない  
⇒ 追加登録
  - 既存のプロットグループ内に、名称が一致しているものがある  
⇒ Excel または CSV 内の緯度経度で上書き修正登録

### 3.3.2 利用ディスク容量の表示

- ・メニューバー上の「ファイル」メニューから「ディスク使用量」を選択すると、地図画面上に「ディスク使用量」画面が表示されます。



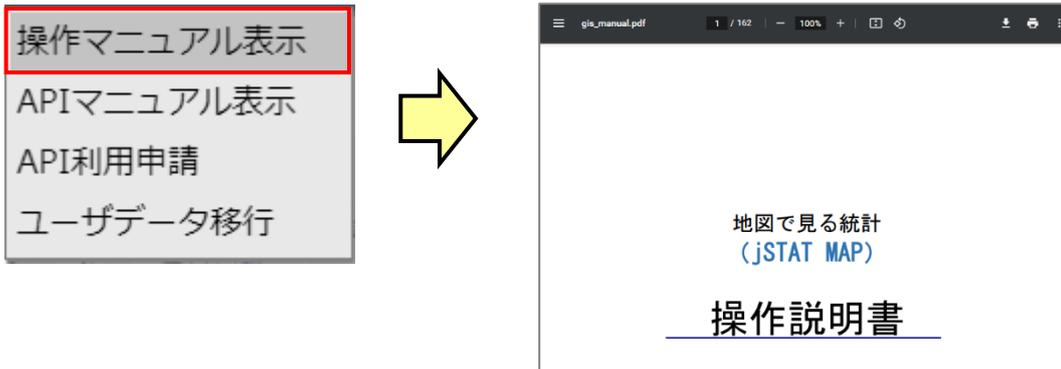
### 3.4 マニュアル等

- メニューバー上の「マニュアル等その他」メニューについて詳細を以下に説明します。



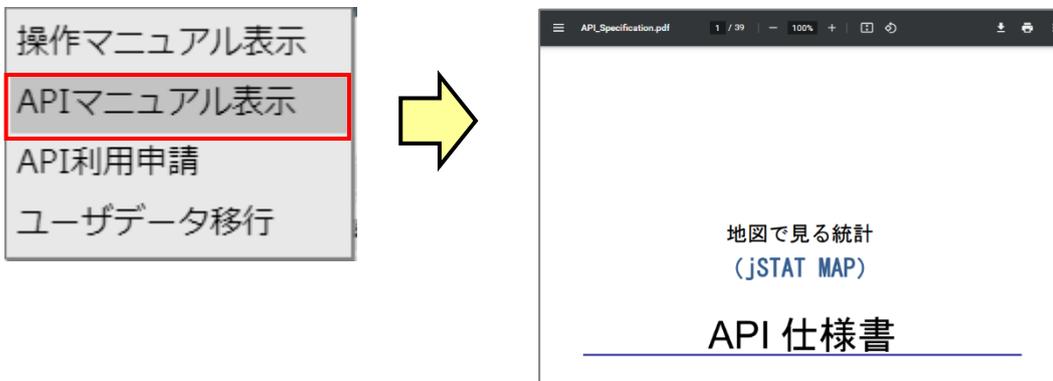
#### 3.4.1 操作マニュアル表示

- メニューバー上の「その他」メニューから「操作マニュアル表示」を選択すると、別ブラウザでマニュアルが表示されます。



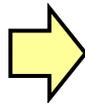
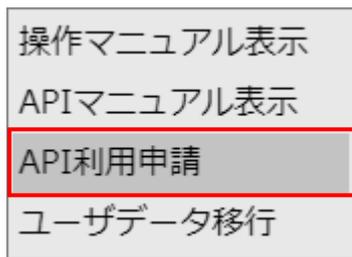
#### 3.4.2 API マニュアル表示

- メニューバー上の「その他」メニューから「API マニュアル表示」を選択すると、別ブラウザでマニュアルが表示されます。



### 3.4.3 API 利用申請

- ・ 地図で見る統計(jSTAT MAP)では、リッチレポートの「周辺エリアの集計値取得」と「周辺地図画像取得」を API で提供しています。
  - 集計値取得  
中心緯度経度と集計範囲(円または到達圏)を指定して人口や世帯数などの集計(3次レベルまで可能)を行い、集計結果および中心点の属する市区町村、都道府県の集計値を返却します。
  - 地図画像取得  
1次エリアを含む国土地理院地図の画像を PNG 形式で返却します。
- ・ ご利用には API 利用の申請が必要です。メニューバー上の「その他」メニューから「API 利用申請」を選択して、表示される画面から申し込みを行ってください。



**API利用申請** ✕

APIを利用するためには、利用申込みをしてAPIキーを取得して頂く必要があります。

APIを利用する方は、下の「API利用」で「利用する」にチェックの上「送信」ボタンを押してください。登録されたメールアドレスにAPIキーを送信します。

---

API利用     利用する     利用しない

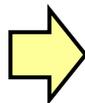
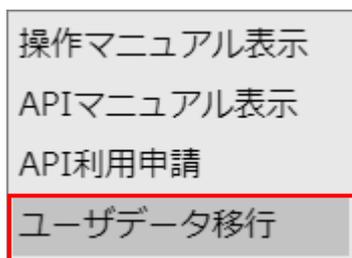
**送信**

APIキーを忘れた方は、[こちら](#)をクリックしてください。発行済みのAPIキーを送信します。

- ・ API を利用する場合は、「利用する」を選択して、「送信」を押してください。メールにて API キーを送信されます。
- ・ API の利用をやめる場合は、「利用しない」を選択して、「送信」を押してください。

### 3.4.4 ユーザデータ移行

- ・ 旧 jSTAT MAP のユーザアカウント(メールアドレス形式ではないもの)ユーザは、データを新アカウントへ移行することができます。
- ・ データを移行することができるのは 1 回のみです。移行を行うと旧アカウントのデータは削除されますので、ご注意ください。



**ユーザデータ移行申請** ✕

旧システムのアカウント (アルファベットで始まるメールアドレスではないもの) でログインしているユーザは、移行期間後、ログインできなくなります。新アカウントへ旧アカウントで作成したデータを付け替えることができます。以下より旧アカウントのIDとパスワードを入力してください。

旧アカウント:

パスワード:

**送信**

データ移行は1回のみです。移行を行うと旧アカウントのデータは削除されます。

### 3.5 お問い合わせ

- ・メニューバー上の下記赤枠のメニューをクリックすると、e-Stat の「お問い合わせ」ページが別タブで表示されます。



### 3.6 ログイン

メニューバー右端の表示は、ログインの有無で異なります。

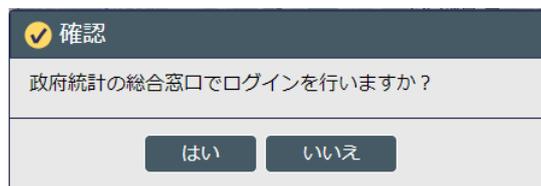
- ・ログインしてご利用の場合:ログイン ID が表示されます。



- ・ログインしていないでご利用の場合:「ログイン」のボタンが表示されます。



- ・「ログイン」をクリックすると、確認のメッセージが表示されます。「はい」を選択すると、jSTAT MAP を終了して、政府統計の総合窓口のログイン画面に遷移します。



## 4 統計地図作成機能

- ・ 地図画面右下の「統計地図作成」ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。  
(「メニューバー」の「統計地図作成」からも起動できます。)



「統計地図作成」として提供している機能は以下の通りです。

- プロット作成  
地図上にポイントデータを登録する機能です。
- エリア作成  
地図上に多角形や円などのエリアを作成・登録する機能です。
- 統計グラフ作成  
統計データグラフを作成し、地図上に表示する機能です。  
プロットやエリアと組み合わせたグラフの作成も可能です。
- レポート作成  
作成した統計グラフを HTML や、Excel で出力したり(シンプルレポート)、地図上で地点を指定、あるいは作成したエリアを指定してその周辺に関するレポートを Excel で出力(リッチレポート)する機能です。

- ・グループ名、グラフ名の先頭に「.(ドット)」は入力できません。
- ・グループ名、グラフ名に「¥/,:;\*?'<>|□」は入力できません。

## 4.1 プロット作成

- ・ プロットは地図上に置くことができるポイント情報です。自店の位置、会員データの分布状況などを地図上で確認することができます。また、地図上に置いたプロットを集計することもできます。
- ・ プロットは「グループ」を作成した上で、そのグループ内に1つ1つのポイントを登録する形となります。
- ・ プロットの操作は主に左パネルで行います。
- ・ 「統計地図作成」メニューから「プロット作成」を選択すると、「地図クリック」画面が表示されます。
- ・ 「地図クリック」画面では、地図上を直接クリックしてプロットを登録することができます。



### 地図クリック

地図上をクリックしてプロットデータを追加する方法です。  
作成済みグループを選択するか、新規グループを作成するかを選択してください。

新規グループ  既存グループ

グループ名

アイコン選択

▼ 属性項目設定

#### 4.1.1 地図クリックによるプロット追加

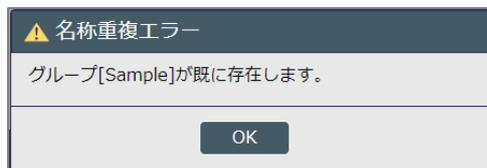
- ・ 新規にグループを作成する場合は、「新規グループ」をチェックし、必要事項を入力して「次へ」ボタンをクリックしてください。
- ・ 新規グループ作成の場合は、「グループ名」の入力と「アイコン選択」は必須です。



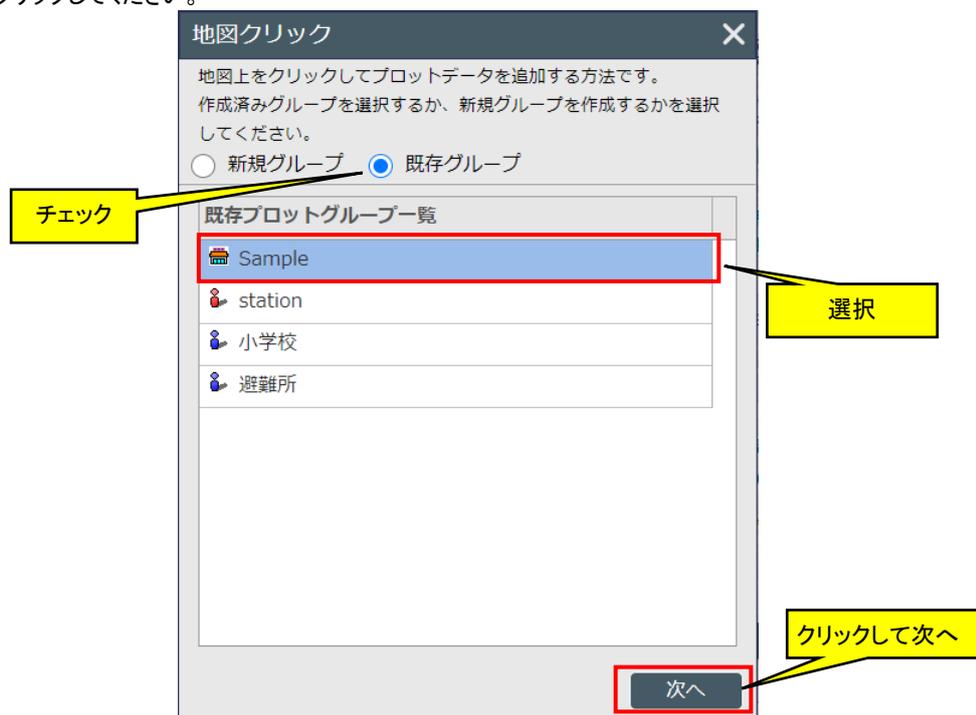
- ・ 「属性項目設定」ラベルをクリックすると、入力欄が表示されます。
- ・ 「名称」には、「電話番号」や「売上額」などの属性項目の名称を入力してください。
- ・ 「型」のプルダウンリストからは、属性の型を「文字」、「数字」、「URL」のいずれかを指定します。
- ・ 属性項目については、「項目追加」ボタンを押すことで項目を追加することができます。  
(追加できる項目数に上限はありません。)



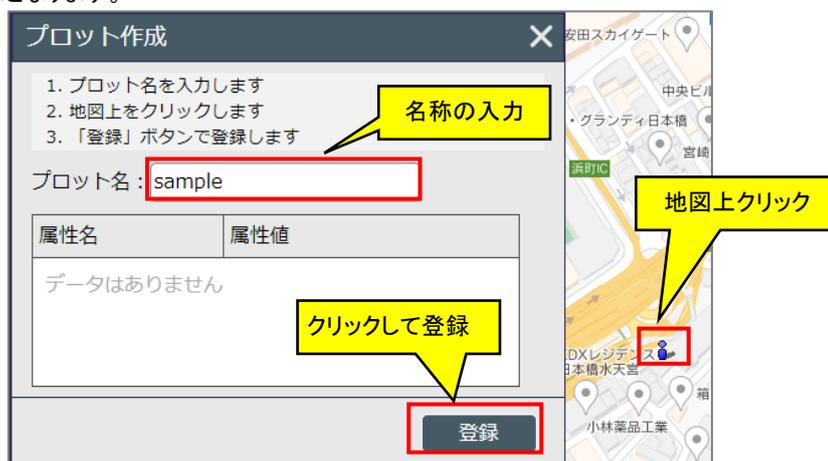
- ・ グループ名称は重複させて登録することができません。名称が重複する場合は、「次へ」ボタンを押した際に以下のようなエラー画面が表示されます。名称を変更してください。



- ・ 既存グループに対して追加する場合は、以下のように「既存グループ」をチェックし、グループを選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

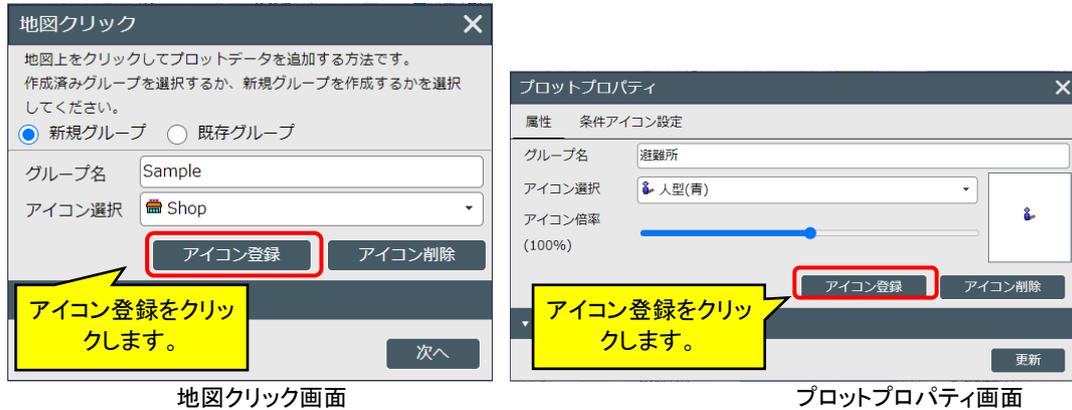


- ・ 「次へ」ボタンをクリックすると「地図クリック」画面が閉じ、メイン地図左上に「プロット作成」画面が表示されます。プロット名を入力し、地図上でプロットしたい位置をクリックした後に「登録」ボタンを押してください。
- ・ 「登録」ボタンをクリックした時点で登録されます。引き続きプロット追加の操作を行えるように「プロット作成」画面は表示されたままとまります。



#### 4.1.1.1 プロットアイコンの登録

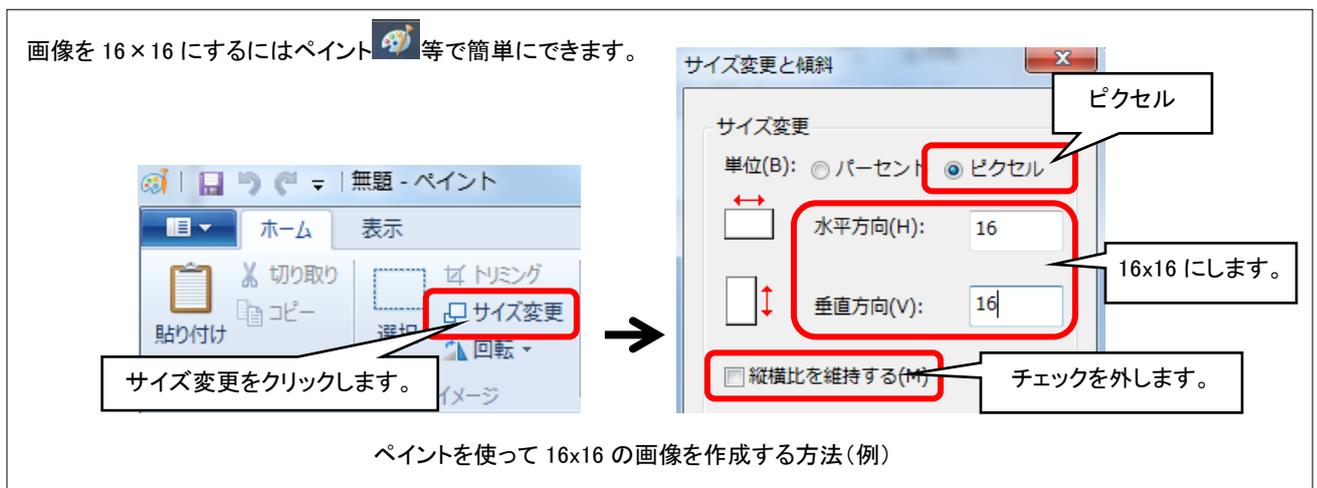
- ・プロットのアイコンを新たに追加するには、「地図クリック」画面の新規グループ追加部分の「アイコン登録」ボタンから行います。プロット登録後はプロットプロパティでもアイコンを新規追加することができます。
- ・「アイコン登録」ボタンをクリックします。



- ・「参照」ボタンをクリックしてから準備した画像ファイルを指定します。
- ・「登録」ボタンをクリックして登録します。



※登録できる画像ファイルは PNG のみで、画像の大きさは 16×16 である必要があります。超過する場合は自動で縮小されます。(正方形の場合のみ)

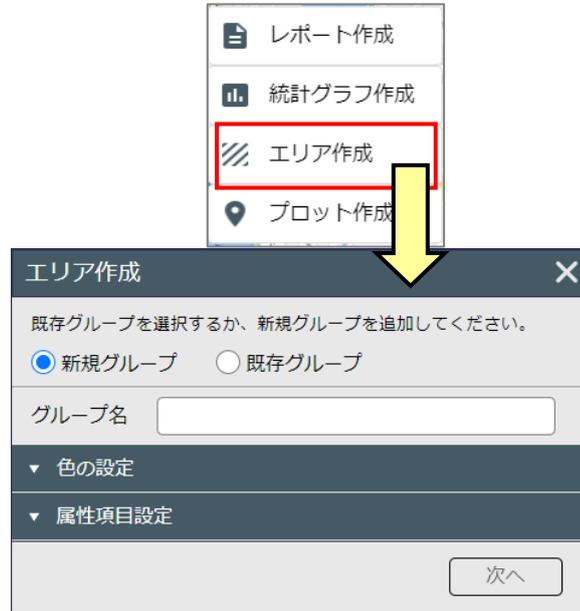


- 登録された画像は「アイコン選択」から選べるようになります。



## 4.2 エリア作成

- ・ プロットが“点の情報”であるのに対して、エリアは“面の情報”を扱います。
- ・ エリアは「グループ」を作成した上で、そのグループ内に1つ1つのエリアを登録する形となります。
- ・ エリアの操作は主に左パネルで行います。
- ・ 「統計地図作成」メニューから「エリア作成」を選択すると、「エリア作成」画面が表示されます。



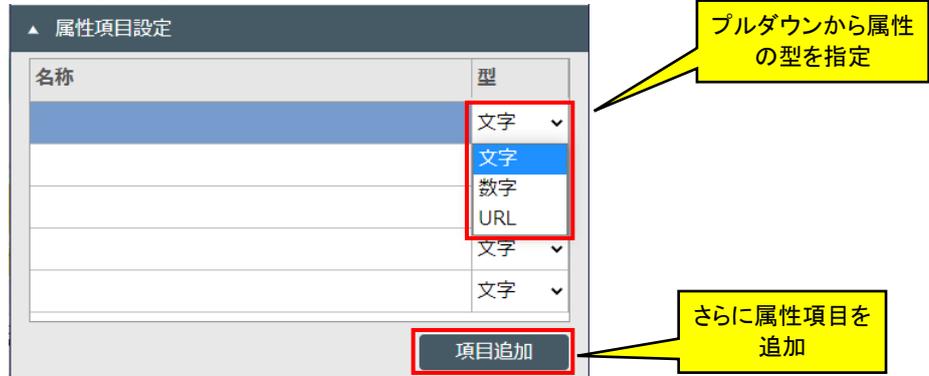
- ・ 新規にグループを作成する場合は、「新規グループ」をチェックし、必要事項を入力して「次へ」ボタンを押してください。



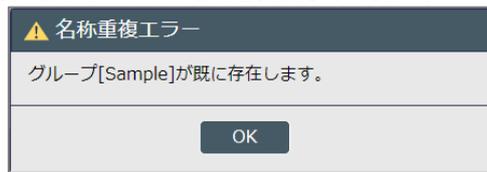
- ・ 「色の設定」ラベルをクリックすると、入力欄が表示されます。
- ・ ハッチパターンなどはシステムの既定値が予め設定されています。



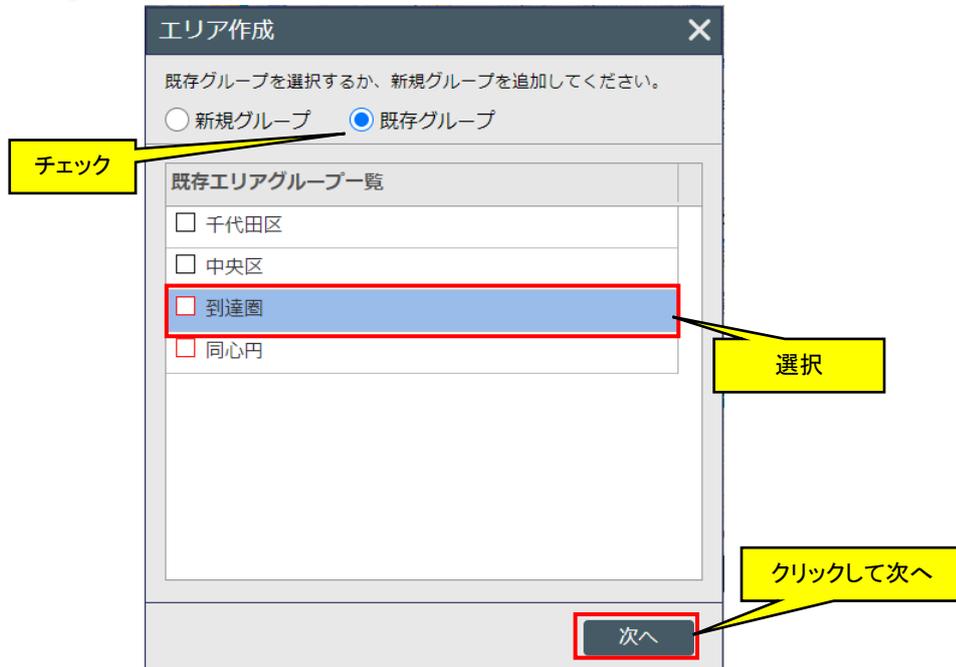
- ・「属性項目設定」ラベルをクリックすると、属性項目の入力欄が表示されます。
- ・属性名は、「販売店名」や「基本部数」など、属性のタイトルを入力してください。
- ・「型」のプルダウンリストからは、属性の型を「文字」、「数字」、「URL」のいずれかを指定します。
- ・属性項目については、「項目追加」ボタンを押すことで項目を追加することができます。  
(追加できる項目数に上限はありません。)



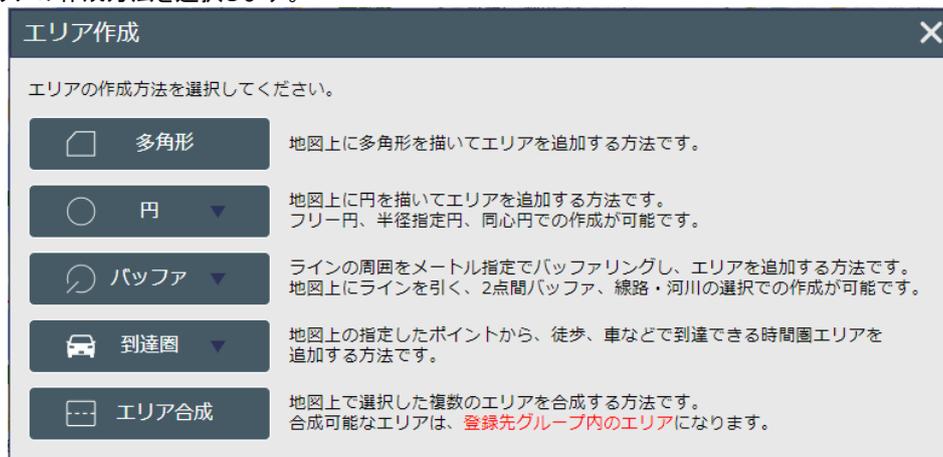
- ・グループ名称は重複させて登録することができません。名称が重複する場合は、「次へ」ボタンをクリックした際に以下のようなエラー画面が表示されます。名称を変更してください。



- ・既存グループに対して追加する場合は、以下のように「既存グループ」をチェックし、グループを選択した上で、「次へ」ボタンをクリックしてください。



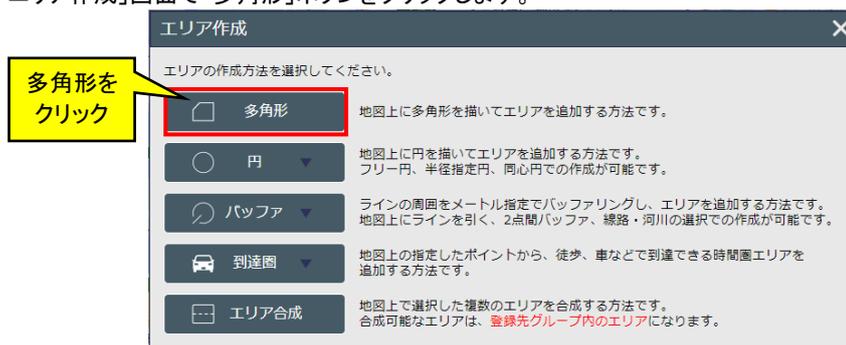
- ・ エリアの作成方法を選択します。



※この先の作成方法は、「4.2.1 多角形エリア作成」～「4.2.5 エリア合成」を参照ください。

#### 4.2.1 多角形エリア作成

- ・ 多角形エリアは、線路、幹線道路、川などに沿ってエリアを描くなど、任意の多角形を作成するときに利用します。
- ・ 「エリア作成」画面で「多角形」ボタンをクリックします。

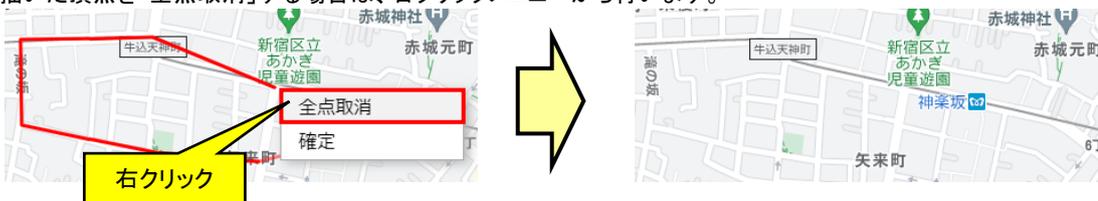


- ・メイン地図左上に「多角形」画面が表示されます。エリア名称を入力した上で、地図上を連続クリックし、多角形を描きます。

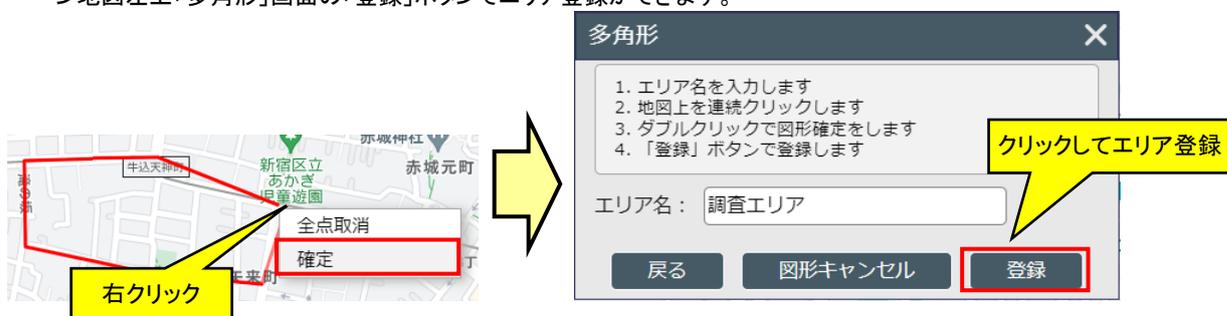


※8の字を描くような交差した図形は作成できません。

- ・描いた頂点を「全点取消」する場合は、右クリックメニューから行います。



- ・図形を確定する場合は、ダブルクリック、または右クリックからの「確定」によって行います。図形確定後は、メイン地図左上「多角形」画面の「登録」ボタンでエリア登録ができます。



- ※「図形キャンセル」ボタンをクリックすると描いた図形が破棄され、新たに図形を描くことができます。
- ※「登録」ボタンをクリックした後も引き続きエリア追加の操作が行えるようにメイン地図左上の「多角形」画面は表示されたままとなります。

- ・地図上にはエリア登録後にハッチパターンなどが反映されて表示されます。



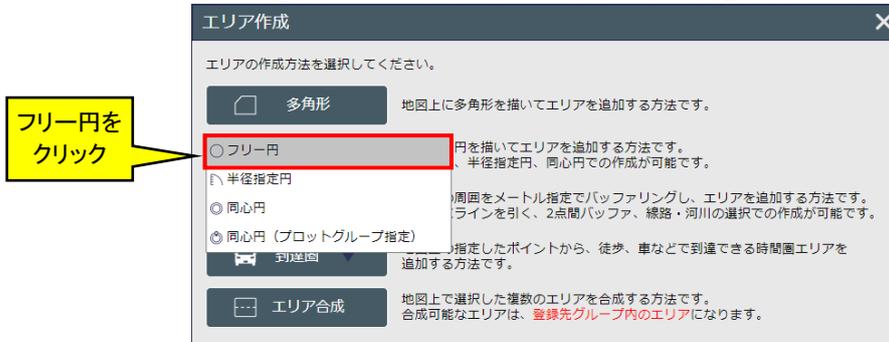
## 4.2.2 円エリア作成

- ・ 円エリアは、円でエリアを作成するときにご利用します。
- ・ 円を描く方法として「フリー円」「半径指定円」「同心円」「同心円(プロットグループ指定)」の4種類があります。
- ・ 「エリア作成」画面で「円」ボタンをクリックすることで、プルダウンリストからそれぞれ選択します。



### 4.2.2.1 フリー円

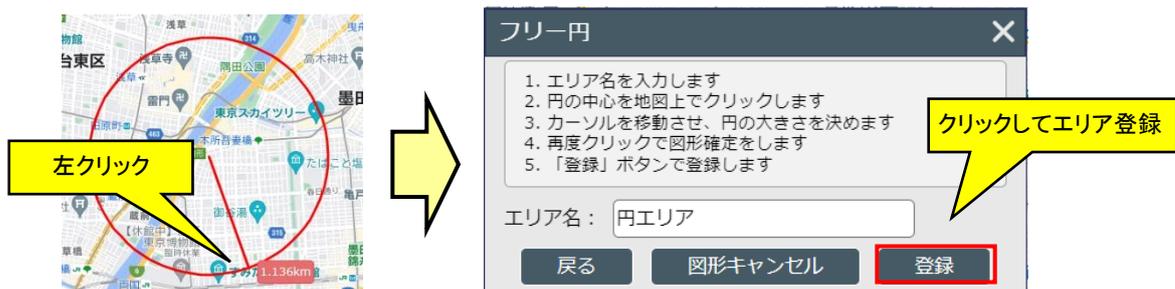
- ・ 円エリアを目視で描くときに利用します。半径の距離が決まっている場合は、「半径指定円」をご利用ください。
- ・ 「エリア作成」画面で「円」ボタンのプルダウンリストにある「フリー円」をクリックします。



- ・ メイン地図左上に以下のような「フリー円」画面が表示されます。エリア名を入力した上で、地図上をクリックするとその地点を中心とした円が描けます。
- ・ カーソル部分には、「0km」といった内容が表示されます。



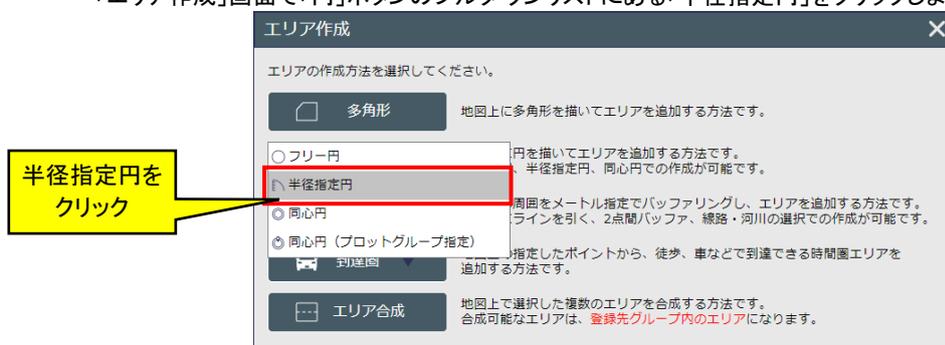
- ・ 左クリックで図形を確定することができます。図形確定後は、「登録」ボタンでエリア登録ができます。



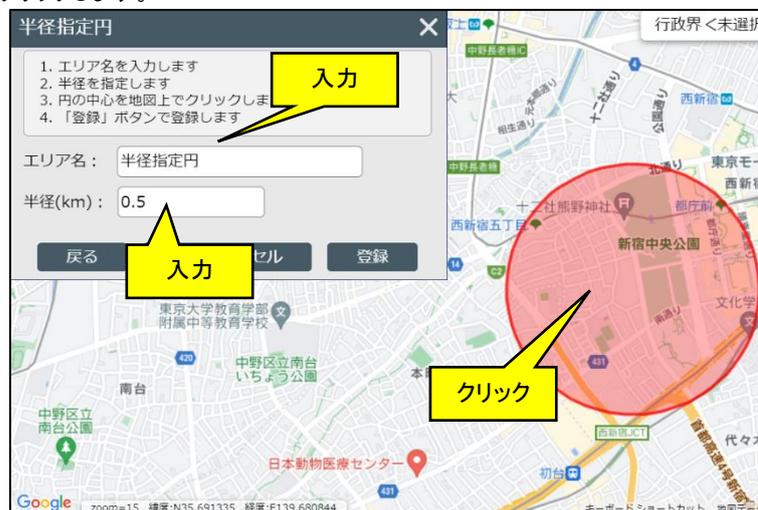
※「確定」後は、メイン地図左上の画面から「図形キャンセル」ボタンをクリックすることで、描いた図形を破棄することができます。

#### 4.2.2.2 半径指定円

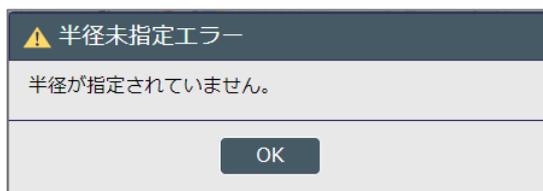
- ・ 予め円の半径が決まっている場合は、「半径指定円」によるエリア作成を行います。
- ・ 「エリア作成」画面で「円」ボタンのプルダウンリストにある「半径指定円」をクリックします。



- ・ メイン地図左上に以下のような「半径指定円」画面が表示されます。エリア名、半径(km)を入力し、地図上の中心となる場所をクリックします。



- ・ 半径を入力せずに地図をクリックすると以下のようなエラー画面が表示されます。半径を入力してからクリックしてください。



- ・ 中心点をクリックするとそれで図形は確定されます。修正したい場合は、再度地図をクリックし、中心位置を修正してください。登録する場合は、「登録」ボタンをクリックします。

※「確定」後は、メイン地図左上の画面から「図形キャンセル」ボタンをクリックすることで、描いた図形を破棄することができます。

#### 4.2.2.3 同心円

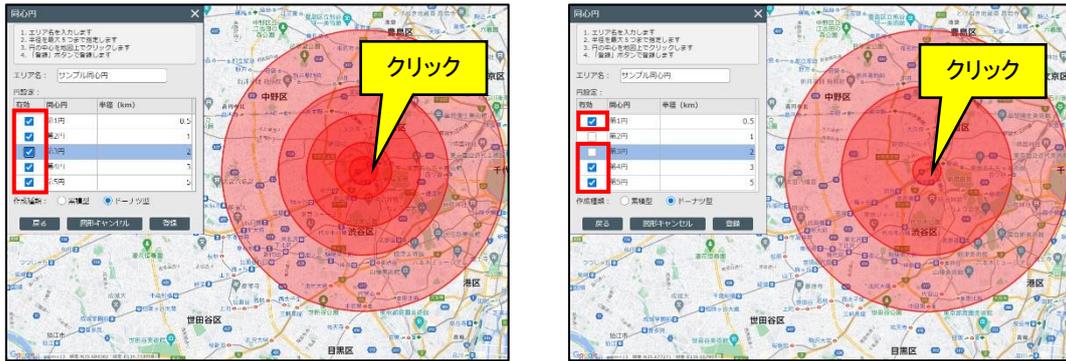
- ・ 同じ中心地点から 1 次、2 次、3 次といった同心円を半径指定で描く場合は、「同心円」から作成します。
- ・ 「エリア作成」画面で「円」ボタンのプルダウンリストにある「同心円」をクリックします。

- ・ メイン地図画面左上に表示される「同心円」画面にエリア名を入力した上で、同心円の円設定を行います。

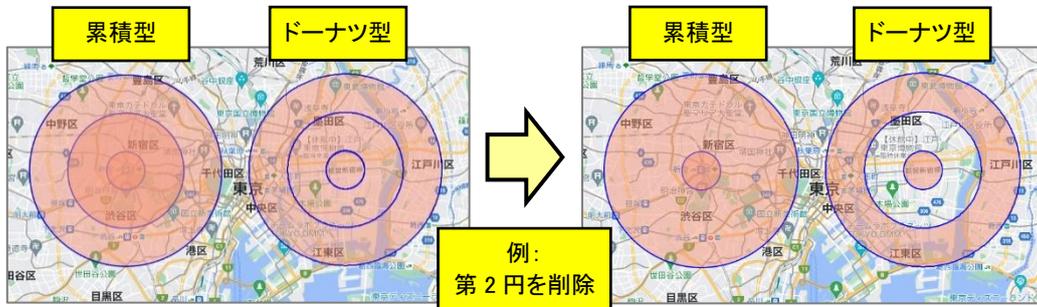
有効	同心円	半径 (km)
<input checked="" type="checkbox"/>	第1円	0.5
<input checked="" type="checkbox"/>	第2円	1
<input checked="" type="checkbox"/>	第3円	2
<input checked="" type="checkbox"/>	第4円	3
<input checked="" type="checkbox"/>	第5円	5

※第 1 円、第 2 円、第 3 円、第 4 円、第 5 円間での半径の大小は問いません。小さい順に並べて同心円を作成します。

- ・ 地図上をクリックすると円設定でチェックを入れた半径円が描画されます。



- ・ 作成種類では「累積型」または「ドーナツ型」を選択します。両者の違いは、重なる部分を空洞にするかどうかです。空洞にしない場合は「累積型」、空洞にする場合は「ドーナツ型」を選択してください。  
 ※例えば、下図のように第3円までの円がある状態で第2円を削除した場合、「累積型」は重なる部分が残りますが、「ドーナツ型」は形状通りに削除されます。



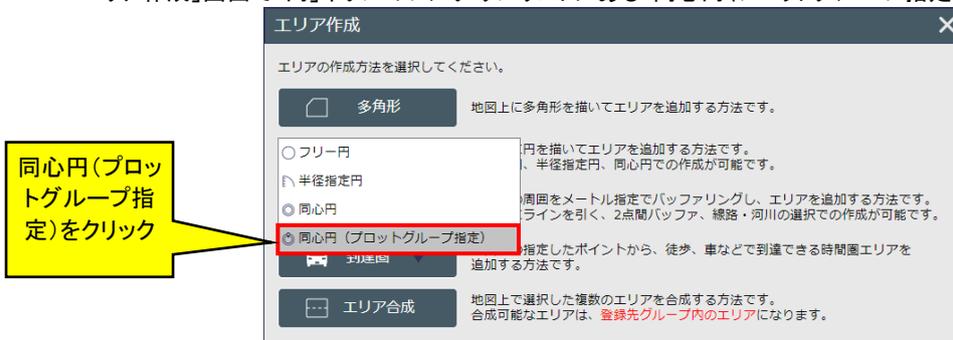
- ・ 図形確定後は、「登録」ボタンでエリア登録ができます。



※「登録」ボタンを押す前に「図形キャンセル」ボタンをクリックすると描いた図形が破棄されます。

#### 4.2.2.4 同心円(プロットグループ指定)

- ・ 同心円(プロットグループ指定)は、複数の施設などに対して1回の操作で同心円(円)を一括作成するときに利用します。
- ・ 「エリア作成」画面で「円」ボタンのプルダウンリストにある「同心円(プロットグループ指定)」をクリックします。



- ・ 続いて以下のような「同心円(プロットグループ指定)」画面が表示されます。
- ・ 円の中心とするプロットグループを「既存プロットグループ一覧」から選択し、画面右の「円設定」で作成したい同心円を選択します。(半径はクリックすると数字を変更できるようになります)
- ・ 作成種類で「累積型」または「ドーナツ型」を選択します。両者の違いについては「4.2.2.3 同心円」を参照ください。

- ・ エリア作成範囲で「すべて」または「画面範囲内のみ」どちらかを選択し、「同心円一括作成」ボタンをクリックします。

**同心円 (プロットグループ指定)**

プロットグループを選択し、円半径を指定してください。  
 プロットグループ名:

**プロットグループ選択**

既存プロットグループ一覧

- Sample
- station
- 小学校
- 避難所

円の中心にするプロットグループを一覧より選択します。

**円設定**

有効	同心円	半径 (km)
<input type="checkbox"/>	第1円	0.5
<input type="checkbox"/>	第2円	1
<input type="checkbox"/>	第3円	2
<input type="checkbox"/>	第4円	3
<input type="checkbox"/>	第5円	5

作成種類:  累積型  ドーナツ型

エリア作成範囲

範囲:  すべて  画面範囲内のみ

同心円一括作成開始

作成する同心円の半径を選択します。

半径の数字はクリックすると変更できるようになります。

有効	同心円	半径 (km)
<input type="checkbox"/>	第1円	0.5
<input type="checkbox"/>	第2円	<input style="width: 50px;" type="text" value="1"/>
<input type="checkbox"/>	第3円	2

作成種類を選択します。

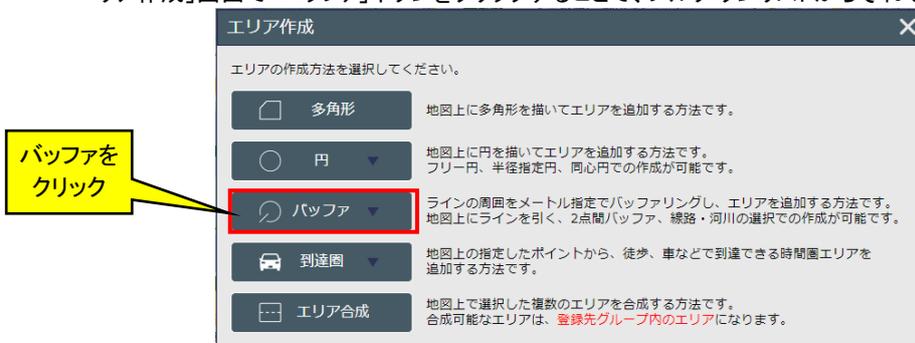
エリア作成範囲を選択します。

「同心円一括作成開始」ボタンをクリックします。



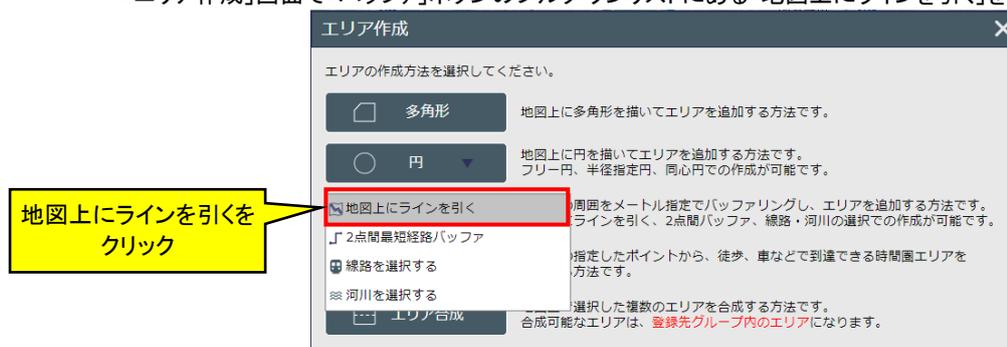
### 4.2.3 バッファエリア作成

- ・ 線路などの沿線をラインで描き、そのラインから半径 500m 範囲をエリアにする場合などに利用します。
- ・ またラインを始点から終点までの道路に沿った経路で描くこともできます。
- ・ バッファを描く方法として「地図上にラインを引く」「2 点間最短経路バッファ」「線路を選択する」「河川を選択する」の 4 種類があります。
- ・ 「エリア作成」画面で「バッファ」ボタンをクリックすることで、プルダウンリストからそれぞれ選択します。



#### 4.2.3.1 地図上にラインを引く

- ・ 地図上にラインを引くは、地図上にラインを引くことによりエリアを作成するときに利用します。
- ・ 「エリア作成」画面で「バッファ」ボタンのプルダウンリストにある「地図上にラインを引く」をクリックします。



- ・ メイン地図画面左上に「地図上にラインを引く」画面が表示されます。エリア名と半径(m)を指定し、地図上を連続クリックしてラインを描きます。



- ・ 描いたラインの「全点取消」を行う場合は、右クリックメニューから行います。



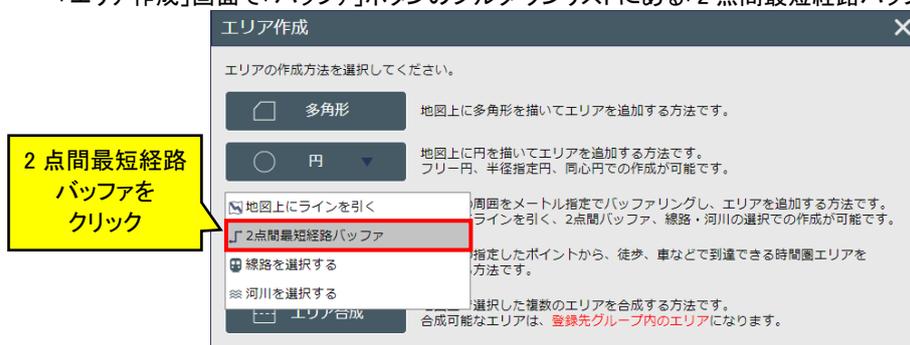
- ・ ダブルクリック、または右クリックメニューから「確定」をすることで、ラインを確定できます。確定後は、地図上にバッファを含んだエリアが表示されますので、問題がなければ「登録」ボタンをクリックして登録します。



- ※「登録」ボタンをクリックする前に「図形キャンセル」ボタンをクリックすると仮のバッファリングエリアは破棄されます。

#### 4.2.3.2 2点間最短経路バッファ

- ・ 2点間最短経路バッファは、地図上に経路を作成し、作成した経路でエリアを作成するときにご利用します。
- ・ 「エリア作成」画面で「バッファ」ボタンのプルダウンリストにある「2点間最短経路バッファ」をクリックします。



- ・ メイン地図画面左上に「2点間最短経路バッファ」画面が表示されます。エリア名と半径(m)を指定し、地図上をクリックして始点と終点を指定します。



- ・ 地図上で始点と終点をクリックすると自動的に経路を求め、バッファエリアを表示しますので、問題がなければ「登録」ボタンをクリックして登録します。

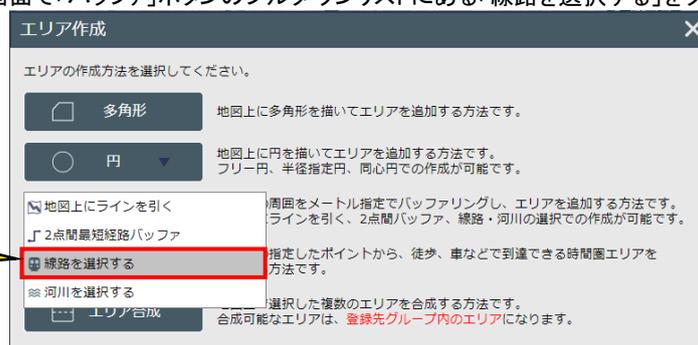


- ※「登録」ボタンをクリックする前に「図形キャンセル」ボタンをクリックすると仮のバッファリングエリアは破棄されます。

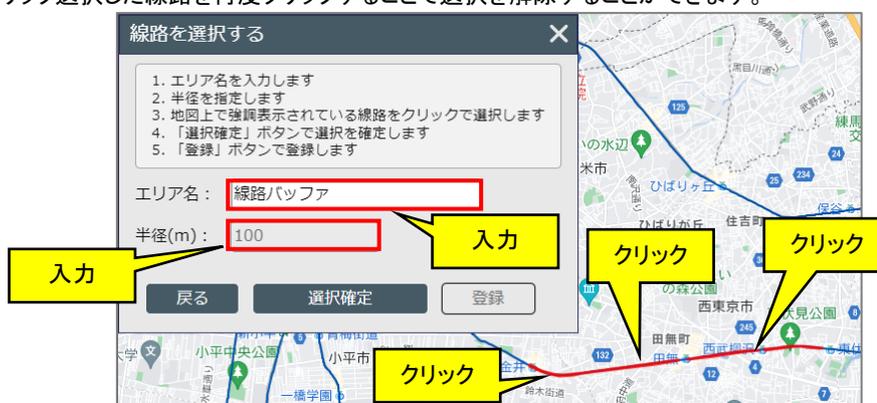
### 4.2.3.3 線路を選択する

- 線路を選択するは、地図上の線路でエリアを作成するときに利用します。
- 「エリア作成」画面で「バッファ」ボタンのプルダウンリストにある「線路を選択する」をクリックします。

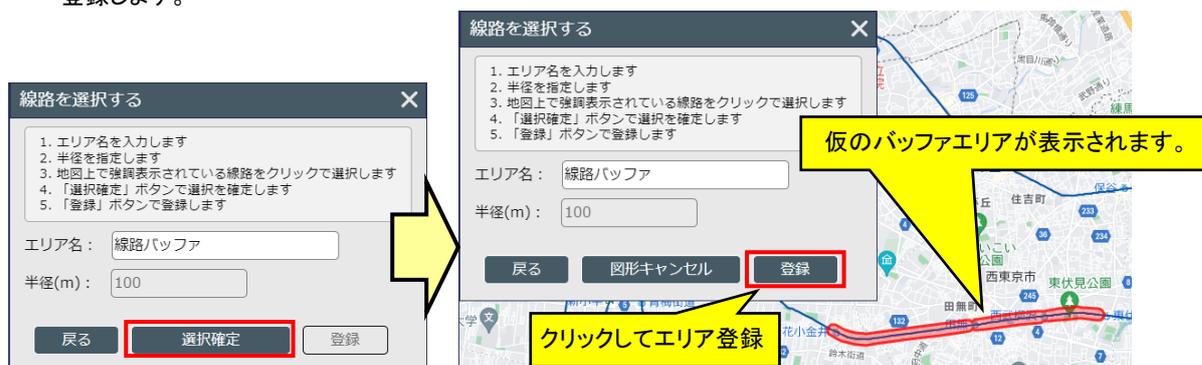
線路を選択するをクリック



- メイン地図画面左上に「線路を選択する」画面が表示されます。エリア名と半径(m)を指定し、地図上に強調表示されている線路をクリックして指定します。
- クリック選択した線路を再度クリックすることで選択を解除することができます。



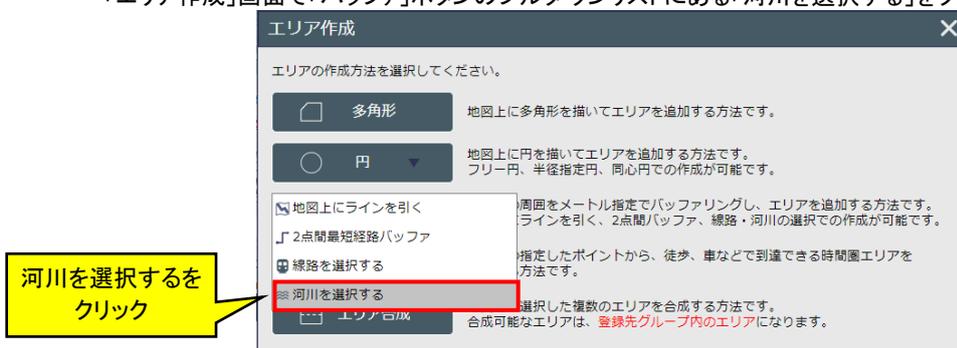
- 「選択確定」ボタンをクリックするとバッファエリアを表示しますので問題がなければ「登録」ボタンをクリックして登録します。



※「登録」ボタンをクリックする前に「図形キャンセル」ボタンをクリックすると仮のバッファリングエリアは破棄されます。

#### 4.2.3.4 河川を選択する

- 河川を選択するは、地図上の河川でエリアを作成するときに利用します。
- 「エリア作成」画面で「バッファ」ボタンのプルダウンリストにある「河川を選択する」をクリックします。



- メイン地図画面左上に以下のような画面が表示されます。エリア名と半径(m)を指定し、地図上に強調表示されている河川をクリックして指定します。
- クリック選択した河川を再度クリックすることで選択を解除することができます。



- 「選択確定」ボタンをクリックするとバッファエリアを表示しますので、問題がなければ「登録」ボタンをクリックして登録します。



- ※「登録」ボタンをクリックする前に「図形キャンセル」ボタンをクリックすると仮のバッファリングエリアは破棄されます。

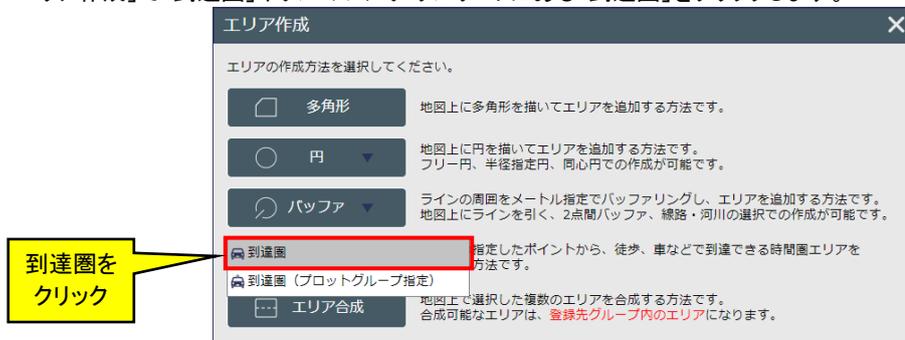
## 4.2.4 到達圏エリア作成

- ・ 到達圏エリアは、徒歩や車ででの到達圏可能な範囲をエリアにします。
- ・ 到達圏を描く方法として「到達圏」「到達圏(プロットグループ指定)」の2種類があります。
- ・ 「エリア作成」画面で「到達圏」ボタンをクリックすることで、プルダウンリストからそれぞれ選択します。

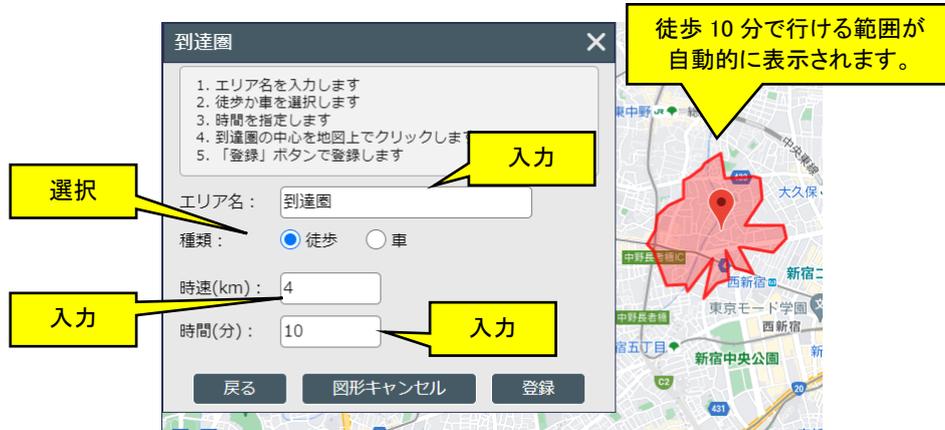


### 4.2.4.1 到達圏

- ・ 「エリア作成」で「到達圏」ボタンのプルダウンリストにある「到達圏」をクリックします。



- ・メイン地図画面左上に「到達圏」画面が表示されます。エリア名、到達圏種類(徒歩か車)、時速、到達時間(分)を入力し、地図上の開始ポイントををクリックします。
- ・自動車での到達圏の場合は、「車」を選択してください。
- ・徒歩・車それぞれ時速を設定することができます。

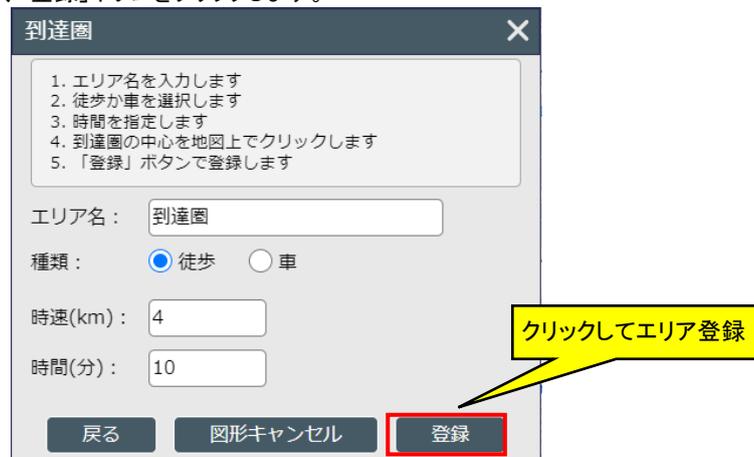


※時速・時間の設定値については上限があります。詳しくは「8.2 各種上限値」をご参照ください。

到達圏エリア: 車/時速 30~80 km/時間(分)5~30 分  
 徒歩/時速 1~20 km/時間(分)1~60 分  
 の範囲で設定できます。

※クリックした地点付近に道路がないと認識された場合は、エリアが表示されません。

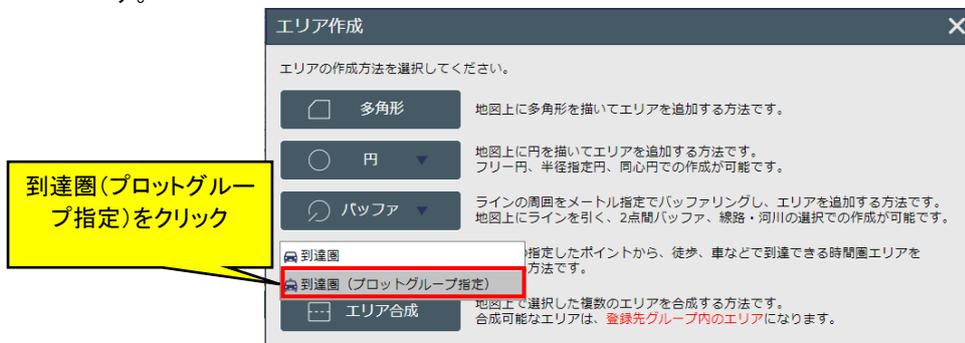
- ・図形を登録する場合は、「登録」ボタンをクリックします。



※「登録」ボタンをクリックする前に描かれた図形を破棄して再作成する場合は、「図形キャンセル」ボタンをクリックしてください。

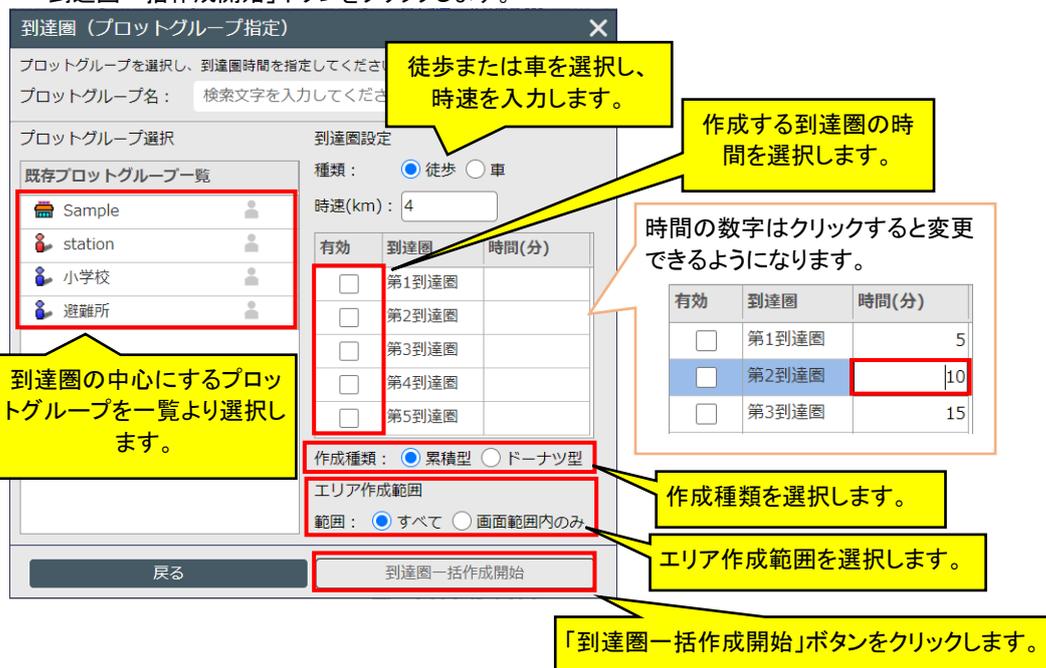
#### 4.2.4.2 到達圏(プロットグループ指定)

- ・ 到達圏(プロットグループ指定)は、複数の施設などに対して1回の操作で、徒歩/車により到達可能な範囲をエリアとして一括作成するときに利用します。
- ・ 「エリア作成」画面で「到達圏」ボタンのプルダウンにある「到達圏(プロットグループ指定)」ボタンをクリックします。

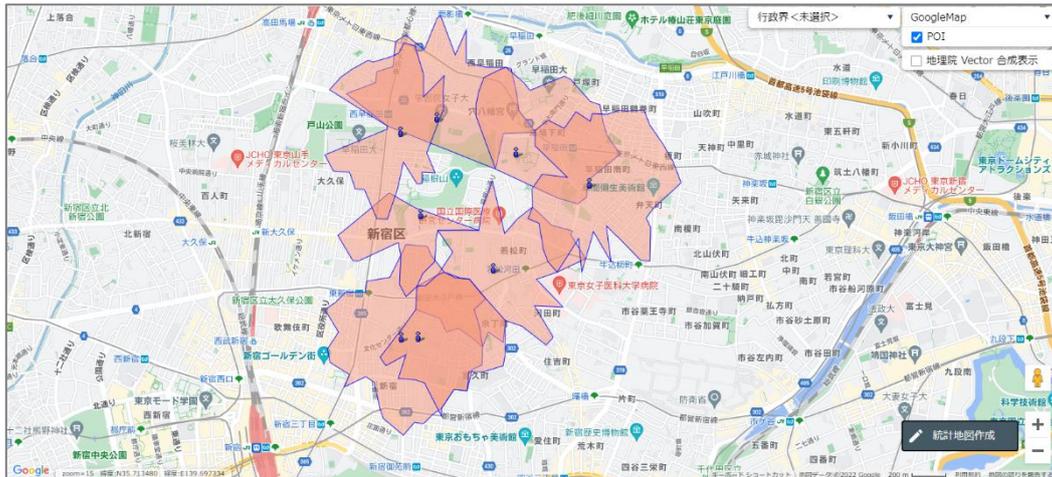


- ・ メイン地図画面左上に「到達圏(プロットグループ指定)」画面が表示されます。
  - ・ 到達圏の中心となるプロットグループを「既存プロットグループ一覧」から選択します。
  - ・ 画面右の「到達圏設定」で作成したい種類・時速・時間を選択します。
- ※時速・時間の設定値については上限があります。詳しくは「8.2 各種上限値」をご参照ください。
- 到達圏エリア: 車/時速 30~80 km/時間(分)5~30 分  
 徒歩/時速 1~20 km/時間(分)1~60 分

- ・ の範囲で設定できます。
- ・ 作成種類で「累積型」または「ドーナツ型」を選択します。両者の違いについては「4.2.2.3 同心円」を参照ください。
- ・ エリア作成範囲で「すべて」又は「画面範囲内のみ」どちらかを選択します。
- ・ 「到達圏一括作成開始」ボタンをクリックします。

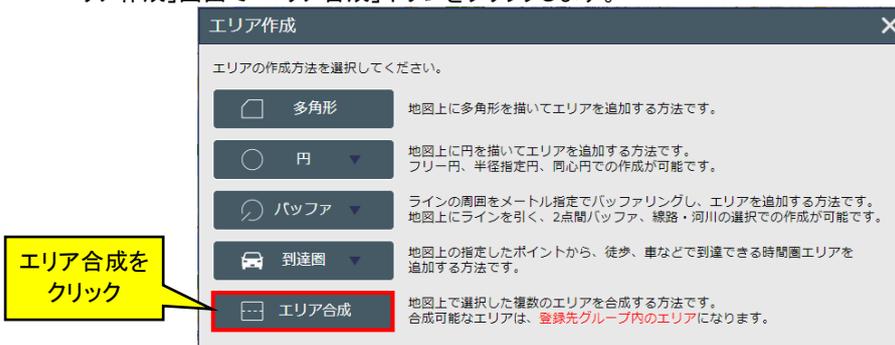


※到達圏一括作成では、1回の操作で作成できるエリアの上限を 100 件に設定しています。

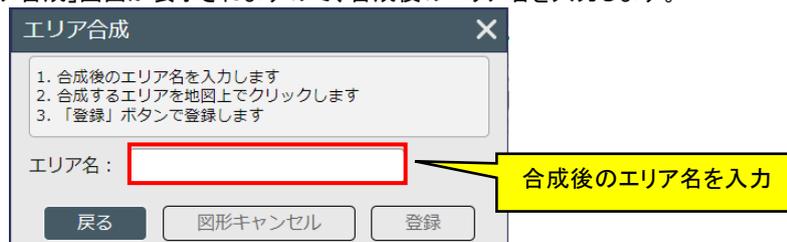


#### 4.2.5 エリア合成

- ・ 複数のエリアを地図上で選択して合成して、ひとつのエリアとして登録ができます。
- ・ 合成可能なエリアは、登録先グループ内のエリアのみです。
- ・ 「エリア作成」画面で「エリア合成」ボタンをクリックします。



- ・ メイン地図画面左上に「エリア合成」画面が表示されますので、合成後のエリア名を入力します。



- 合成したいエリアを地図上でクリックすると、下図の例のように赤く反転されます。再度クリックすると、選択が解除されます。



- 合成したいエリアの選択の終了後、「登録」ボタンをクリックするとエリアが合成され、「エリア作成」画面で選択したグループにデータが登録されます。合成元のエリアは削除されません(残ります)。

### エリア合成

1. 合成後のエリア名を入力します
2. 合成するエリアを地図上でクリックします
3. 「登録」ボタンで登録します

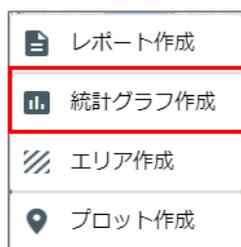
エリア名:

クリックするとエリアが合成されます

※エリアの選択を解除したい場合は、「図形キャンセル」ボタンをクリックします。

### 4.3 統計グラフ作成

- ・ グラフ操作は、国勢調査データ、事業所・企業統計調査データ、経済センサスなどの統計データを界面塗り、棒グラフなどに色分け表示する機能となります。
- ・ 統計データ以外でも登録したプロットの数や属性値を都道府県、市区町村、小地域、メッシュ単位で集計してグラフ表示すること及び、作成したエリア内で集計することもできます。
- ・ 集計結果をエクスポートし、外部ツールで編集した後に、ユーザデータとして取り込むこともできます。
- ・ グラフの操作は左パネルで行い、データ表示などはデータパネルで行います。
- ・ 統計データの選択をお気に入りに追加することもできます。
- ・ 「統計地図作成」メニューから「統計グラフ作成」を選択すると、「統計グラフ作成」画面が表示されます。(メニューバーの「統計地図作成」-「統計グラフ作成」からも起動できます。)



統計グラフ作成 作成するグラフの指標を選択してください。 [X]

統計データ ユーザデータ お気に入り

指標/データ 名称で検索 [Q]

集計地域  
[選択してください] ▼

統計名  
[ ] ▼

年または年月  
[ ] ▼

統計表 (表題)  
[ ] ▼

データはありません

▼ 指標選択 選択解除

選択指標/データ 統計データ/グループ

データはありません

お気に入りに追加 [ ] 次へ [ ]

- ・ 表示される「統計グラフ作成」画面は、「集計指標の選択」→「集計地域の選択」という2画面で構成されています。
- ・ ※集計指標の名称が重複する場合は、選択した順番に集計指標1、集計指標2と補足されます。

統計グラフ作成 作成するグラフの指標を選択してください。

1 画面目: 集計指標の選択

統計データ ユーザーデータ お気に入り

指標/データ 名称で検索

集計地域  
小地域 (町丁・字等)

統計名  
国勢調査

年または年月  
2020年

統計表 (表題)  
男女別人口総数及び世帯総数

データはありません

指標選択 選択解除

選択指標/データ 統計データ/グループ

人口総数	/統計データ/国勢調査/2020年/小地域 (町丁・字等) /男女別人口総数
男	/統計データ/国勢調査/2020年/小地域 (町丁・字等) /男女別人口総数
女	/統計データ/国勢調査/2020年/小地域 (町丁・字等) /男女別人口総数
世帯総数	/統計データ/国勢調査/2020年/小地域 (町丁・字等) /男女別人口総数

お気に入りに追加 次へ

統計グラフ作成 集計地域を選択してください。

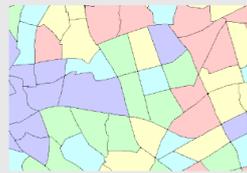
2 画面目: 集計地域の選択

集計地域  
 小地域  エリア

集計範囲  
 画面表示範囲  行政区指定  全国

さらに集計範囲をエリアで絞り込む  
選択してください

集計イメージ



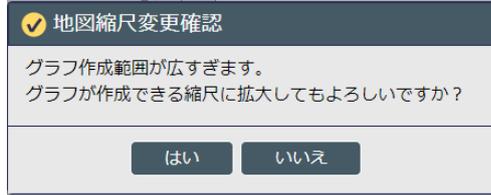
画面表示範囲内で  
小地域ごとに集計を行います。

グラフ名 2020年 国勢調査 小地域 (町丁・字等) 男女別人口総数及び世帯総数

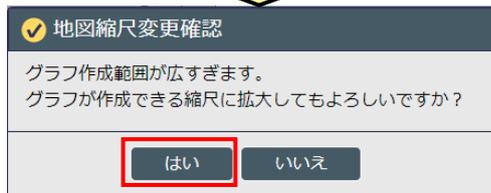
戻る 集計開始

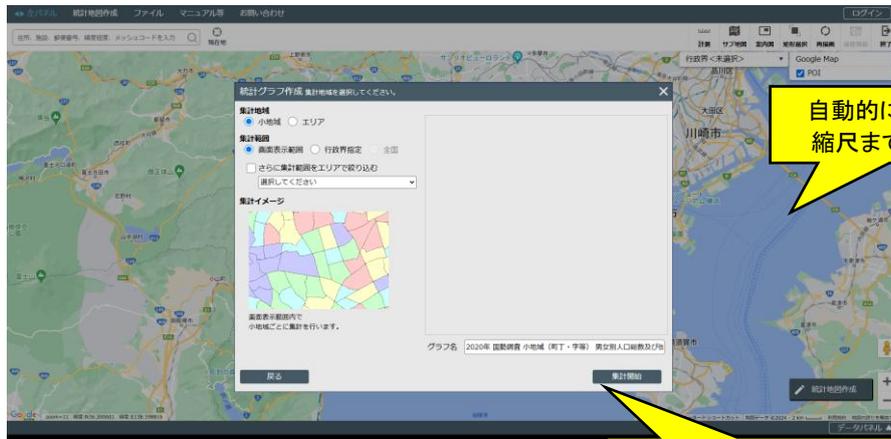
### 4.3.1 広域での集計

- ・「統計グラフ作成」では、小地域、メッシュの指標を指定した場合は基本的に「画面表示範囲のみ」の集計となります。これはシステムの負荷を抑えるための制限となります。したがって、広域表示した状態で「グラフ作成」の「集計指標選択」画面で「次へ」をクリックすると、以下のような表示がされる場合があります。



- ・「はい」をクリックすると地図画面の中央を中心として集計可能な縮尺まで自動的に変更された上で、「集計地域選択」画面が起動されます。





自動的に集計可能な縮尺まで拡大されて

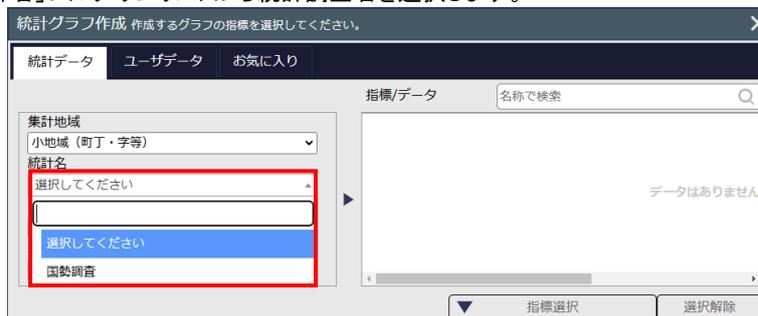
次の画面に遷移します。

### 4.3.2 統計データのグラフ化

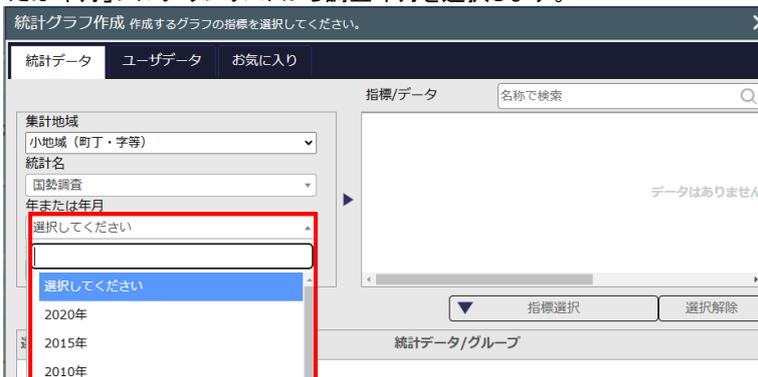
- ・「グラフ作成」の「集計指標選択」画面で「統計データ」タブの「集計地域」プルダウンリストから集計地域を選択します。



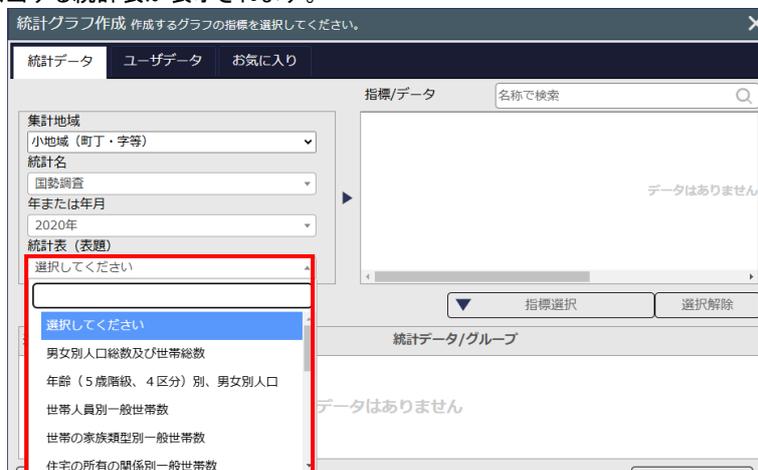
- ・ 続いて「統計名」プルダウンリストから統計調査名を選択します。



- ・ 続いて「年または年月」プルダウンリストから調査年月を選択します。



- ・ 「集計地域」、「統計名」、「年または年月」をそれぞれプルダウンリストから選択すると「統計表 (表題)」プルダウンリストに該当する統計表が表示されます。



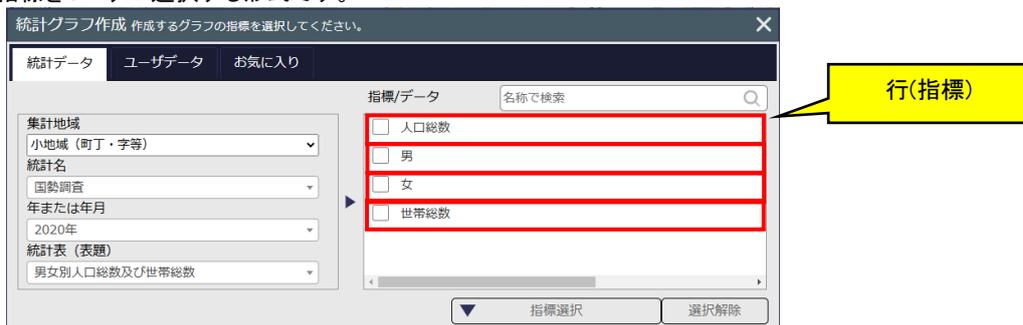
- ・「統計表」プルダウンリストからどれか一つを選択すると、選択した「統計表」に含まれる内容が「指標/データ」欄に列挙されます。



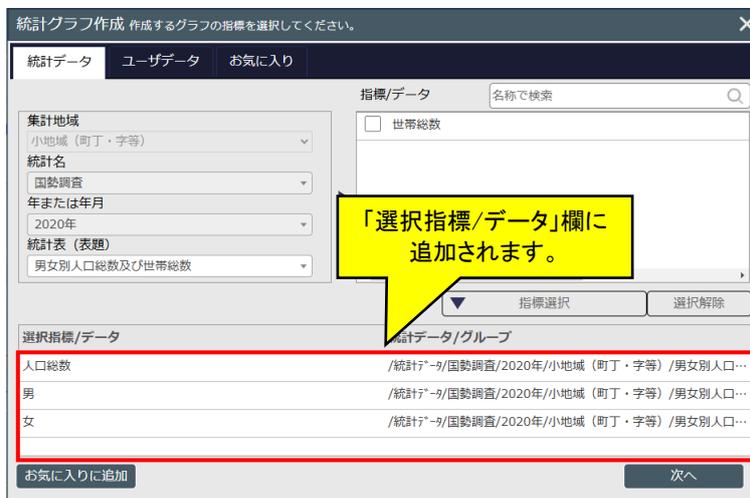
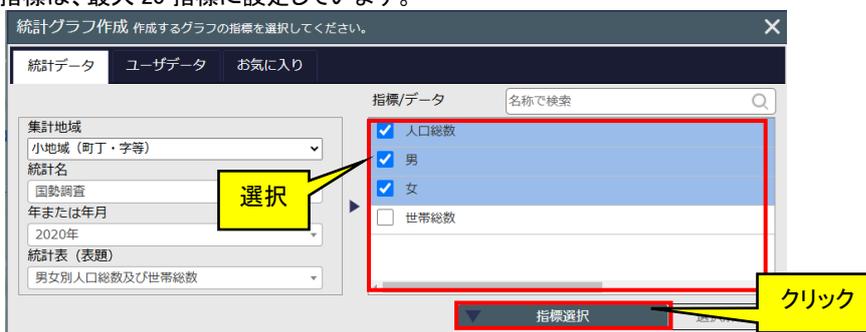
※ 「選択指標/データ」欄の選択方法については、統計表のデータ形式に応じて2種類の方法が存在します。

【指標選択形式】

- ・ 集計したい指標を1つずつ選択する形式です。



- ・ 「指標/データ」欄から集計したい項目をチェック選択します。選択後、「指標選択」ボタンをクリックします。選択できる指標は、最大 20 指標に設定しています。



- ※ 「選択指標/データ」欄から削除する場合は、「選択指標/データ」欄で選択し、「選択解除」ボタンをクリックします。

- ・ 統計表を変更して、別の指標を選択することもできます。

統計グラフ作成 作成するグラフの指標を選択してください。

統計データ ユーザーデータ お気に入り

集計地域  
小地域 (町丁・字等)

統計名  
国勢調査

年または年月  
2020年

統計表 (表題)  
世帯人員別一般世帯数

指標/データ 名称で検索

一般世帯数 (世帯人員 6人以上含む)

世帯人員 1人

世帯人員 2人

世帯人員 3人

世帯人員 4人

世帯人員 5人

指標選択 選択解除

選択指標/データ

人口総数 /統計データ/国勢調査/2020年/小地域 (町丁・字等)

「男女別人口総数及び世帯総数」の指標が選択されている状態で…

追加されます

次へ

- ※ 統計指標は異なる集計地域、統計名、年または年月のものを混在して選択することはできません。
- ・ 指標選択が完了したら「次へ」をクリックします。「集計地域選択」画面へ移ります。

選択指標/データ 統計データ/グループ

人口総数 /統計データ/国勢調査/2020年/小地域 (町丁・字等) /男女別人口...

一般世帯数 (世帯人員 6人以上含む) /統計データ/国勢調査/2020年/小地域 (町丁・字等) /世帯人員別...

お気に入りに追加

次へ

クリック

【事項項目選択形式】

- ・ 集計したい指標を選択するために、事項項目の選択が必要となる形式です。

統計グラフ作成 作成するグラフの指標を選択してください。

統計データ ユーザデータ お気に入り

集計地域  
都道府県

統計名  
国勢調査

年または年月  
2020年

統計表 (表題)  
男女, 就業・通学, 従業地・通学地 (全国 [...])

指標/データ 名称で検索

全国【総数】、都道府県...	総数	選択
男女	総数	選択
従業地・通学地	総数 (常住地による人口)	選択
就業・通学	総数	選択
表章項目	就業者・通学者数	

(行)事項

(列)事項名

(列)選択中の事項項目名

選択指標/データ

統計データ/グループ

データはありません

お気に入りに追加 次へ

- ・ 「指標/データ」欄の事項項目を選択したい行の「選択」ボタンをクリックします。

統計グラフ作成 作成するグラフの指標を選択してください。

統計データ ユーザデータ お気に入り

集計地域  
都道府県

統計名  
国勢調査

年または年月  
2020年

統計表 (表題)  
男女, 就業・通学, 従業地・通学地 (全国 [...])

指標/データ 名称で検索

全国【総数】、都道府県...	総数	選択
男女	総数	選択
従業地・通学地	総数 (常住地による人口)	選択
就業・通学	総数	選択
表章項目	就業者・通学者数	

クリック

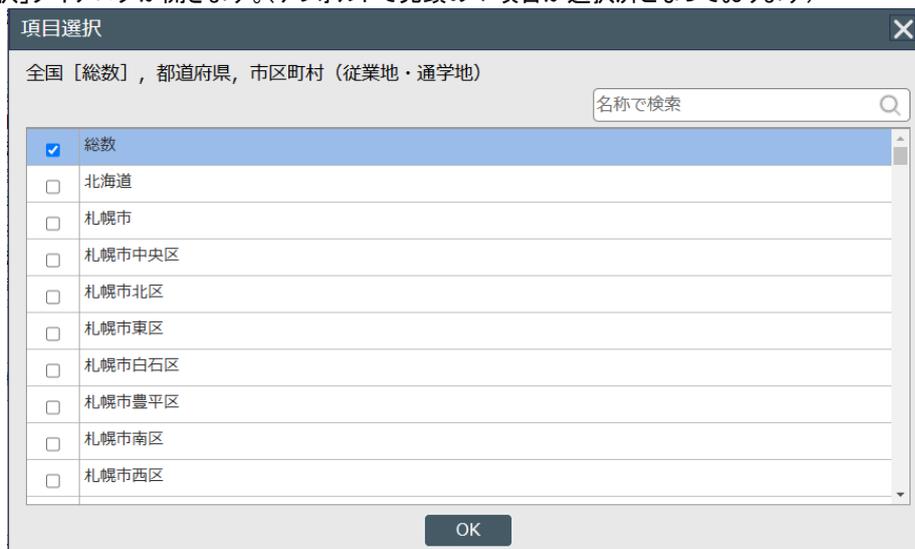
指標選択 選択解除

統計データ/グループ

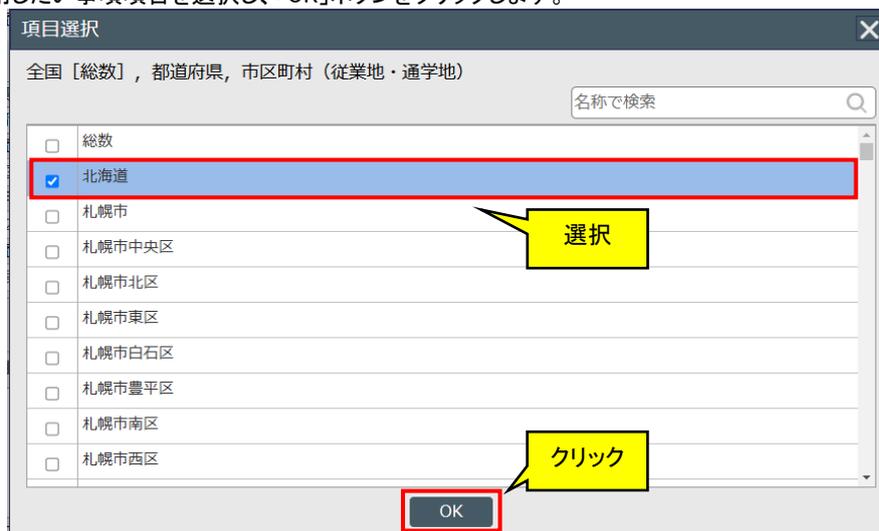
データはありません

お気に入りに追加 次へ

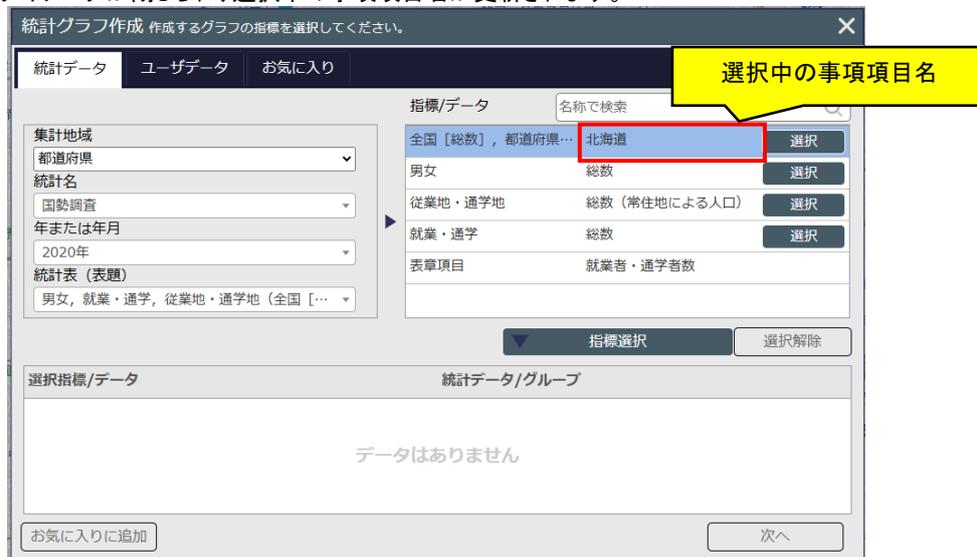
- ・「項目選択」ダイアログが開きます。(デフォルトで先頭の1項目が選択済みとなっております)



- ・ 集計に利用したい事項項目を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



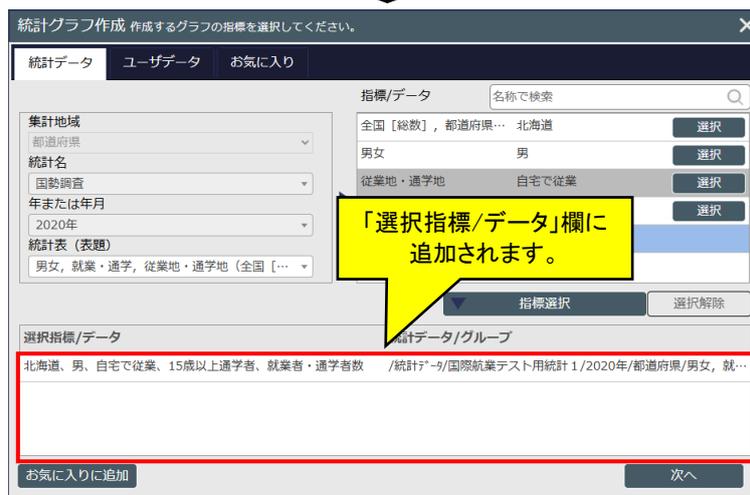
- ・「項目選択」ダイアログが閉じられ、選択中の事項項目名が更新されます。



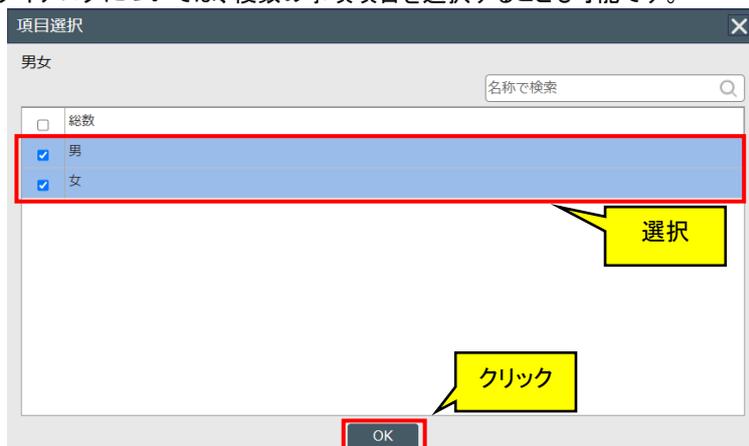
※上記の操作をすべての行で実施します。また、選択可能な事項項目が1つしかない事項は「選択」ボタンは表示されません。



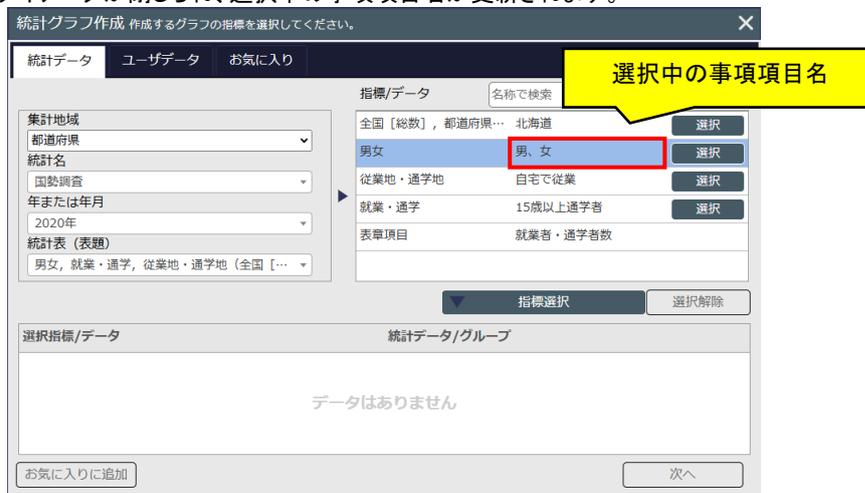
- すべての事項項目の選択後、「指標選択」ボタンをクリックします。選択できる指標は、最大 20 指標に設定しています。



※「項目選択」ダイアログについては、複数の事項項目を選択することも可能です。



・「項目選択」ダイアログが閉じられ、選択中の事項項目名が更新されます。



- ・「指標選択」ボタンをクリックします。(画像の例では、事項「男女」が複数選択されたため、全ての事項との組み合わせにより2指標が追加されます)

統計グラフ作成 作成するグラフの指標を選択してください。

統計データ ユーザデータ お気に入り

集計地域: 都道府県  
統計名: 国勢調査  
年または年月: 2020年  
統計表(表題): 男女, 就業・通学, 従業地・通学地 (全国 […])

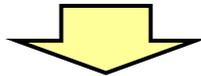
指標/データ	名称で検索	操作
全国 [総数], 都道府県… 北海道		選択
男女	男、女	選択
従業地・通学地	自宅で従業	選択
就業・通学	15歳以上通学者	選択
表章項目	就業者・通学者数	

指標選択 選択解除

選択指標/データ 統計データ/グループ

データはありません

お気に入りに追加 次へ



統計グラフ作成 作成するグラフの指標を選択してください。

統計データ ユーザデータ お気に入り

集計地域: 都道府県  
統計名: 国勢調査  
年または年月: 2020年  
統計表(表題): 男女, 就業・通学, 従業地・通学地 (全国 […])

指標/データ	名称で検索	操作
全国 [総数], 都道府県… 北海道		選択
男女	男、女	選択
従業地・通学地	自宅で従業	選択
就業・通学	15歳以上通学者	選択
表章項目	就業者・通学者数	

指標選択 選択解除

選択指標/データ 統計データ/グループ

北海道、男、自宅で従業、15歳以上通学者、就業者・通学者数	/統計データ/国際航空業テスト用統計 1/2020年/都道府県/男女、就...
北海道、女、自宅で従業、15歳以上通学者、就業者・通学者数	/統計データ/国際航空業テスト用統計 1/2020年/都道府県/男女、就...

お気に入りに追加 次へ

- ・指標選択が完了したら「次へ」をクリックします。「集計地域選択」画面へ移ります。

選択指標/データ 統計データ/グループ

北海道、男、自宅で従業、15歳以上通学者、就業者・通学者数	/統計データ/国際航空業テスト用統計 1/2020年/都道府県/男女、就...
北海道、女、自宅で従業、15歳以上通学者、就業者・通学者数	/統計データ/国際航空業テスト用統計 1/2020年/都道府県/男女、就...

お気に入りに追加 次へ

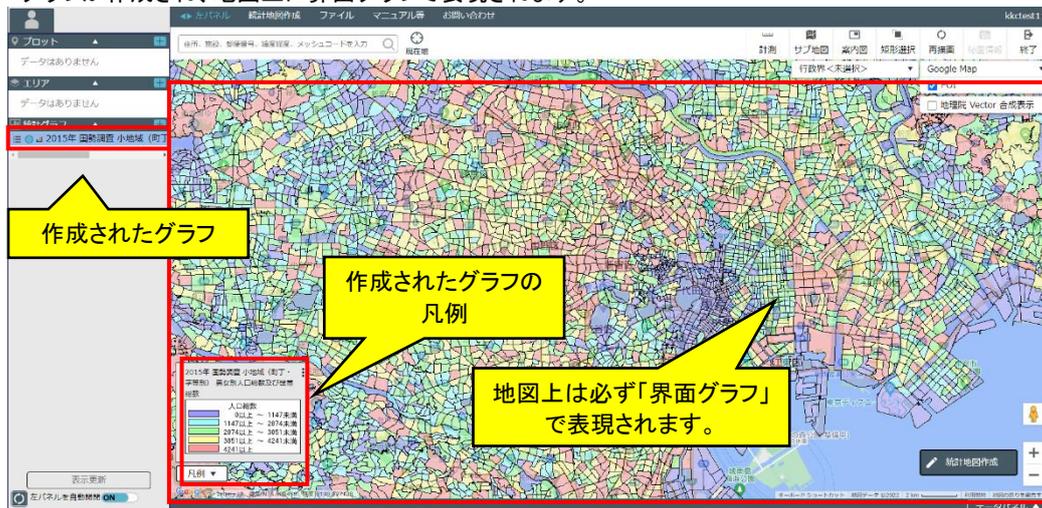
- ・「集計地域選択」画面は、集計地域や集計範囲により画面が異なります。
- ・下図は、「小地域」の指標を選択し、集計地域を「小地域」、集計範囲を「画面表示範囲」を選択した場合の集計選択の画面です。「都道府県」「市区町村」「メッシュ」を指標に選択した場合や集計地域、集計範囲を変更した場合は、集計選択の画面が変わります。
- ・「集計地域選択」画面に移ります。



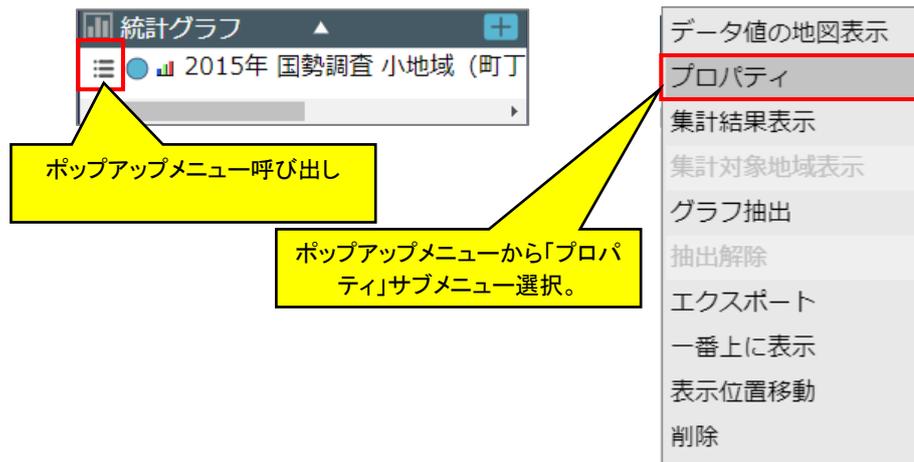
- ・「集計開始」ボタンをクリックするグラフ作成が開始されます。以後は「都道府県」「市区町村」「メッシュ」を選択した場合でも同じです。



- ・グラフが作成され、地図上に界面グラフで表現されます。



- ※ 界面グラフは、複数の指標を選択していた場合は、“最初の指標”が地図上に表現されます。
- ※ 集計直後は界面グラフで表示されます。グラフの表現種類を円、棒、界面クロスに変更する場合は、「7.4 プロパティ」で行います。「グラフ」欄で、ポップアップメニュー呼び出しからポップアップメニューを表示し、「プロパティ」サブメニューをクリックします。



以下のように、グラフプロパティ画面が表示されます。

- ※「グラフプロパティ」画面の操作の詳細は、「7.44 プロパティ」をご参照ください。
- ※集計結果の一覧表示は、「7.5 グラフ集計結果表示」を参照ください。

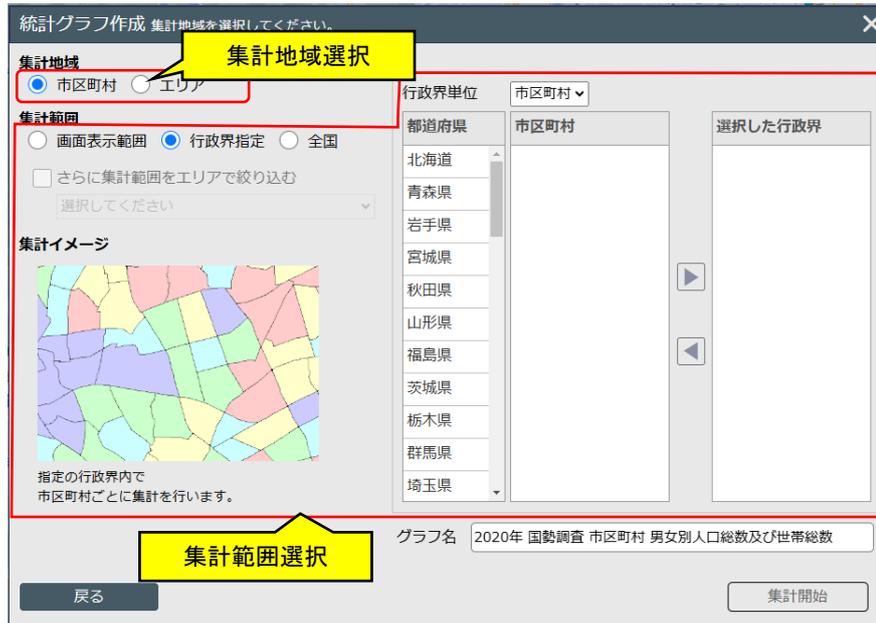
- ・「集計指標選択」画面で選択した場合の、「集計地域選択」画面の集計地域と、集計範囲は以下の通りです。

集計地域	集計地域	集計範囲
都道府県	都道府県(デフォルト)エリア	全国
市区町村	市区町村(デフォルト)エリア	画面表示範囲 行政界指定 全国(デフォルト)
小地域	小地域(デフォルト)エリア	画面表示範囲(デフォルト) 行政界指定
メッシュ	メッシュ(デフォルト)エリア	画面表示範囲

- ・「集計地域選択」画面での「集計地域」と「集計範囲」の指定による、その他の指定は以下の通りです。

集計地域	集計範囲	その他指定
都道府県	全国のみ	(都道府県)エリア範囲での集計
市区町村	画面表示範囲	(市区町村)エリア範囲での集計
	行政界指定	行政界
	全国	(市区町村)エリア範囲での集計
小地域	画面表示範囲	(小地域)エリア範囲での集計
	行政界指定	行政界
メッシュ	—	(メッシュ)エリア範囲での集計
エリア	—	既存エリアグループ 按分する/しない

※ 下図は集計地域に「市区町村」、集計範囲に「行政界選択」を選択した場合の参考例です。



※ 下図は「集計指標選択」画面で「メッシュ」を選択し、集計地域に「エリア」を選択した場合の例です。



・ 「集計地域」を「都道府県」「市区町村」「小地域」「メッシュ」または「エリア」のいずれか選択します。



※ 上図は、「集計指標選択」画面で「集計地域」を「都道府県」に指定した場合の例です。

・ 集計範囲は、「画面表示範囲」か「行政界指定」か「全国」を選択します。

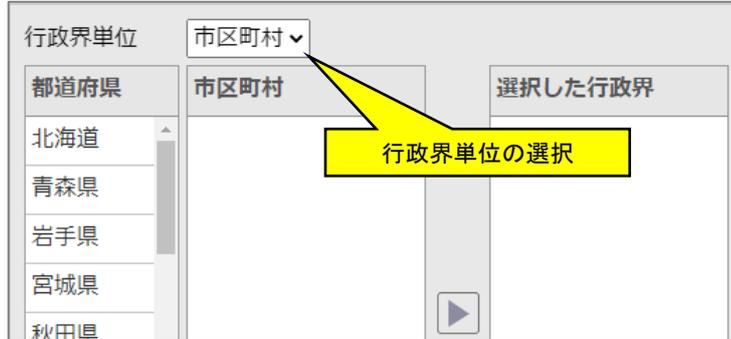


※ 「集計指標選択」画面で、「集計地域」に「小地域」を指定した場合は、全国は選択できません。

※ 「集計指標選択」画面で、「集計地域」に「都道府県」を指定した場合は、全国のみとなります。

※ 「集計指標選択」画面で、「集計地域」に「メッシュ」を指定した場合や、「集計地域選択」画面で、「集計地域」に「エリア」を指定した場合は、「画面表示範囲」以外を選択できません。

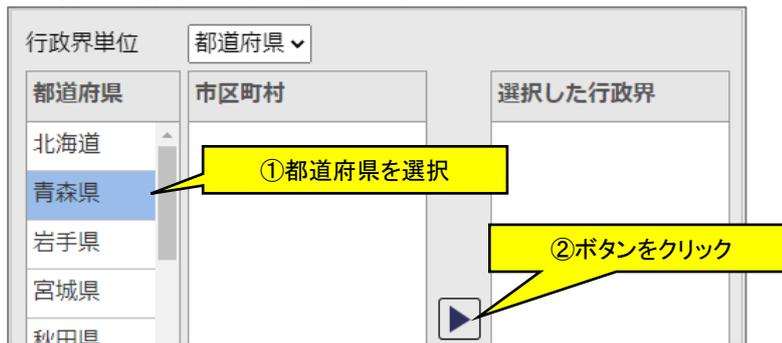
- ・ 「集計範囲」で「行政界指定」を選択した場合は、行政界単位の選択を行います。



- ・ 「行政界単位」は、「集計指標選択」画面で選択した統計の集計地域が「市区町村」の場合は、「都道府県」「市区町村」(デフォルトは「市区町村」)「小地域」の場合は、「都道府県」「市区町村」「小地域」(デフォルトは「小地域」)から選択することができます

【都道府県】を選択した場合

- ・ 都道府県一覧から選択し、▶ボタンをクリックします。



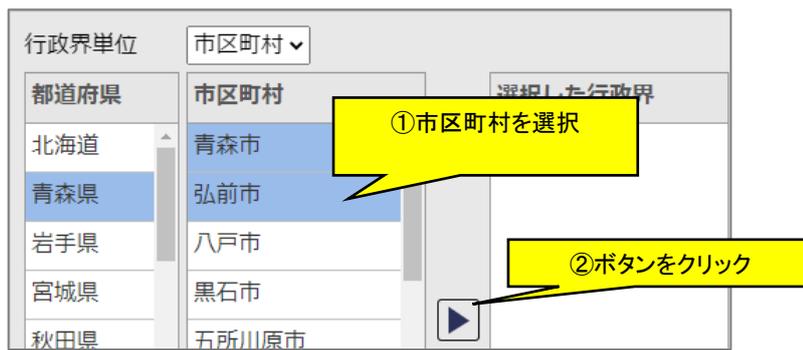
- ・ 選択した都道府県が「選択した行政界」に入り、都道府県一覧からは消えます。下図は青森県を選択したところです。



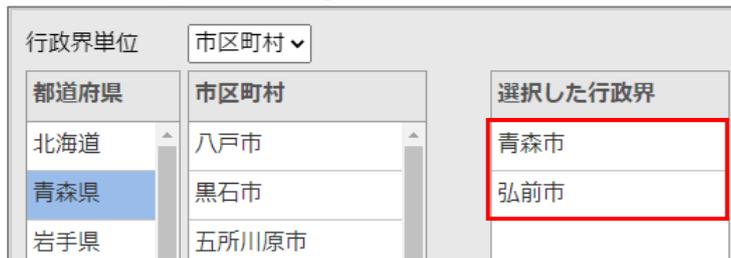
- ・ 選択した行政界から解除するには、解除したい行政界を選択して左矢印ボタン◀をクリックします。「選択した行政界」から外れ、都道府県に反映されます。
- ・ 「集計開始」をクリックすると、選択した行政界の統計データのみが集計されます。(上図では「青森県」のデータが集計されます。)

【市区町村】を選択した場合

- ・ 「市区町村」を選択した状態で都道府県一覧から選択すると、その都道府県配下の市区町村が市区町村一覧に表示されます。この状態で市区町村一覧から選択し、右矢印ボタン▶をクリックします。



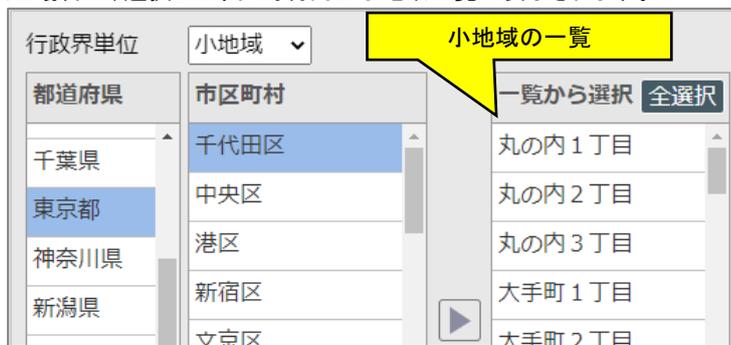
- ・ 選択した市区町村が「選択した行政界」に入り、市区町村一覧からは消えます。



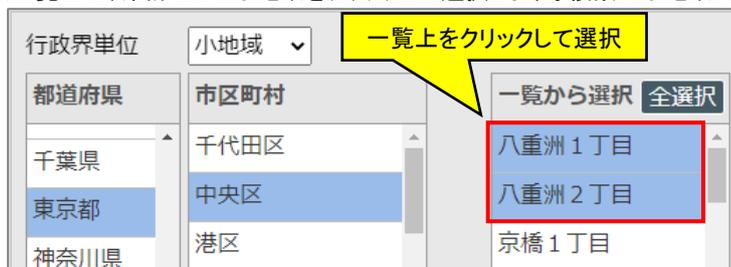
- ・ 選択した行政界から解除するには、解除したい行政界を選択して左矢印ボタン◀をクリックします。「選択した行政界」から外れ、市区町村一覧に反映されます。
- ・ 「集計開始」をクリックすると、選択した行政界の統計データのみが集計されます。(上図では「青森市」と「弘前市」のデータが集計されます。)

【小地域】を選択した場合

- ・ 市区町村の場合と同様に、都道府県、市区町村を一覧から選択します。
- ・ 小地域の場合は、選択した市区町村内の小地域一覧が表示されます。

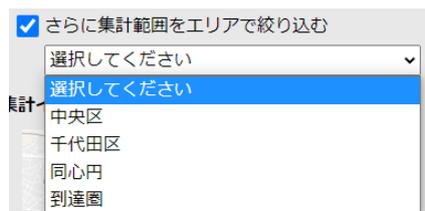


- ・ 小地域一覧上で、集計したい小地域をクリックして選択します。複数の小地域の選択が可能です。



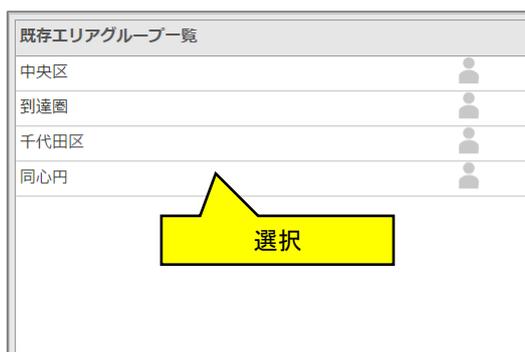
- ・ 再度クリックすると選択が解除されます。また、小地域一覧の右上にある「全選択」をクリックすると、一覧内の小地域がすべて選択されます。全選択を行うと、ボタンは「全解除」に変わり、クリックすることで選択している小地域をすべて解除することができます。

- ・「集計開始」をクリックすると、選択した小地域の統計データのみが集計されます。(上図では「八重洲1丁目」と「八重洲2丁目」のデータが集計されます。)
- ※ 本機能で選択した行政区は、次回「グラフ作成」時に破棄されます。
- ※ 小地域を選択した場合は選択できる行政区数に制限があり、都道府県:最大1、市区町村:最大50までです。最大数を超える選択が行われたときは、「▶」をクリックされた時点で、「○項目以内になるように選択をしてください。」のメッセージ画面を表示します。
- ・「集計範囲」で「画面表示範囲」を選択した場合は、さらに集計範囲をエリアで絞り込むかどうかを指定します。
- ・さらに集計範囲をエリアで絞り込む場合は、チェックボックスをチェックし、エリア選択プルダウンリストからエリアを選択してください。

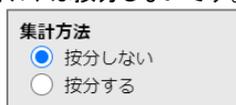


- ※ デフォルトは「さらに集計範囲をエリアで絞り込む」チェックボックスはチェックしていない状態です。

- ・「集計地域」で「エリア」を選択した場合は、既存エリアグループ一覧から、指定したい既存エリアグループをクリックして選択します。



- ・按分する/しないを指定します。デフォルトは按分しないです。



按分についての説明は、「4.3.8 エリア単位の集計」の『「按分しない」「按分する」とは』を参照ください。

- ・「按分しない」で集計した場合、どの行政区(地域)を集計したのかを地図上に表示します。

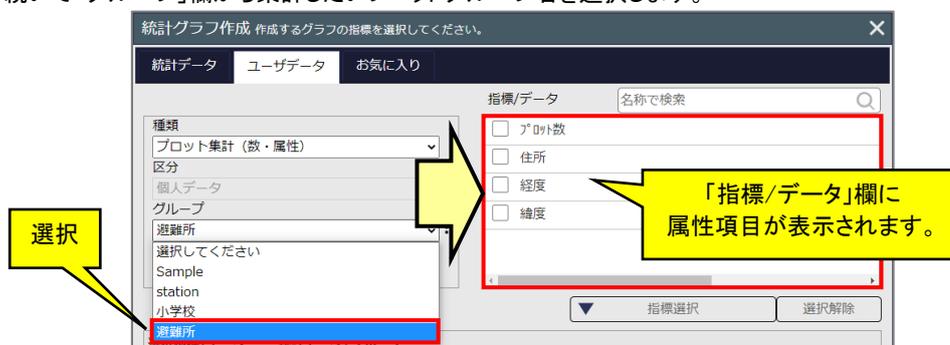


### 4.3.3 プロット集計(数・属性)

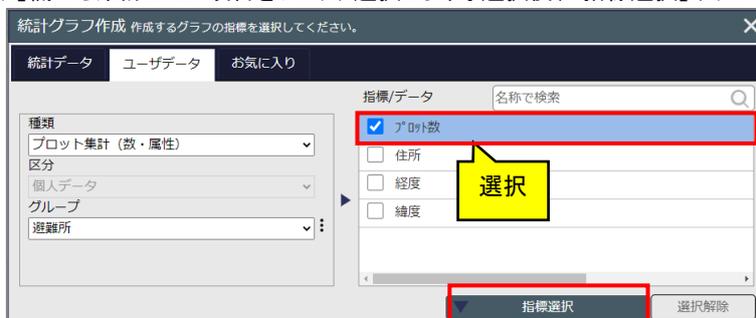
- ・既に地図上に落としているプロットデータを集計します。また、属性データも同時に集計することができます。
- ・「グラフ作成」の「集計指標選択」画面で「ユーザデータ」タブの「種類」プルダウンリストから「プロット集計(数・属性)」を選択します。



- ・続いて「グループ」欄から集計したいプロットグループ名を選択します。

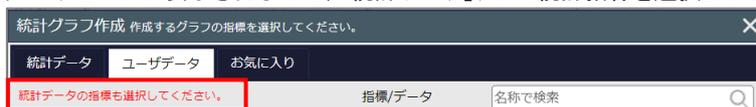


- ・「指標/データ」欄から集計したい項目をチェック選択します。選択後、「指標選択」ボタンをクリックします。

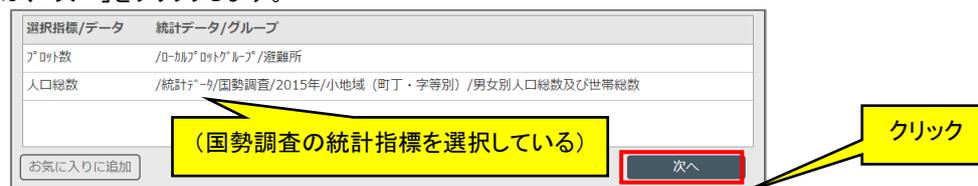


※ 選択した項目を削除する場合は、「選択指標/データ」欄で選択し、「選択解除」ボタンをクリックします。

- ・「プロット集計(数・属性)」は集計地域を特定するため、統計データの選択が必要となります。選択していない場合は、その旨のメッセージが表示されるので、「統計データ」タブで統計指標を選択してください。



- ・指標選択後は、「次へ」をクリックします。



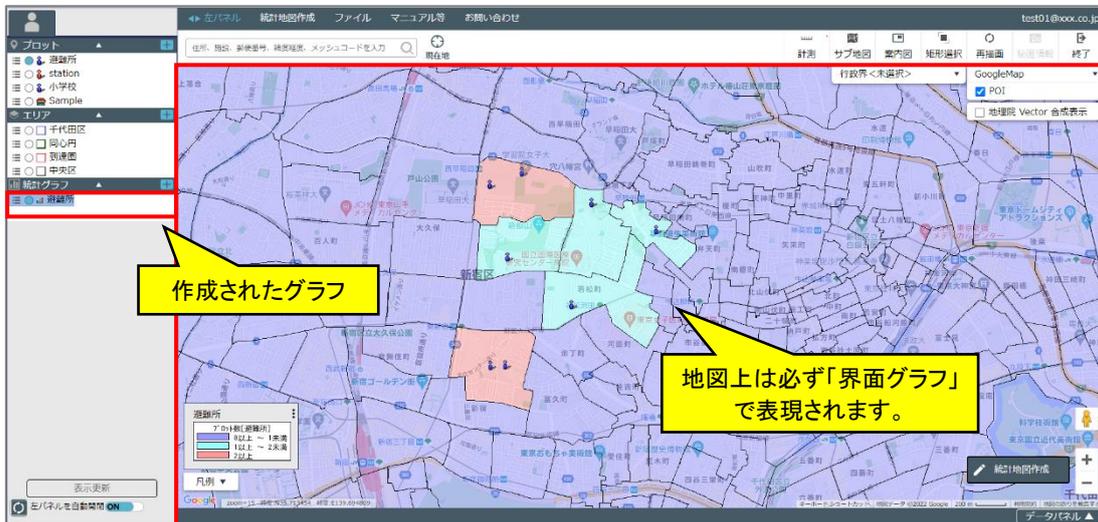
- ・「集計開始」ボタンをクリックすると集計を開始します。



※「集計地域選択」画面については、「4.3.2 統計データのグラフ化」を参照ください。



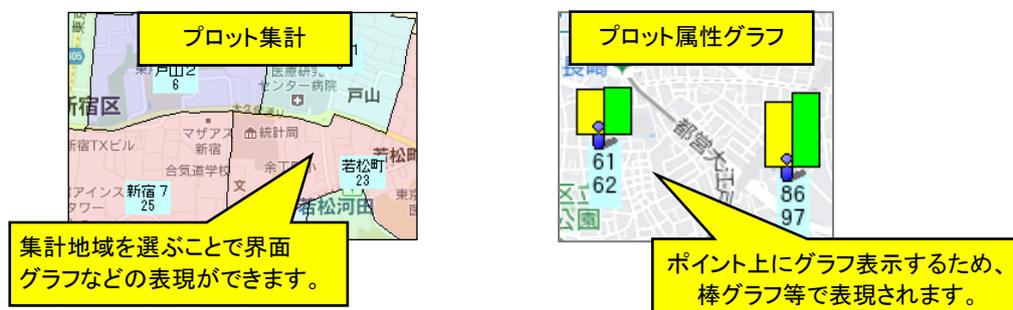
- ・ グラフが作成され、地図上に界面グラフで表示されます。



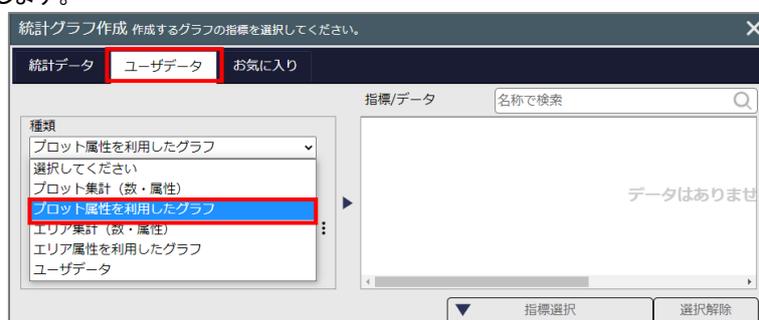
- ※ 界面グラフは、複数の指標を選択していた場合は、“最初の指標”が地図上に表現されます。
- ※ 集計直後は界面グラフで表示されます。グラフの表現種類を円、棒、界面クロスに変更する場合は、「7.4 プロパティ」で行います。「グラフ」欄で、ポップアップメニュー呼び出しからポップアップメニューを表示し、「プロパティ」サブメニューをクリックします。

#### 4.3.4 プロット属性を利用したグラフ

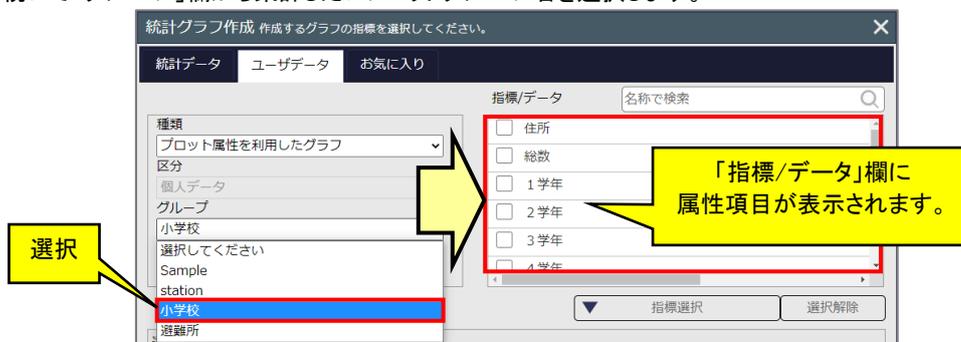
- 本機能はプロットの属性値(会員の購買額や自店舗の売场面積など)を各ポイント上にグラフ表示する機能となります。属性をプロット上にグラフ化するので、界面グラフ表示はできません。棒グラフまたは円グラフで表現されます。



- 「グラフ作成」の「集計指標選択」画面で「ユーザーデータ」タブの「種類」プルダウンから「プロット属性を利用したグラフ」を選択します。



- 続いて「グループ」欄から集計したいプロットグループ名を選択します。



- 「指標/データ」欄から集計したい項目をチェック選択します。選択後、「指標選択」ボタンをクリックします。



- ※選択した項目を削除する場合は、「選択指標/データ」欄で選択し、「選択解除」ボタンをクリックします。
- ※異なるプロットグループの属性を追加選択することはできません。

- ・「次へ」ボタンをクリックして次に進みます。



- ・ 集計範囲は「画面表示範囲」のみです。「集計開始」ボタンをクリックすることでグラフが作成されます。

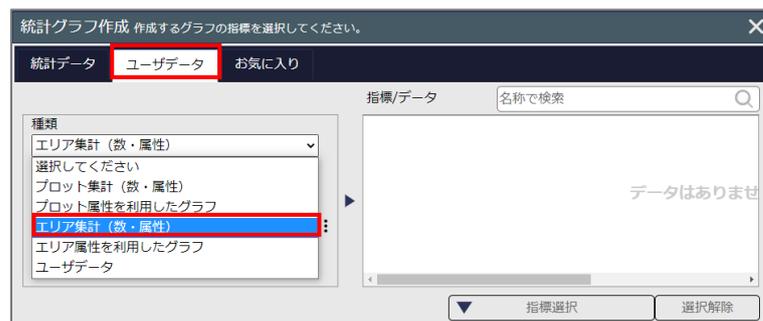


※「プロパティ」画面の操作の詳細は、「7.44 プロパティ」をご参照ください。

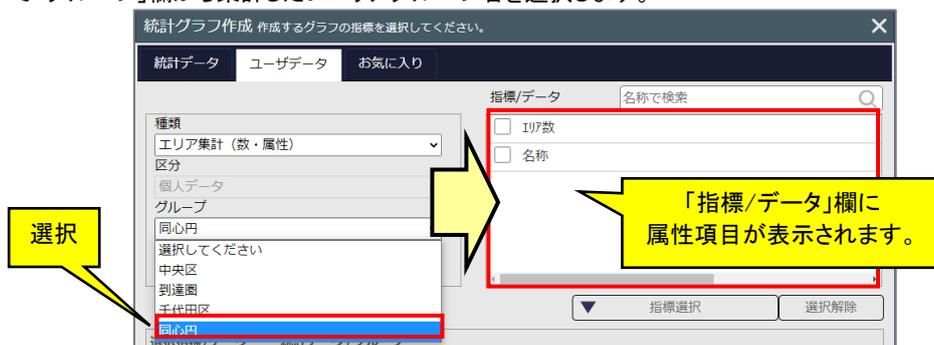
※集計結果の一覧表示は、「7.5 グラフ集計結果表示」を参照ください。

#### 4.3.5 エリア集計(数・属性)

- ・ 既に地図上にあるエリアデータを集計します。また、属性データも同時に集計することができます。
- ・ 例えば、小地域統計データと組み合わせてエリア集計を行った場合は、その小地域にエリアの代表点(重心)が含まれるエリアの件数や属性を集計することになります。
- ・ 「グラフ作成」の「集計指標選択」画面で、「ユーザデータ」タブの「種類」プルダウンから「エリア集計(数・属性)」を選択します。



- ・ 続いて「グループ」欄から集計したいエリアグループ名を選択します。

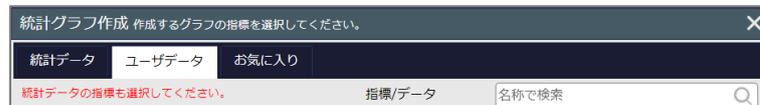


- ・「指標/データ」欄から集計したい項目をチェック選択します。選択後、「指標選択」ボタンをクリックします。



※ 選択した項目を削除する場合は、「選択指標/データ」欄で選択し、「選択解除」ボタンをクリックします。

- ・「エリア集計(数・属性)」は集計地域を特定するため、統計データの選択が必要となります。選択していない場合は、その旨のメッセージが表示されるので、「統計データ」タブで統計指標を選択してください。



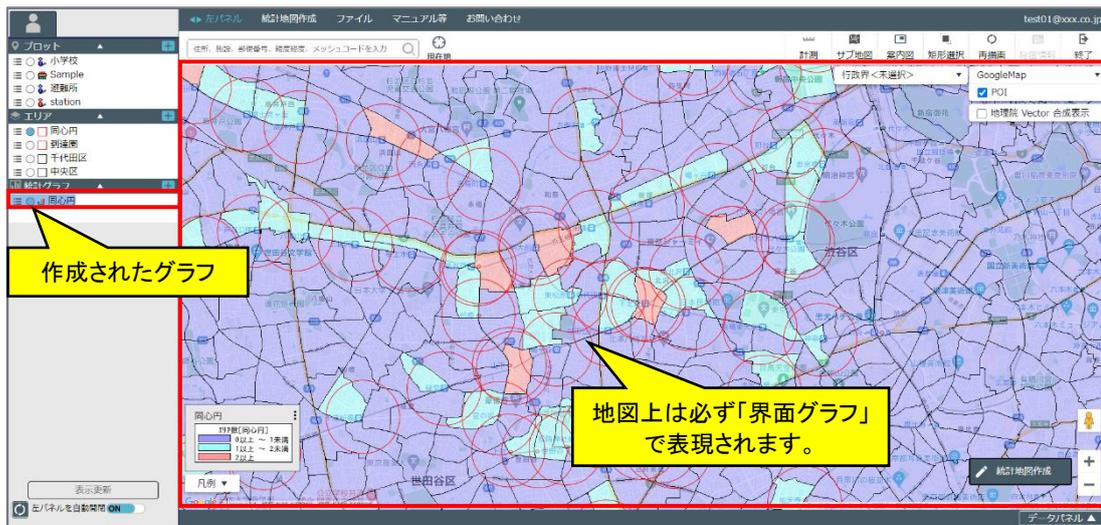
- ・「集計開始」ボタンをクリックするとグラフ作成が開始されます。



※「集計地域選択」画面については、「4.3.2 統計データのグラフ化」を参照ください。



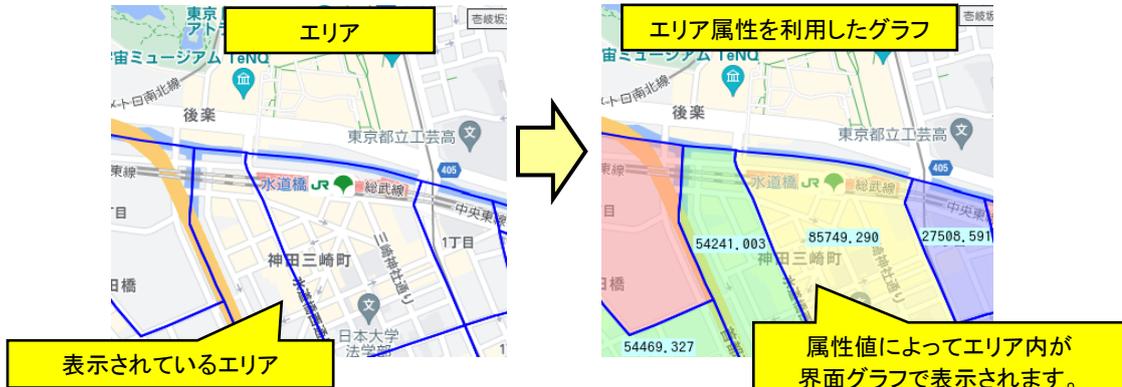
- ・ グラフが作成され、地図上に界面グラフが表示されます。



- ※ 界面グラフは、複数の指標を選択していた場合は、“最初の指標”が地図上に表現されます。
- ※ 集計直後は界面グラフで表示されます。グラフの表現種類を円、棒、界面クロスに変更する場合は、「7.4 プロパティ」で行います。「グラフ」欄で、ポップアップメニュー呼び出しからポップアップメニューを表示し、「プロパティ」サブメニューをクリックします。

### 4.3.6 エリア属性を利用したグラフ

- 本機能はエリアの属性値(販売店の基本部数やそのエリアの世帯数など)を各エリア上にグラフ表示する機能となります。属性をエリア上にグラフ化するので、界面グラフなどで表示されます。



- 「グラフ作成」の「集計指標選択」画面で「ユーザーデータ」タブの「種類」プルダウンから「エリア属性を利用したグラフ」を選択します。



- 続いて「グループ」欄から集計したいエリアグループ名を選択します。



- 「指標/データ」欄から集計したい項目をチェック選択します。選択後、「指標選択」ボタンをクリックします。



- ※ 選択した項目を削除する場合は、「選択指標/データ」欄で選択し、「選択解除」ボタンをクリックします。
- ※ 異なるエリアグループの属性を追加選択することはできません。

- ・「次へ」ボタンをクリックして次に進みます。

- ・ 集計範囲は「画面表示範囲」のみです。「集計開始」ボタンをクリックすることでグラフが作成され、地図上に界面グラフが表示されます。(集計元のエリアが表示 ON の場合は、元のエリア色と界面塗りが混ざり合います)。



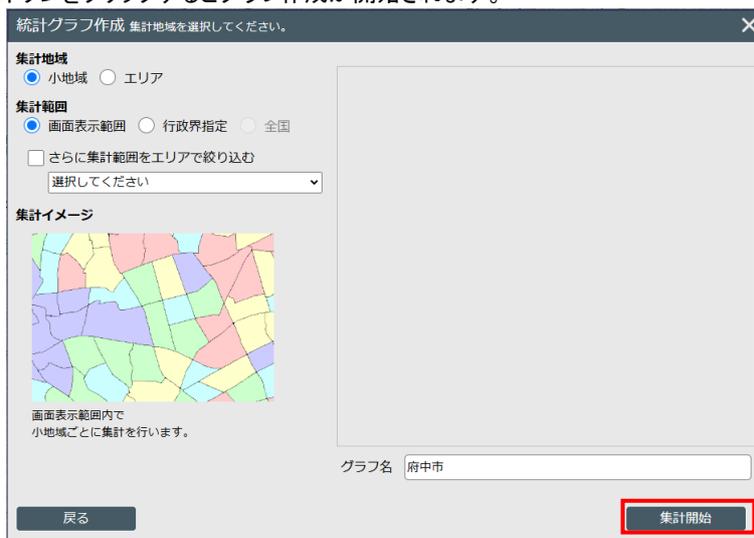
- ※ 界面グラフは、複数の指標を選択していた場合は、“最初の指標”が地図上に表現されます。
- ※ 集計直後は界面グラフで表示されます。グラフの表現種類を円、棒、界面クロスに変更する場合は、「7.4 プロパティ」で行います。「グラフ」欄で、ポップアップメニュー呼び出しからポップアップメニューを表示し、「プロパティ」サブメニューをクリックします。

### 4.3.7 ユーザデータの集計

- ・ 「グラフ作成」の「集計指標選択」画面で、「ユーザデータ」タブの「種類」プルダウンから「ユーザデータ」を選択します。

- ・ 続いて「グループ」欄から集計したいユーザデータを選択します。

- ・「集計開始」ボタンをクリックするとグラフ作成が開始されます。

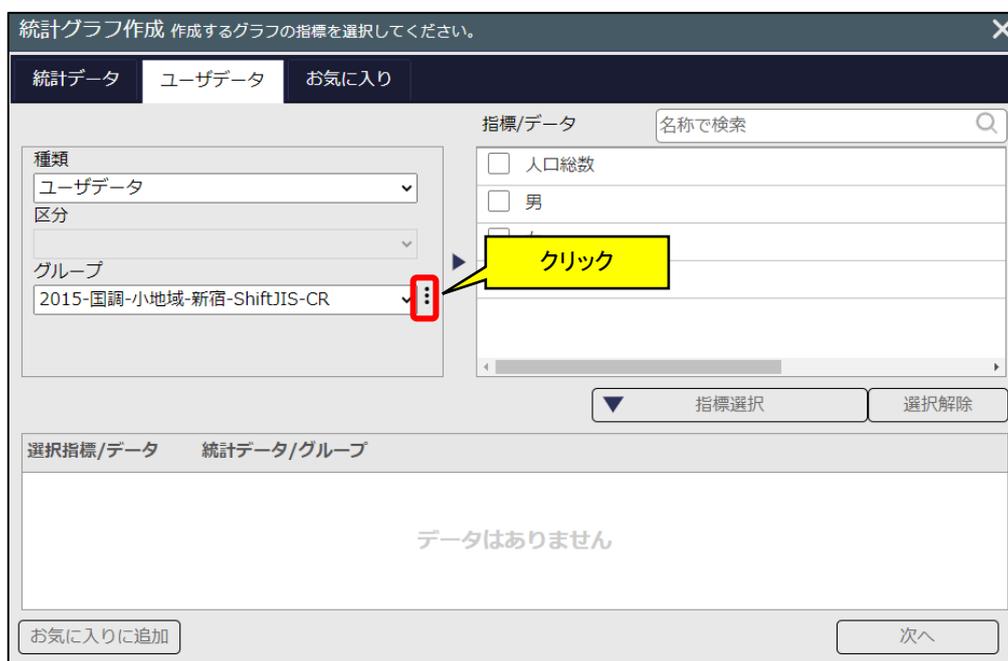


- ・ グラフが作成され、地図上に界面グラフで表示されます。



- ※ 界面グラフは、複数の指標を選択していた場合は、“最初の指標”が地図上に表現されます。
- ※ 集計直後は界面グラフで表示されます。グラフの表現種類を円、棒、界面クロスに変更する場合は、「7.4 プロパティ」で行います。「グラフ」欄で、ポップアップメニュー呼び出しからポップアップメニューを表示し、「プロパティ」サブメニューをクリックします。

※登録したユーザーデータを削除するには：  
 ユーザーデータ一覧のサブメニューアイコン「⋮」をクリックすると、「削除」のサブメニューが表示され、これを選択することで削除できます。



### 4.3.8 エリア単位の集計

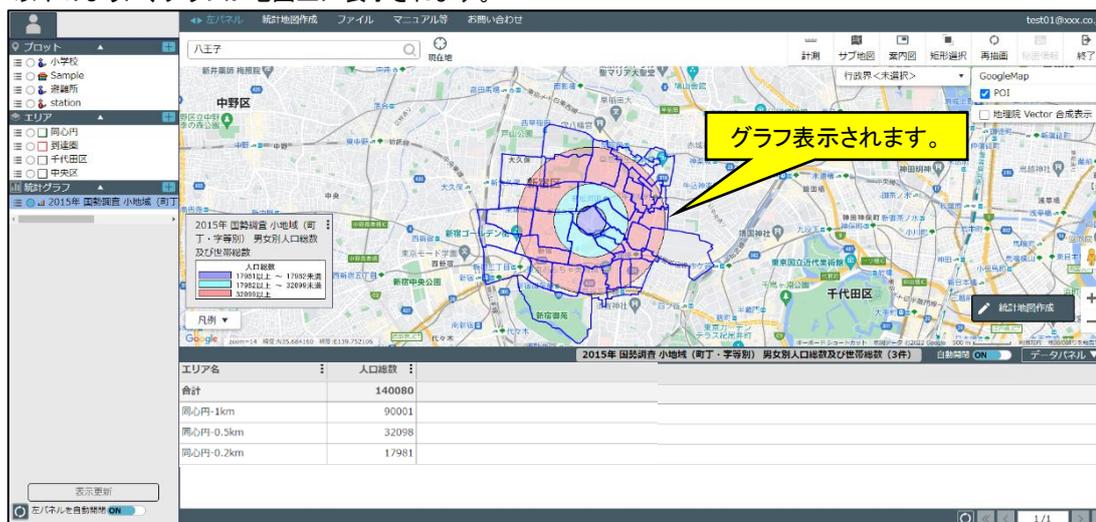
- 作成済みのエリアを利用して、“エリア内にどれだけの世帯があるのか”といったような集計を行うことができます。



- エリア単位で集計する場合は、「グラフ作成」の「集計地域選択」画面で、「エリア」にチェックを入れて、集計したいエリアグループを反転選択した上で、「集計開始」ボタンをクリックします。



- 以下のように、グラフが地図上に表示されます。



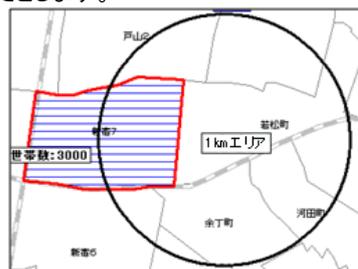
※エリアが全国に散らばっていても集計されるのは地図表示範囲周辺のみとなります。

集計地域となるエリアが地図表示範囲内にはない場合は、「画面の上に集計可能なデータがありません。」と表示されます。

- ※エリア属性集計で集計地域をエリアとした場合は、集計地域としたエリア内にエリアの代表点(重心)が含まれている属性集計対象エリアの件数や属性値が集計されます。
- ※集計結果の一覧表示は、「7.5 グラフ集計結果表示」を参照ください。

■ 「按分しない」「按分する」とは

- ・「集計地域選択」画面のエリアグループ一覧の下部に「按分しない」、「按分する」というチェックがあります。これらの違いを以下に記載します。
- ・例えば、以下のような「新宿7」という小地域の世帯数が3,000世帯と仮定し、半径1kmで作成したエリアが下図のように50%「新宿7」に掛かっていたとします。



- ・集計地域の設定時、「按分しない」とした場合は、1kmエリアの集計結果には「新宿7」の3,000世帯がすべて含まれます。対して「按分する」とした場合は、3,000世帯の50%で按分され、1,500世帯として算出されます。

集計方法

按分しない

按分する

集計方法

按分しない

按分する

(「按分しない」とした場合は、小地域/メッシュがエリアに少しでもかかっている場合、集計の対象となります。なお、重なりが0.01%未満の場合は、重なりなしとして対応しています。)

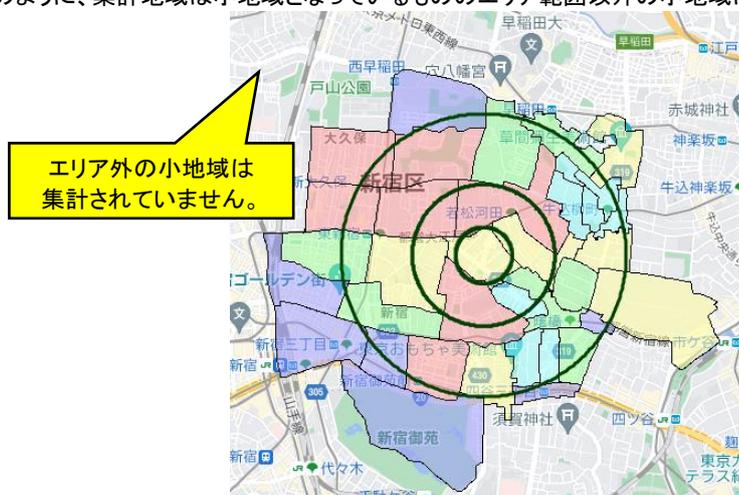
### 4.3.9 エリア範囲の集計

- ・ 集計する範囲は基本的に“画面表示範囲内”となりますが、画面表示範囲内でもエリアがかかる地域で集計したい場合は、以下の手順で行えます。
- ・ 「グラフ作成」の「集計地域選択」画面にある「さらに集計範囲をエリアで絞り込む」にチェックを入れ、エリアグループを選択した上で、「集計開始」ボタンをクリックします。



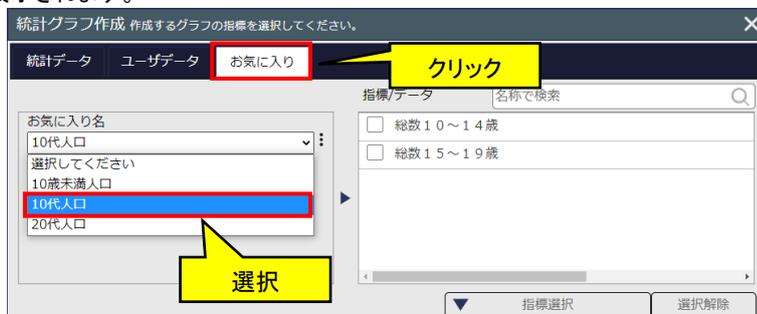
※「エリア」単位とした場合は、「さらに集計範囲をエリアで絞り込む」はチェックできません。

- ・ 以下のように、集計地域は小地域となっているもののエリア範囲以外の小地域は集計されません。



### 4.3.10 お気に入り

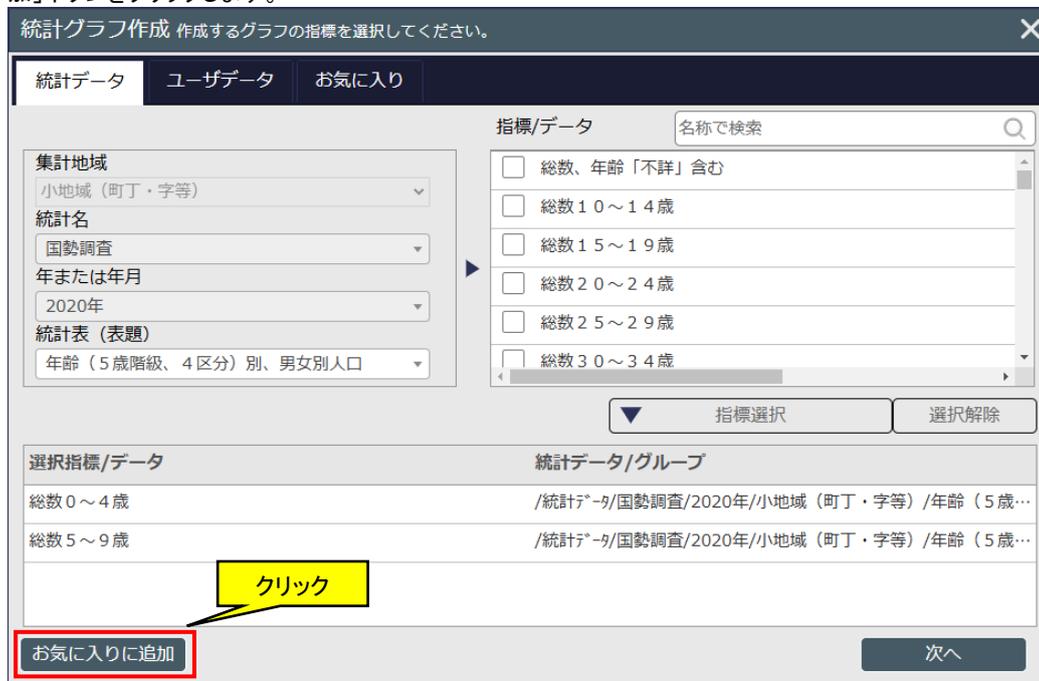
- よく利用する集計指標など、お気に入りに登録して、簡単に呼び出すことができます。
- 「グラフ作成」の「集計指標選択」画面で、「お気に入り」タブを選択します。
- 「お気に入り名」一覧に登録したお気に入りが表示されます。一覧から選択すると、お気に入りに登録された指標が表示されます。



- 以降の操作は統計データの集計と同じです。「4.3.2 統計データのグラフ化」を参照ください。
- 「お気に入り名」一覧のサブメニューアイコン「⋮」をクリックすると、「名称変更」「削除」のサブメニューが表示され、名前の変更や削除を行うことができます。



- お気に入りを作成するには、お気に入りに登録したい指標を「指標選択」した後、画面左下の「お気に入りに追加」ボタンをクリックします。



- ・ お気に入り名の入力画面が表示されますので、名前を入力して「追加」ボタンをクリックすることでお気に入りに保存します。

お気に入りに追加

お気に入り名 10歳未満人口

名称を入力

クリック

追加

## 4.4 レポート作成

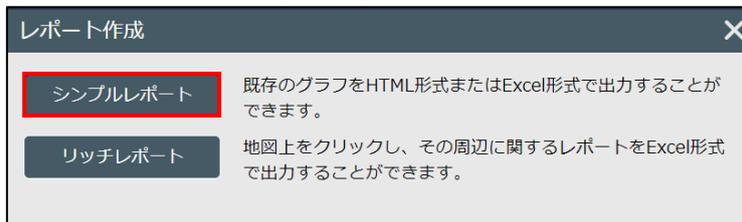
- ・ レポートには、作成したグラフから HTML 形式または Excel 形式で集計結果を参照できる「シンプルレポート」と任意に指定した地点の人口ピラミッドなどを集計して Excel で参照できる「リッチレポート」の 2 種類があります。
- ・ 「統計地図作成」メニューから「レポート作成」を選択すると、「レポート作成」画面が表示されます。



- ・ シンプルレポートを作成する場合は、既にグラフが生成されている必要があります。

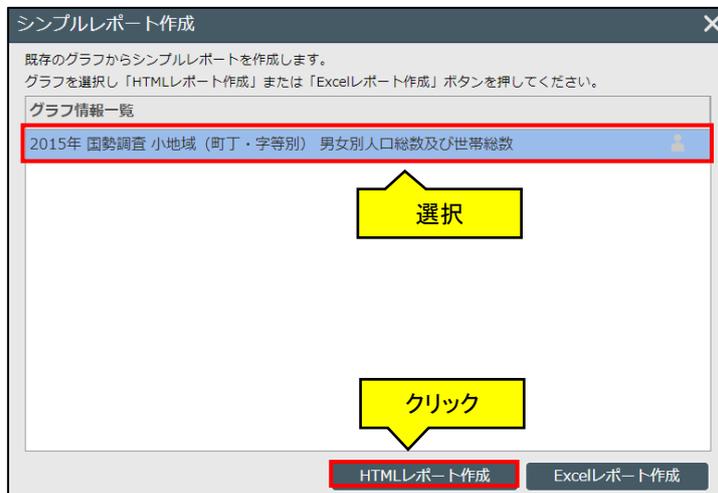
### 4.4.1 シンプルレポート

- ・ 「レポート作成」画面で「シンプルレポート」ボタンをクリックします。

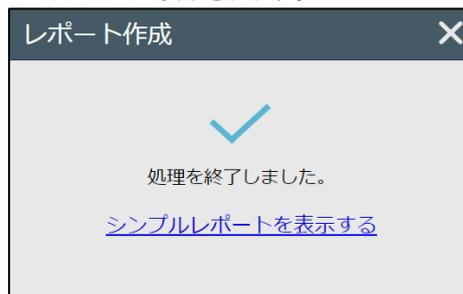


#### ■ HTML レポート作成

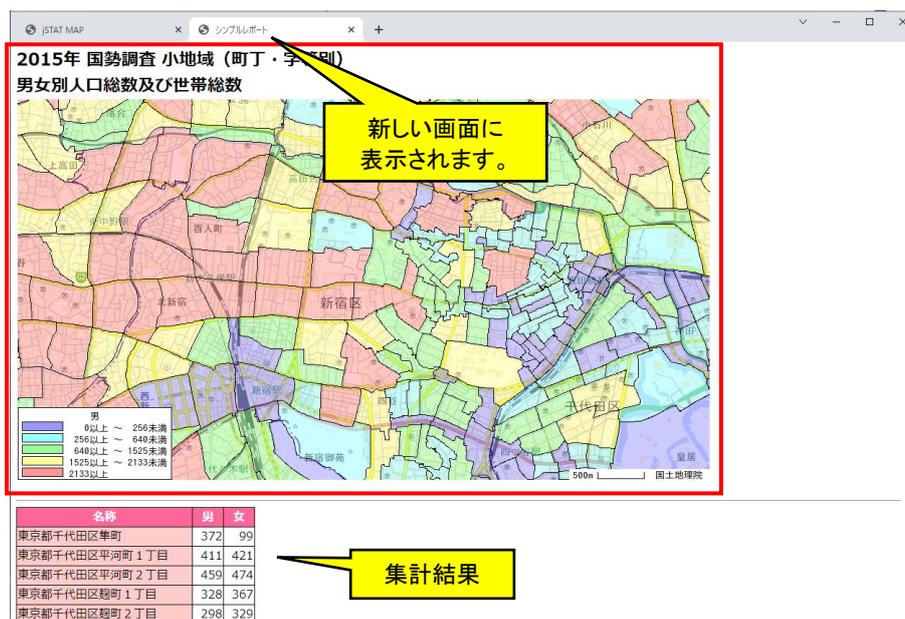
- ・ シンプルレポートにするグラフを一覧から選択し、「HTML レポート作成」ボタンをクリックします。



- ・ レポートが作成がされると、終了のメッセージが表示されます。

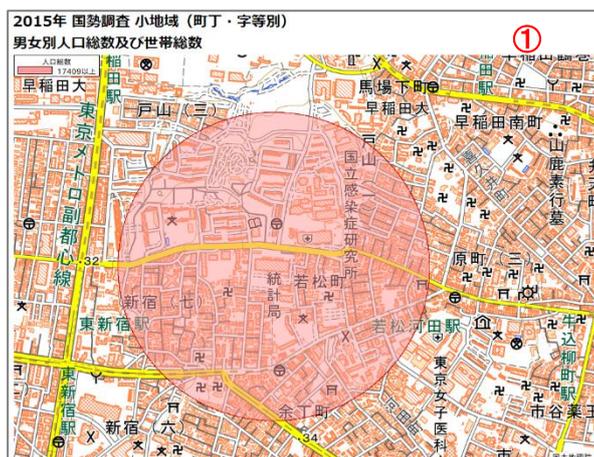


- ・「シンプルレポートを表示する」のクリックで、ブラウザの新しい画面に、レポートが表示されます。



- ・ 不要になったシンプルレポートの画面(タブ)は閉じてください。
- ・ エリアの按分集計を行ったグラフでシンプルレポートを作成する際は、按分結果の明細も表示されます。  
下図は小地域データをエリアで按分したグラフを使ってシンプルレポートを作成しました。
  - ① エリアで小地域データを按分集計したグラフ
  - ② エリアの按分集計値
  - ③ エリアに含まれる小地域ごとの集計率(按分率)と集計値(按分結果値)からなります。

※ ③の集計値(按分結果値)は小数点以下を四捨五入した値です。②のエリアの按分集計値は、③の合計値ではなく、按分結果値の小数点以下までの値を加算し、加算結果を小数点以下四捨五入した値です。このため、②の集計値と③を合計した値は異なる場合があります。



名称	人口総数
統計局-500m円	17599

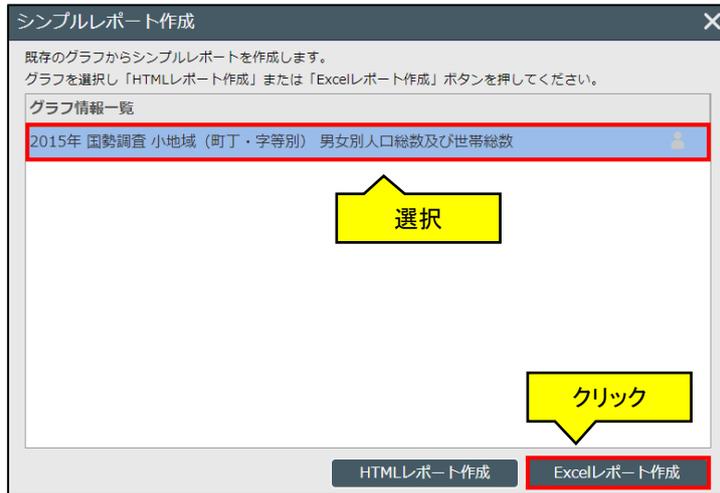
統計局-500m円集計明細

住所名	集計率	人口総数
東京都新宿区新宿 6丁目	6.84%	274
東京都新宿区新宿 7丁目	70.21%	4366
東京都新宿区河田町	27.69%	804
東京都新宿区若松町	61.49%	3347
東京都新宿区余丁町	50.18%	1959
東京都新宿区戸山 1丁目	68.88%	1784
東京都新宿区戸山 2丁目	83.79%	4977
東京都新宿区戸山 3丁目	9.22%	88

■ Excel レポート作成

- ※ レポートは Excel の.xlsx ファイルで出力されますので、Excel(2007 以上)がインストールされていないと参照することができません。
- ※ ダウンロードしたファイルを任意のフォルダに保存して表示してください。
- ※ ブラウザ環境によっては「保護ビュー」設定によりグラフが表示されない場合があります。「編集を有効にする」を選択し「保護ビュー」を解除してください。

- ・ シンプルレポートにするグラフを一覧から反転選択し、「Excel レポート作成」ボタンをクリックします。



- ・ レポートが作成されると、終了のメッセージが表示されます。



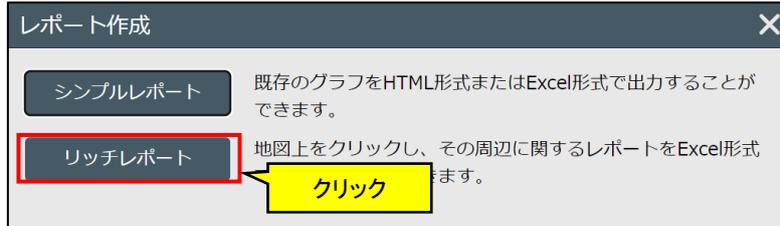
- ・ 「ダウンロード」ボタンをクリックすると、Excel レポートがダウンロードされます。

- ※ Excel に出力する内容は、HTML シンプルレポートと同様の、画面のキャプチャと集計値の一覧に加え、グラフマウス選択で地図上から行政界を選択している場合は、その集計値一覧も出力されます。

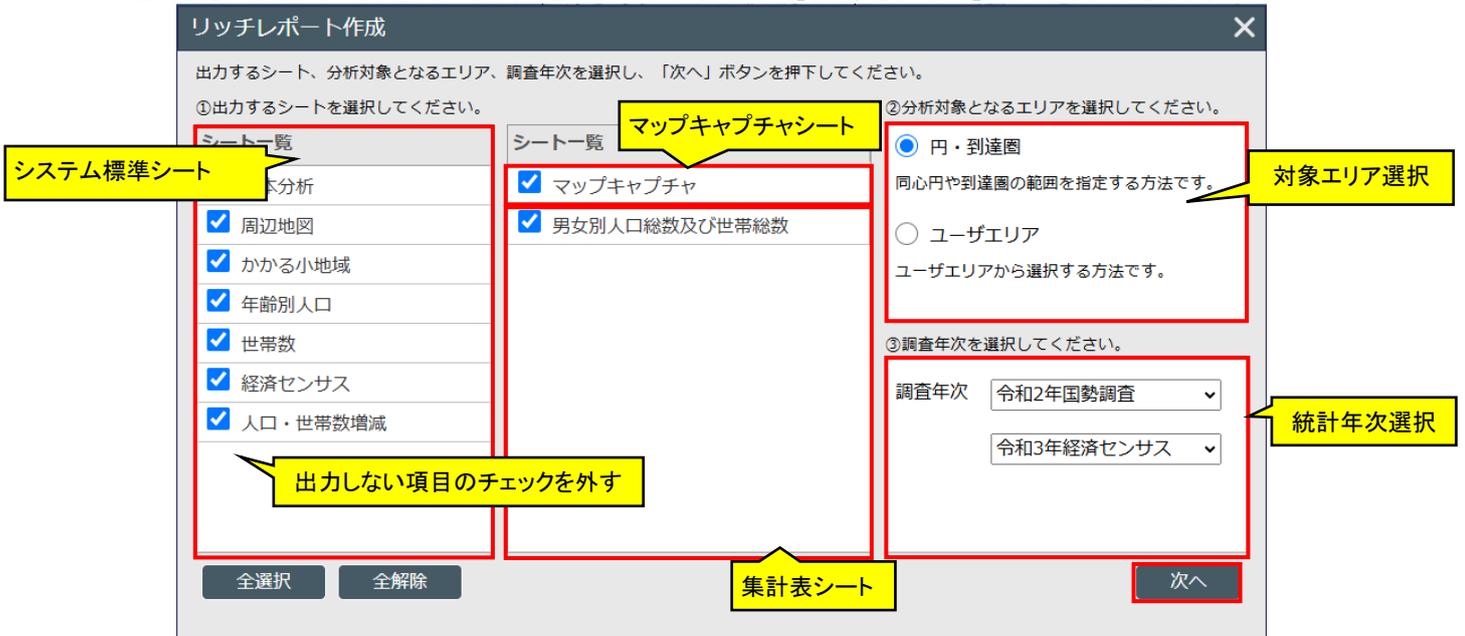
#### 4.4.2 リッチレポート

- ※ レポートは Excel の.xlsx ファイルで出力されますので、Excel(2007 以上)がインストールされていないと参照することができません。
- ※ ダウンロードしたファイルを任意のフォルダに保存して表示してください。
- ※ ブラウザ環境によっては「保護ビュー」設定によりグラフが表示されない場合があります。「編集を有効にする」を選択し「保護ビュー」を解除してください。

- ・ リッチレポートは、エリア範囲内がどのような特性になっているかが簡単に分かるレポートです。
- ・ 作成対象のエリアは、地図上で「円・到達圏」指定、登録済みの「ユーザエリア」のいずれかが選択できます。
- ・ 「レポート作成」画面で「リッチレポート」ボタンをクリックします。



- ・ 出力したい項目にチェックを入れて、対象とするエリア、「調査年次」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



- システムの標準シートは、7種類の項目により構成されています。内容については、「4.4.3 リッチレポート標準シートの構成」を参照ください。
- 「マップキャプチャシート」は、現在画面に表示されている地図画面をキャプチャして貼り付けたシートです。
- 「集計表シート」は、グラフの一覧に存在するグラフが表示されます。(グラフを作成していない場合は、集計用シートはありません。)
  - グラフの数が多くて画面内に収まらない場合は、スクロールする一覧リストになります。
  - リッチレポートに出力する必要のないグラフはチェックを外します。
- 「調査年次」ドロップダウンリストでは、
  - ・ 国勢調査 「令和2年国勢調査」、「平成27年国勢調査」、「平成22年国勢調査」、「平成17年国勢調査」、「平成12年国勢調査」
  - ・ 経済センサス 「令和3年経済センサス」、「平成28年経済センサス」、「平成26年経済センサス」、「平成24年経済センサス」、「平成21年経済センサス」
 のいずれかを選択できます。
- 対象エリアの選択方法によって、「次へ」で表示される画面が異なります。

「円・到達圏」を選択した場合は、「(1)円・到達圏でのリッチレポート作成」を、「ユーザエリア」を選択した場合は、「(2)ユーザエリアでのリッチレポート作成」を参照してください。

#### (1) 円・到達圏でのリッチレポート作成

地図上で円・到達圏の中心点を指定して、リッチレポートを作成します。

メイン地図左上に以下のような画面が表示されます。

**リッチレポート作成** ✕

① エリア設定を最大3つまで指定します  
 ② 調査地点を地図上でクリックします  
 ③ 「リッチレポートを作成する」ボタンを押します

エリア:  半径指定  到達圏

---

▲ 設定

種類:  徒歩  車

時速:  km

有効	エリア	半径(km)
<input type="checkbox"/>	エリア半径 1	<input type="text" value="0.5"/>
<input type="checkbox"/>	エリア半径 2	<input type="text" value="1"/>
<input type="checkbox"/>	エリア半径 3	<input type="text" value="2"/>

#### ■ 半径円で集計

- ・「エリア」から、半径指定を選択し、円エリアを最大3つまで指定した上で、地図上の中心としたい場所をクリックします。
- ・「リッチレポートを作成する」をクリックすると、集計が開始されます。

「リッチレポート作成」

① エリア設定を最大3つまで指定します  
 ② 調査地点を地図上でクリックします  
 ③ 「リッチレポートを作成する」ボタンを押します

エリア:  半径指定  到達圏

種類:  徒歩  車

時速:  km

有効	エリア	半径(km)
<input checked="" type="checkbox"/>	エリア半径 1	<input type="text" value="0.5"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	エリア半径 2	<input type="text" value="1"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	エリア半径 3	<input type="text" value="2"/>

戻る

「半径指定」を選びます。

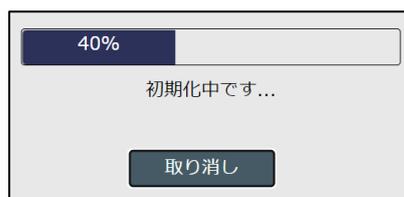
地図をクリックすると、同心円が表示されます。

レポートに出力する円にチェックを入れます

リッチレポートを作成する

- 前述の同心円エリア作成画面と動作は同じで、エリア半径 1,2,3 間の大小は問わず、小さい順にソートして地図上の同心円に反映します。「リッチレポートを作成する」ボタンをクリックしたタイミングで画面内のリストに反映され、レポート中のエリア 1,2,3 はこの並び順(小さい順)に対応したものとなります。
- リッチレポートの「周辺地図」には、最も内側のエリアが収まる地理院の Zoom レベルの地図が出力されます。
- 半径はクリックすると変更できるようになります。  
 ※半径の設定値については上限があります。詳しくは「8.2 各種上限値」をご参照ください。

- ・「リッチレポートを作成する」ボタンをクリックするとレポートの作成が開始され、進行状況が表示されます。



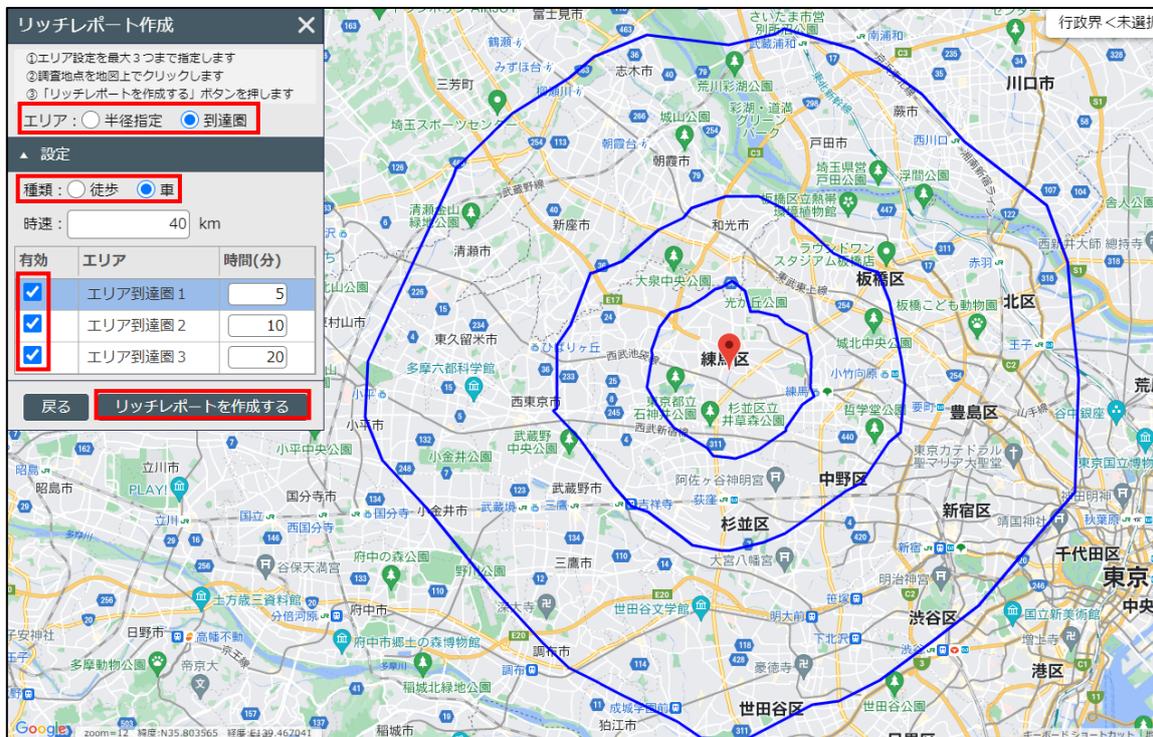
- ・ 集計が終わると、終了のメッセージが表示されます。



- ・ 「ダウンロード」ボタンをクリックすると Excel レポートがダウンロードできます。

■ 到達圏で集計

- ・ 「エリア」から、到達圏を選択し、
- ・ 「徒歩」または「車」を選択し、時速を設定します。
- ・ 到達圏エリアを最大3つまで指定した上で、地図上の中心としたい場所をクリックします。
- ・ 「リッチレポートを作成する」をクリックすると、集計が開始されます。

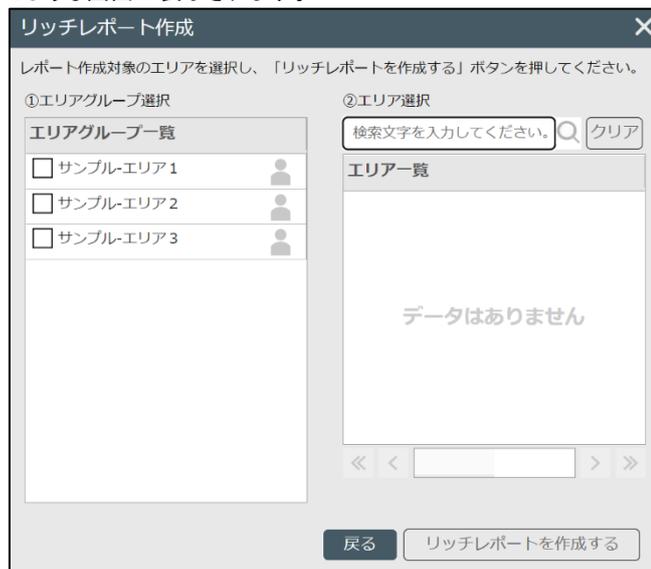


- 到達圏は徒歩・車それぞれ時速を設定することができます。
- 時間(分)はクリックすると変更できるようになります。  
※時速・時間の設定値については上限があります。詳しくは「8.2 各種上限値」をご参照ください。  
到達圏エリア: 車/時速 30~80 km/時間(分) 5~30 分  
徒歩/時速 1~20 km/時間(分) 1~60 分  
の範囲で設定できます。

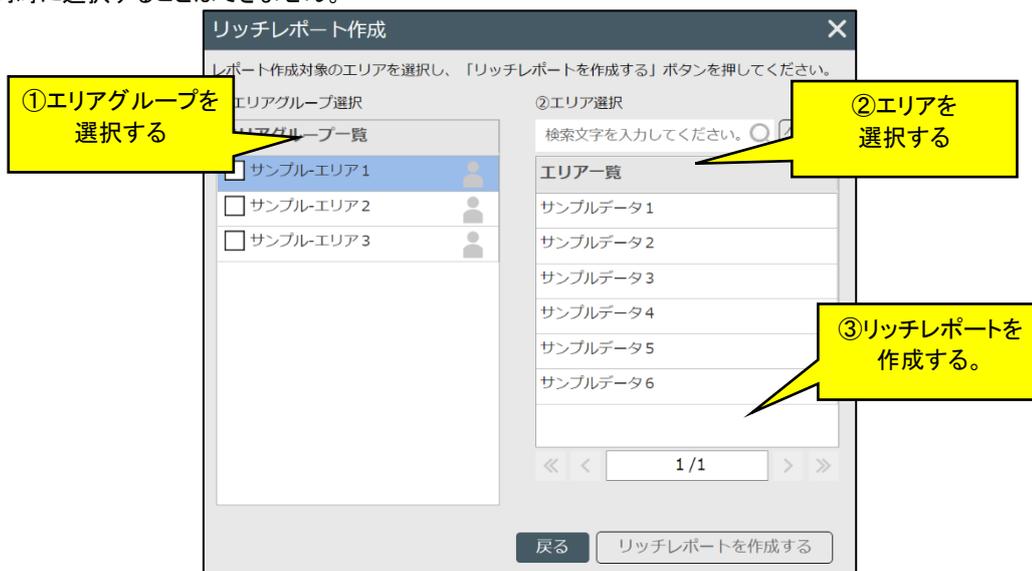
- ・ 集計が終わると、レポートが作成され、ダウンロードできるようになります。ファイルを開くとレポートが表示されます。

(2) ユーザエリアでのリッチレポート作成

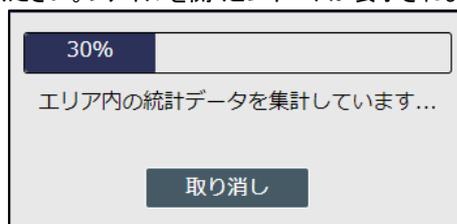
jSTATMAP に作成・登録したエリアで、リッチレポートを作成します。  
メイン地図左上に以下のような画面が表示されます。



まず、画面左部で対象とするエリアが属するグループを選択します。  
グループに属するエリアが、画面右部の一覧に表示されるので、対象とするエリアを選択します。複数のエリアを同時に選択することはできません。



- ・「リッチレポートを作成する」ボタンが有効になりますので、これをクリックするとリッチレポートの作成が始まります。集計が終わると、レポートが作成され、ダウンロードできるようになります。以下の画面のプログレスバーが100%になるまでしばらくお待ちください。ファイルを開くとレポートが表示されます。



- ・「リッチレポートファイルのダウンロード」ボタンをクリックすると Excel レポートがダウンロードできます。

### 4.4.3 リッチレポート標準シートの構成

リッチレポート標準シートは、以下のシートからなります。

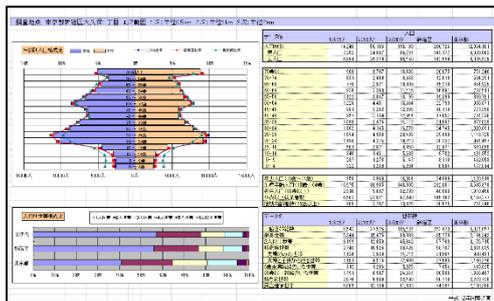
- ・ 表紙
  - ・ 基本分析
  - ・ 周辺地図
  - ・ かかる小地域
  - ・ 年齢別人口
  - ・ 世帯数
  - ・ 経済センサス
  - ・ 人口・世帯数増減
  - ・ マップキャプチャ
  - ・ 集計シート(統計グラフ作成済の場合出力)
- ・ 使用する国勢調査、経済センサスの調査年次は、「リッチレポート作成」画面で選択した年次のものです。(これは各シート右下隅の出典に記載されています。)
- ・ シート内の「エリア内」で示される集計値は、最も外のエリアについての集計値です(「ユーザエリア」で作成した場合はそのエリアの集計値)。
- ・ エリアの集計値は、小地域統計データを面積按分して算出したものです。

#### (1) 表紙



エリア全域を包含した地図および出力シート一覧からなるシートです。

#### (2) 基本分析



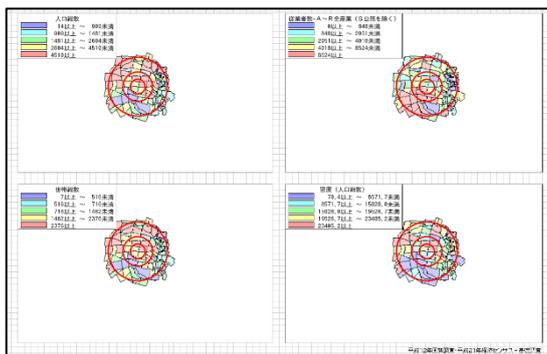
年齢別人口構成比(人口ピラミッド)、人員別世帯構成比のグラフや、人口や世帯数に関する主要な統計値の集計結果を収めたシートです。

(3) 周辺地図



最も内側のエリアが収まるようなズームレベル(縮尺)の地図であり、調査地点中心を拡大図で表示することを意図しています。

(4) かかる小地域



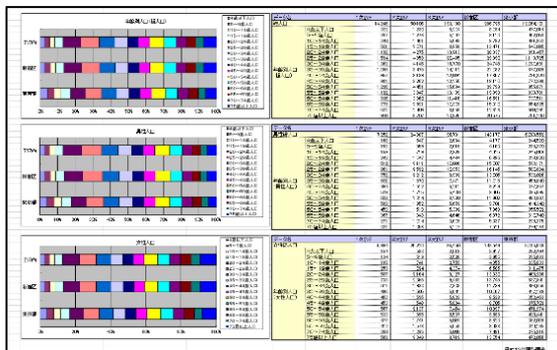
最も外側のエリアにかかる小地域単位の

- ・人口総数(国勢調査)
- ・世帯総数(国勢調査)
- ・従業者数(経済センサス)

界面グラフで表したシートです。

従業者数については、小地域集計が行われていない地域については界面グラフは表示されません。

(5) 年齢別人口



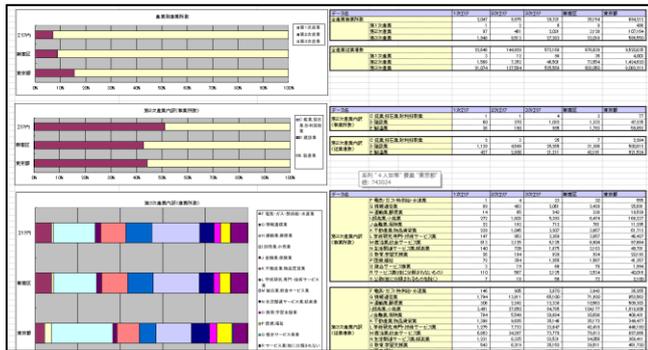
「総人口」、「男人口」、「女人口」の5歳階級別統計指標を集計したシートです。

(6) 世帯数



- ・世帯人員別
  - ・親族世帯
  - ・住宅形態別
  - ・持ち家形態別
- など世帯数に関する指標を集計したシートです。

(7) 経済センサス



経済センサスからピックアップした指標を集計したシートです。

(8) 人口・世帯数増減



令和2年国勢調査と平成27年国勢調査の500mメッシュ統計を使って、2調査間の増減(令和2年ー平成27年)を界面グラフで表したシートです。

・総人口  
・男人口  
・女人口  
・世帯数  
の4指標の増減を、一番外の円エリアにかかる500mメッシュを集計範囲として、5ランクの指標値均等(最小値～最大値を均等に5分割)で表示しています。

※地図画像の上に、界面グラフ画像を重ねたものです。Excel上で画像を移動したりすると上にある界面グラフ画像だけが移動しますのでご了承ください。

(9) マップキャプチャ



現在画面に表示している範囲の国土地理院地図画像です。(Google Mapsを表示している場合、表示縮尺(ズームレベル)によっては、地理院地図ズームレベル範囲内の地図画像となります。)

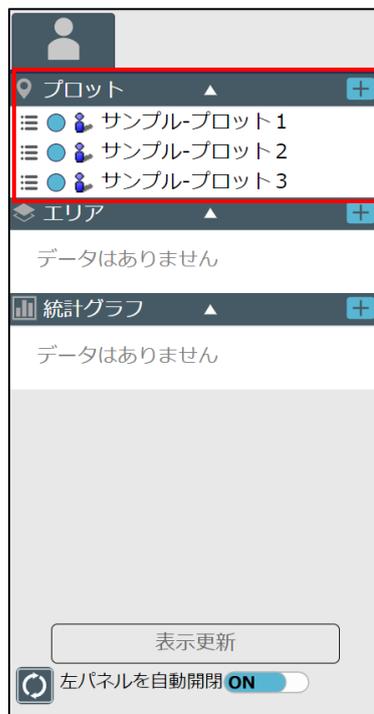
(10) 集計シート

出力対象として選択したグラフのデータ値です。

## 5 プロット操作

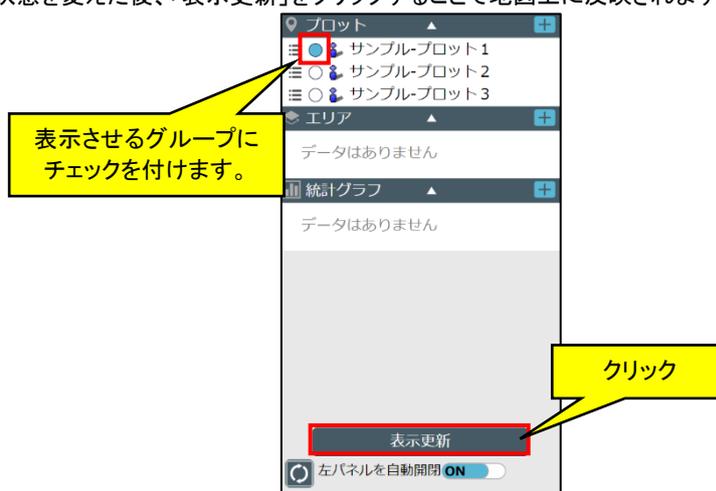
### 5.1 プロットセクション

- プロットグループ単位の表示／非表示、グループ名称の変更、アイコンの変更、削除などは、左パネルの「プロット」から操作します。



### 5.2 プロットグループの表示／非表示

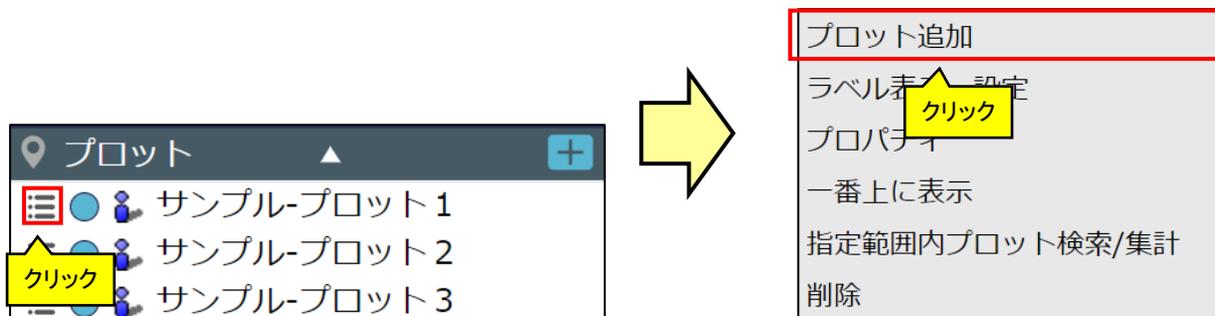
- プロットグループ操作領域では、チェックボックスの ON/OFF によって表示／非表示を切り替えることができます。チェック状態を変えた後、「表示更新」をクリックすることで地図上に反映されます。



※非表示にする場合は、チェックを外して「表示更新」ボタンをクリックします。

### 5.3 プロット追加

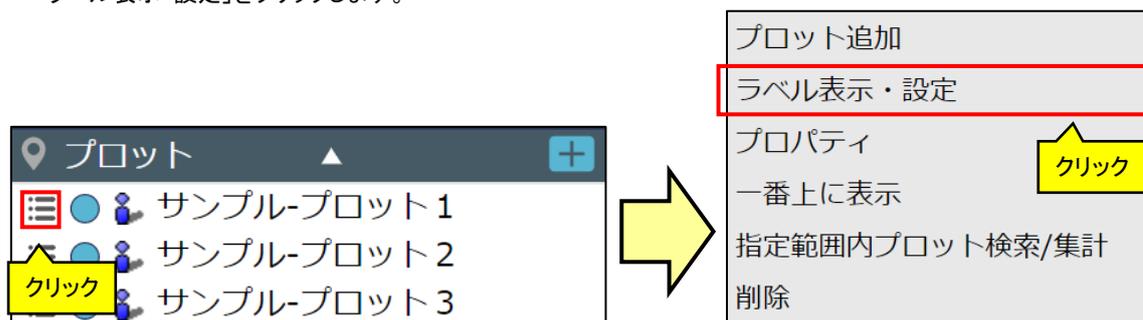
- ・ プロットグループに、プロットの追加を行うことができます。
- ・ プロットグループ操作領域で、表示させたいプロットグループの左端部をクリックして、ポップアップメニューから「プロット追加」をクリックします。



※プロットの追加操作については、「4.1 プロット作成」を参照ください。

### 5.4 ラベルの表示・設定

- ・ プロットのラベルは、地図上に表示することができます。
- ・ プロットグループ操作領域で、表示させたいプロットグループの左端部をクリックして、ポップアップメニューから「ラベル表示・設定」をクリックします。



- ・「ラベル表示・設定」画面が表示されます。
- ・ラベルの表示/非表示、文字の設定、ラベルに表示する項目の設定、ラベルの枠などの設定、ラベルの余白や表示位置の設定などを行い、「適用」ボタンをクリックします。

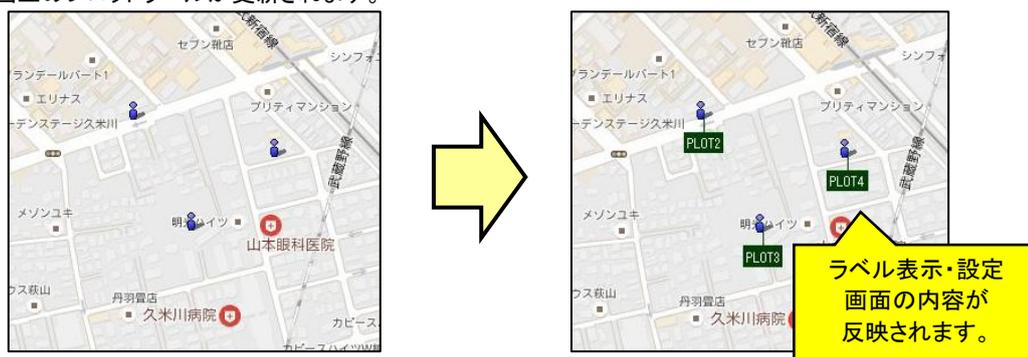
The screenshot shows the 'ラベル表示・設定' (Label Display Settings) dialog box. It is divided into several sections:

- ラベル表示 (Label Display):** Includes radio buttons for '表示' (Show) and '非表示' (Hide).
- 表示する属性項目 (3つまで) (Attributes to Display (up to 3)):** A list with checkboxes for 'プロット名' (Plot Name), 'テスト1' (Test 1), 'テスト2' (Test 2), and 'テスト3' (Test 3).
- 文字設定 (Text Settings):** Includes '文字サイズ' (Text Size) with buttons for '小' (Small), '中' (Medium), and '大' (Large), and '文字色' (Text Color) with a color picker.
- 背景設定 (Background Settings):** Includes checkboxes for '背景を塗りつぶす' (Fill background), '囲み線を表示' (Show border), and '引き出し線を表示' (Show extension line), along with '背景色' (Background color) and '線色' (Line color) pickers.
- 余白設定 (Margin Settings):** Includes input fields for '左右' (Left/Right) and '上下' (Top/Bottom) margins, and 'プロット中心からのオフセット' (Offset from plot center) for 'X' and 'Y' coordinates.
- 適用 (Apply):** A button at the bottom right.

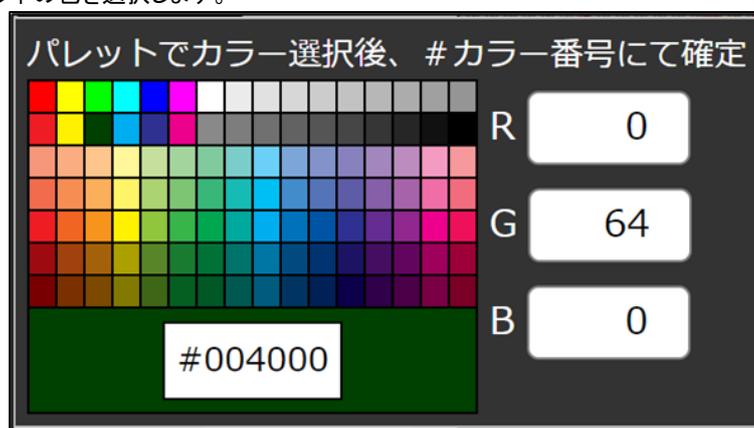
Callouts provide additional information:

- 'ラベルの表示/非表示' points to the '表示' and '非表示' buttons.
- 'ラベルに表示する項目の設定' points to the attribute list.
- '文字サイズ小・中・大の設定 文字色の設定' points to the text size and color options.
- 'ラベルの枠の設定 背景:塗り潰し ON/OFF および色 囲み線:表示 ON/OFF および色 引き出し線:表示 ON/OFF' points to the background and border settings.
- 'ラベルの余白や表示位置の設定' points to the margin and offset settings.
- 'クリック' points to the '適用' button.

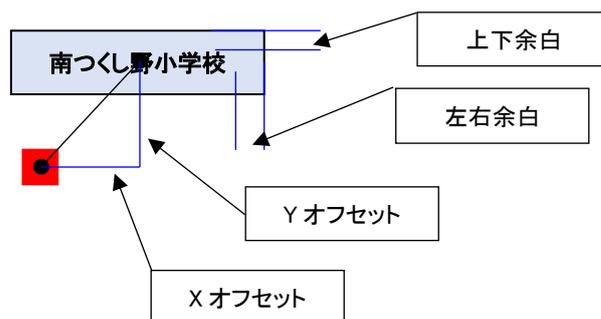
- ・ 地図上のプロットラベルが更新されます。



- ※ 設定は、グループに対して適用されます。(1つ1つのプロットラベルを個別に設定することはできません)
- ※ 文字色・背景色・囲み線は矩形をクリックすると以下のようなカラーパレットが表示されますので、カラーパレットの中の色を選択します。

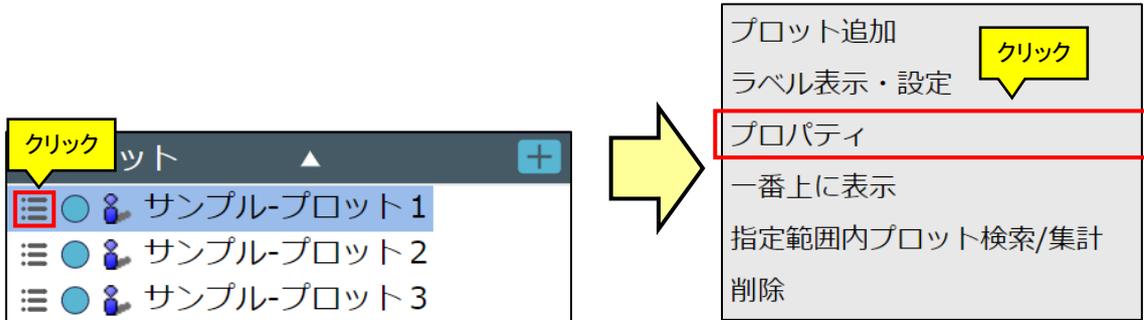


- ※ ラベルの枠の引き出し線の色は、囲み線の設定色が指定されます。
- ※ 余白とプロット中心からのオフセットの指定は以下のようにピクセル単位で指定します。



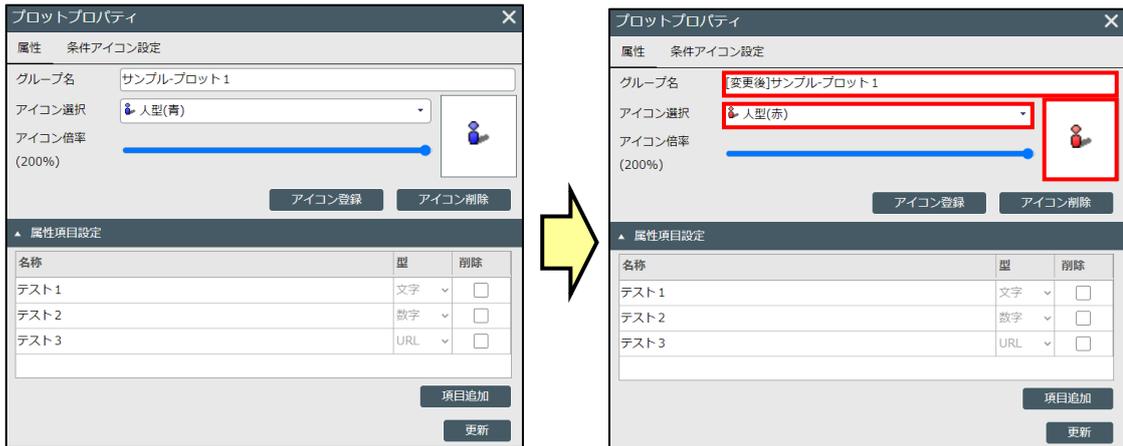
## 5.5 プロットグループプロパティ

- ・ プロットグループのグループ名、アイコンデザイン、属性名の変更、プロットの属性値によってアイコンを変更したい場合は、プロパティ画面で行います。
- ・ プロットグループ操作領域で、対象のグループの左端部をクリックして、ポップアップメニューから「プロパティ」をクリックします。

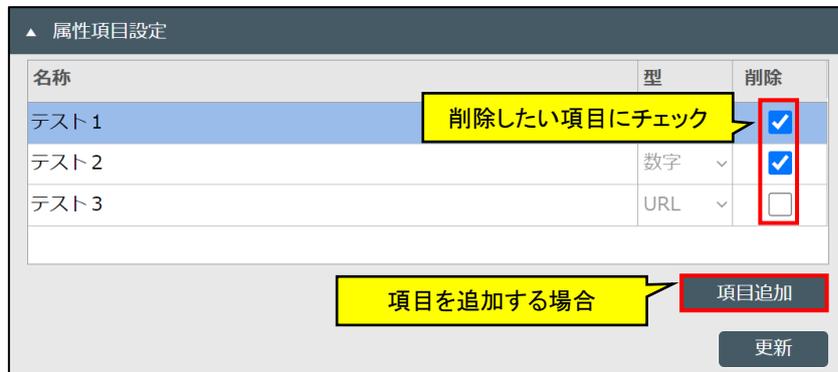


### 5.5.1 属性の設定タブ

- ・ プロットプロパティの属性タブを選択してください。
- ・ 表示された画面で、グループ名、アイコン選択、アイコン倍率、属性名の変更や属性項目の削除及び追加ができます。
- ・ 変更・削除・追加は、「更新」ボタンをクリックすることで反映されます。



- ・ 上図は、グループ名とアイコンを変更したサンプルとなります。



- ・ 属性項目を削除する場合は、「削除」欄をクリックしてチェックをいれます。
- ・ 属性項目を追加する場合は、「項目追加」ボタンをクリックします(追加できる項目数に上限はありません)。

- ・ 以下のように、変更内容が反映されます。



### 5.5.2 条件アイコン設定タブ

- ・ プロットプロパティの条件アイコン設定タブを選択してください。プロットの属性値によってアイコンを変更することができます。
- ・ 条件アイコンを設定するには、まず設定対象の属性項目をプルダウンリストで選択します。
- ・ 「行追加」をクリックすると、最下行に条件設定行が追加されるので、条件式、条件、アイコンを設定します。
- ・ 条件式をプルダウンリストから選択します。属性項目の型によって選択できる条件式が異なります。
  - ・ 文字型、URL 型:完全一致、部分一致、前方一致
  - ・ 数値型:一致、以上、以下、超える、未満
- ・ 条件に条件値を入力します。
- ・ 条件に合致したときに適用するアイコンを、登録済みアイコンのプルダウンリストから選択します。
- ・ 行内をクリックすると、その行が選択状態になります。「行挿入」は選択した行の前に新規行が追加され、「行削除」は選択行が削除されます。
- ・ 「更新」ボタンをクリックして、条件式にあったアイコンに更新します。

プロットプロパティ

属性 条件アイコン **選択**

設定対象属性 **選択** テスト2 **選択**

条件式	条件	アイコン	アイコン倍率(%)	プレビュー
以上	1000 <b>入力</b>	人型(青)	100	
以上	2000	人型(赤)	100	
以上	3000	人型(緑)	100	

行追加 行挿入 行削除 **クリック**

**更新**

**条件式行の変更**

※条件の判定は行の上から順に行い、合致した行のものが適用されます。例えば数値型で属性値が 0~100~200~でアイコンを替えたい場合に、「0 以上、100 以上、200 以上」とすると、値 300 のものは「0 以上」の条件に合致するため、0 以上のアイコンが設定されます。この場合は、「200 超、100 以上、0 以上」の順で設定する必要があります。

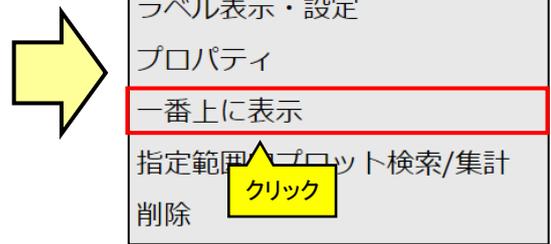
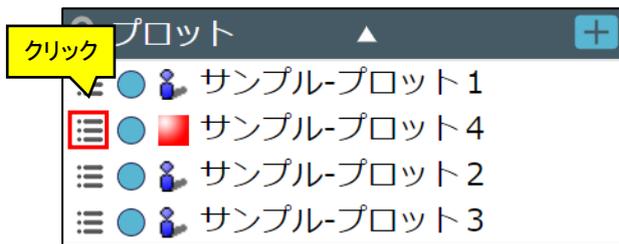
## 5.6 プロットグループのグループ表示順序変更

- ・ 以下のように「店舗」を表すデータと「会員」を表すデータが上下逆になってしまい店舗プロットが見えにくくなる場合があります。このような場合は、上下の順序を入れ替えることで改善できます。

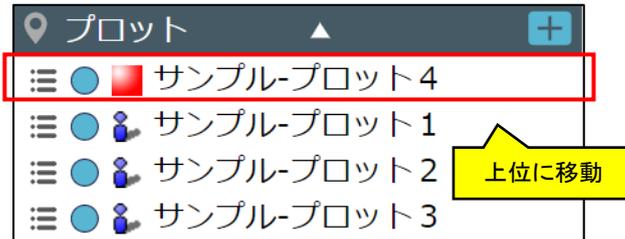


赤い店舗を表すプロットが、  
会員プロットの下に隠れてしまっています。

- ・ 上部に持って行きたいプロットグループの左端部をクリックして、ポップアップメニューから「一番上に表示」をクリックします。



- ・ 以下のように上下関係が変更され、地図上も店舗が上位に表示されます。



会員プロットより  
上位に表示されました

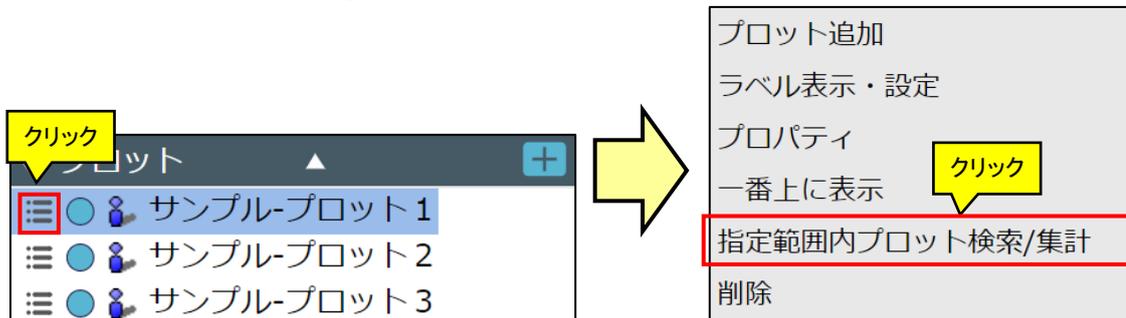
- ・ エリアやグラフとプロットとの上下関係を変更することはできません。

## 5.7 プロットグループ内の範囲検索／集計

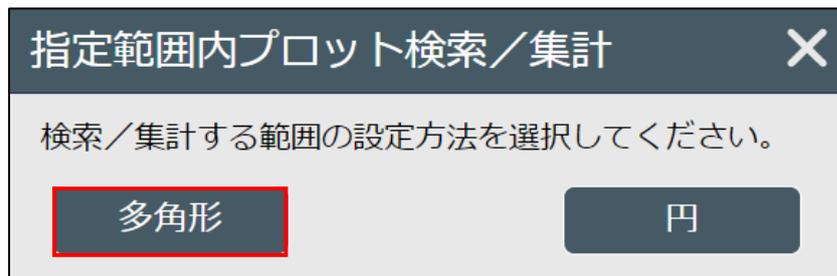
- ・プロットデータが無数にある状態で、特定の範囲内で検索したい場合に利用します。例えば、以下のような分布があったとして西側の会員がどれくらいいるのか調べたいときなどに利用します。



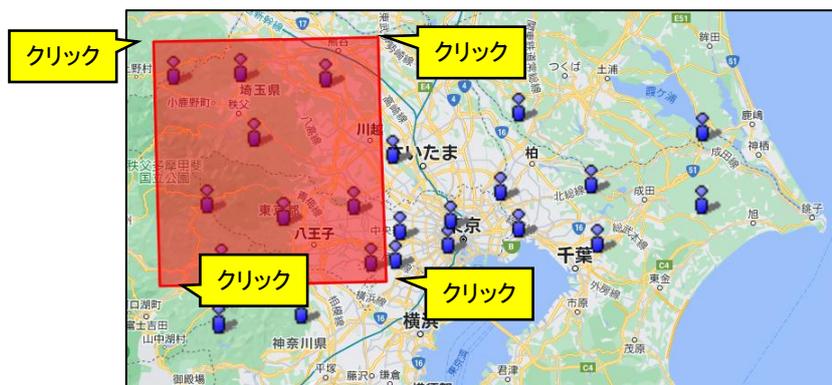
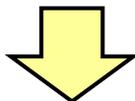
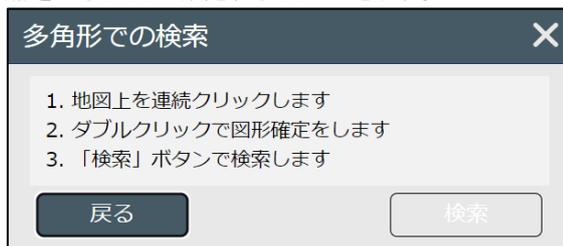
- ・プロットグループ操作領域で、表示させたいプロットグループの左端部をクリックして、ポップアップメニューから「指定範囲内プロット検索／集計」をクリックします。



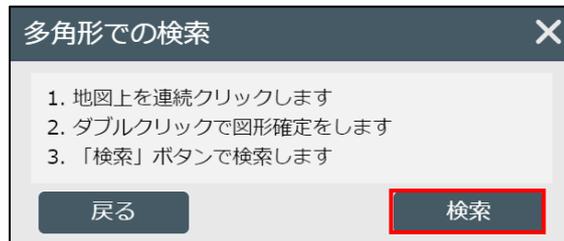
- ・メイン地図の左上に、以下のような検索範囲を指定するツールが表示されます。多角形で検索する場合は、「多角形」ボタンをクリックします。



- 以下のような画面が表示されたら、地図上を連続クリックすることで多角形を描くことができます。多角形はダブルクリック、または始点と終点をつなぐことで確定することができます。



- 多角形描画の基本的な操作は、前述の「面積計測」と同じです。
- 図形確定後、「検索する」ボタンで検索します。



- 検索結果は、メイン地図の下部に以下のように表示されます。

検索対象のグループ名と検索結果件数が表示されます。

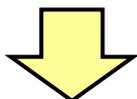
サンプルプロット 1 (9件)			
プロット名	テスト1	テスト2	テスト3
	型: 文字	型: 数字	型: URL
サンプルデータ13	サンプル13	13	<a href="https://sample13">https://sample13</a>
サンプルデータ15	サンプル15	15	<a href="https://sample15">https://sample15</a>
サンプルデータ16	サンプル16	16	<a href="https://sample16">https://sample16</a>
サンプルデータ19	サンプル19	19	<a href="https://sample19">https://sample19</a>
サンプルデータ21	サンプル21	21	<a href="https://sample21">https://sample21</a>

件数が多い場合はページめくりによって表示できます。

ヒットしたプロット名と属性値が列挙されます。

検索結果を非表示にする場合は、検索結果画面右上の下矢印をクリックして収納します。

プロット 1 (9件)		自動開閉	データパネル ▼
ト2	テスト3		
型: 数字	型: URL		
13	<a href="https://sample13">https://sample13</a>		
15	<a href="https://sample15">https://sample15</a>		
16	<a href="https://sample16">https://sample16</a>		
19	<a href="https://sample19">https://sample19</a>		
21	<a href="https://sample21">https://sample21</a>		

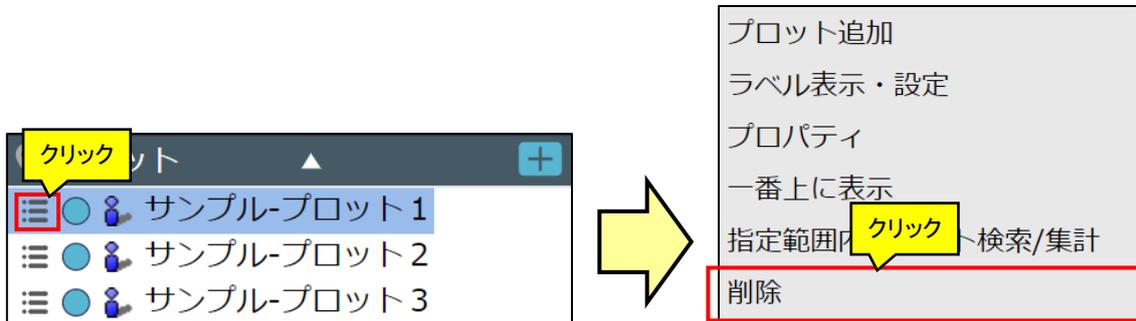


※再表示する場合は、収納された部分右端にある上矢印をクリックしてください。

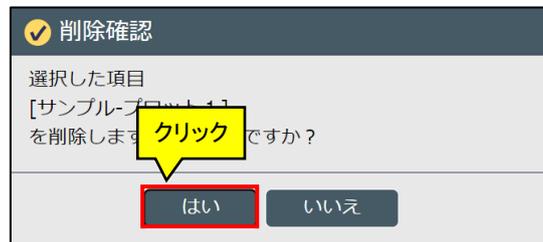
※新たに範囲検索したり、グラフの集計結果表示(後述)を行った場合は、検索結果は破棄されます。

## 5.8 プロットグループの削除

- プロットグループを削除する場合は、プロットグループ操作領域で、削除対象のグループの左端部をクリックして、ポップアップメニューから「削除」をクリックします。

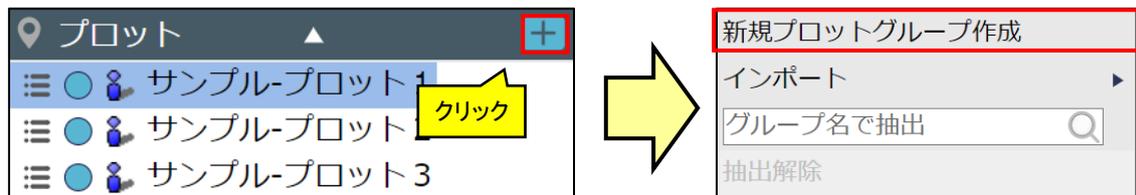


- 以下のような「削除確認」画面が出ますので、「はい」をクリックすることで削除できます。



## 5.9 新規プロットグループ作成

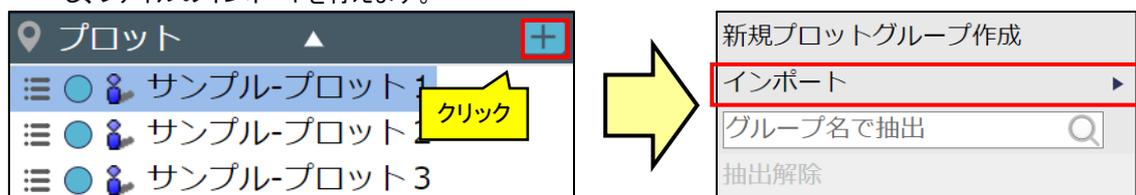
- 新規にプロットグループを作成することができます。
- プロットセクション右上の「+」ボタンをクリックし、右図のポップアップメニューから、「新規プロットグループ作成」ボタンをクリックし、プロットグループを作成できます。



※プロットの追加操作については、「4.1 プロット作成」を参照ください。

## 5.10 インポート

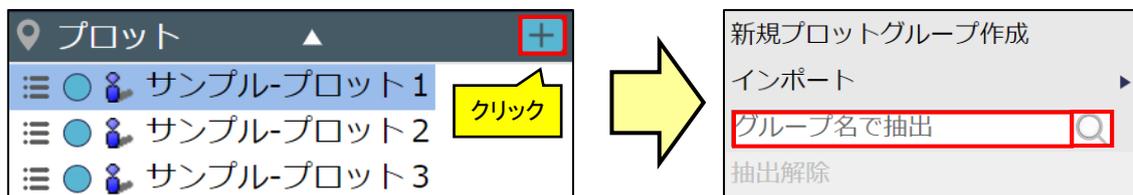
- ファイルをインポートし、プロットとして登録することができます。
- プロットセクション右上の「+」ボタンをクリックし、右図のポップアップメニューから「インポート」ボタンをクリックし、ファイルのインポートを行えます。



※「住所マッチング」「緯度経度リスト」「KML ファイル」より、インポート可能です。インポート方法については、「3.3.1 インポート」を参照ください。

## 5.11 プロット名称検索

- ・ プロットグループ内の名称で検索を行うことができます。
- ・ プロットセクション右上の「+」ボタンをクリックし、右図のポップアップメニューから、グループ名を検索できます。



- ※何も入力せずに「検索」ボタンをクリックすることによりすべてのプロットが列挙されます(全検索)。
- ※「抽出解除」ボタンをクリックすることで、検索結果はクリアされ、すべてのプロットが列挙されます。

## 5.12 データパネルからの操作

- ・ データパネルから、「ハイライト表示」、「表示位置移動」、「プロット移動」、「属性の並び替え、検索」、「編集」、「削除」を行うことができます。

### ■ 地図上にハイライト表示する場合

- ・ データパネル上のデータを選択すると、対応する地図上のプロットがハイライト表示されます。

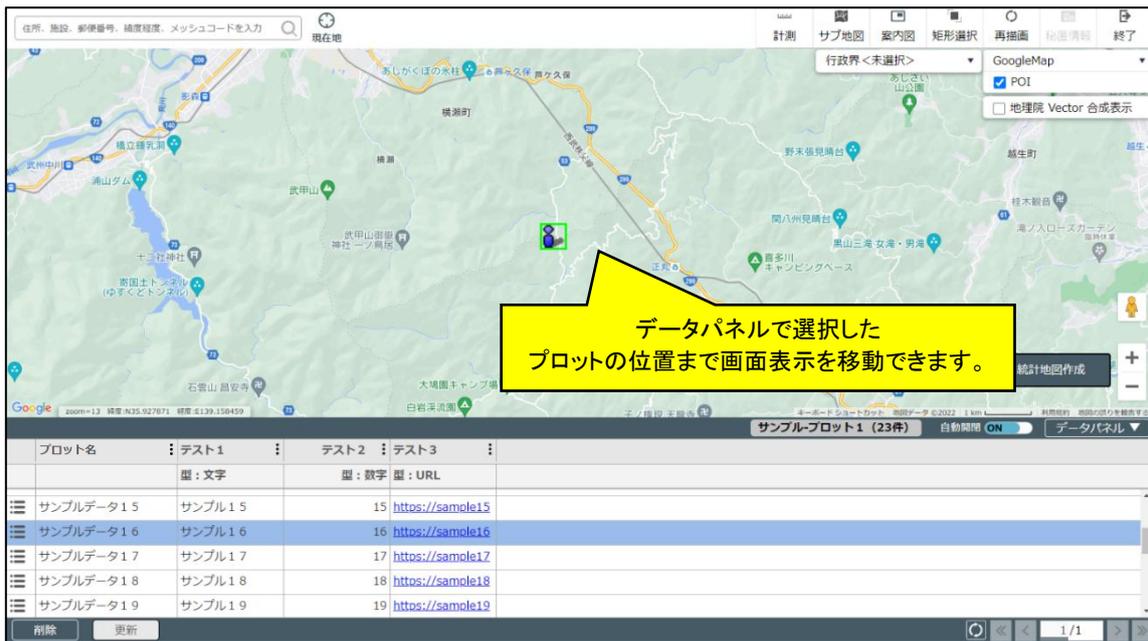
プロット名	住所	総数	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	教員数
花園	東京都新宿区新...	149	24	29	24	25	19	28	16
落合第一	東京都新宿区中...	519	86	97	88	89	77	82	28
落合第三	東京都新宿区西...	356	61	62	58	56	60	59	25
落合第二	東京都新宿区上...	380	61	62	60	67	58	25	

- ※Shift キー、または Ctrl キーで複数選択も可能です。
- ・ ハイライト表示を解除する場合、データパネル上のデータを再選択すると解除することができます。

### ■ 表示位置移動する場合

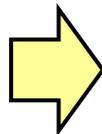
- ・ 地図上で登録したプロットを見失ってしまった場合、該当プロットの位置まで移動することができます。
- ・ 各行左端部をクリックすると表示されるポップアップメニューから「表示位置移動」をクリックすると、地図上に登録したプロットの場所へ移動します。

プロット名	テスト1
サンプルデータ1	サンプル1
サンプルデータ1 0	サンプル1 0
サンプルデータ1 1	サンプル1 1
サンプルデータ1 2	サンプル1 2
サンプルデータ1 3	サンプル1 3

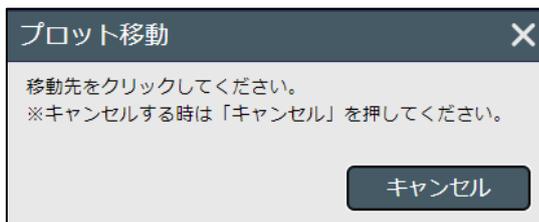


■ プロットの位置を移動したい場合

- 各行左端部をクリックすると表示されるポップアップメニューから、「プロット移動」をクリックすると、登録したプロットの移動が行えます。

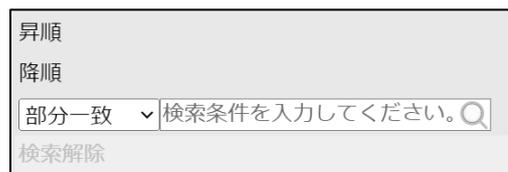
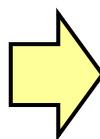


- ・ プロットの移動を中断したい場合は、画面左上に表示されている「プロット移動」ダイアログから、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。



■ 属性の並び替え、検索をする場合

- ・ データパネル上部をクリックすると、ポップアップメニューが表示され、並びの変更やデータの検索を行えます。



■ 編集する場合

- ・ 編集したいデータを選択し、値を入力後、「更新」ボタンをクリックすると、属性を編集できます。

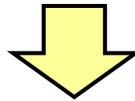


■ 削除する場合

- ・ ポップアップメニューから「データ削除」ボタンをクリックします。確認画面で「はい」ボタンをクリックすると削除できます。

サンプルプロット 1 (23件)					自動開閉 ON	データパネル ▼
プロット名	テスト1	テスト2	テスト3			
	型: 文字	型: 数字	型: URL			
☰ サンプルデータ1	サンプル1	1	<a href="https://sample1">https://sample1</a>			
☰ サンプルデータ1 0	サンプル1 0	10	<a href="https://sample10">https://sample10</a>			
☰ サンプルデータ1 1	サンプル1 1	11	<a href="https://sample11">https://sample11</a>			削除したいデータを選択
☰ サンプルデータ1 2	サンプル1 2	12	<a href="https://sample12">https://sample12</a>			
☰ サンプルデータ1 3	サンプル1 3	13	<a href="https://sample13">https://sample13</a>			

削除 更新 1/1



✓ 削除確認

選択中のプロットを削除します。よろしいですか？

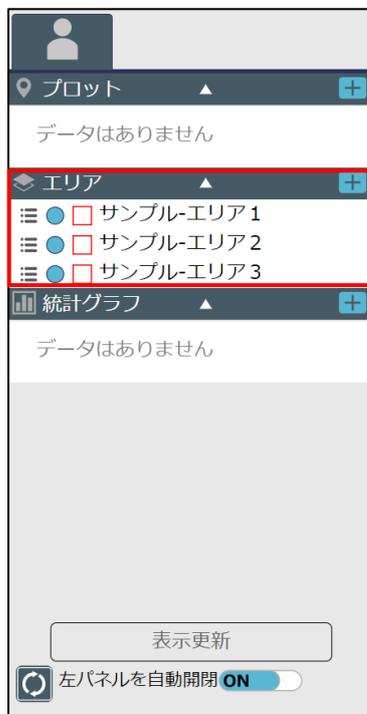
はい いいえ

クリック

## 6 エリア操作

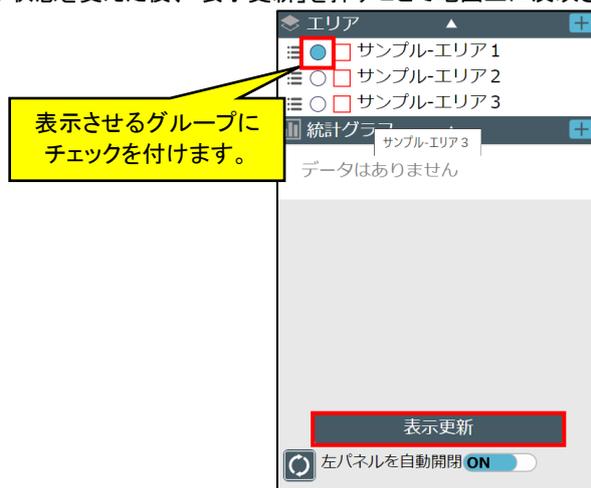
### 6.1 エリアセクション

- ・ エリアグループ単位の表示／非表示、グループ名称の変更、削除などは、左パネルの「エリア」から操作します。



### 6.2 エリアグループの表示／非表示

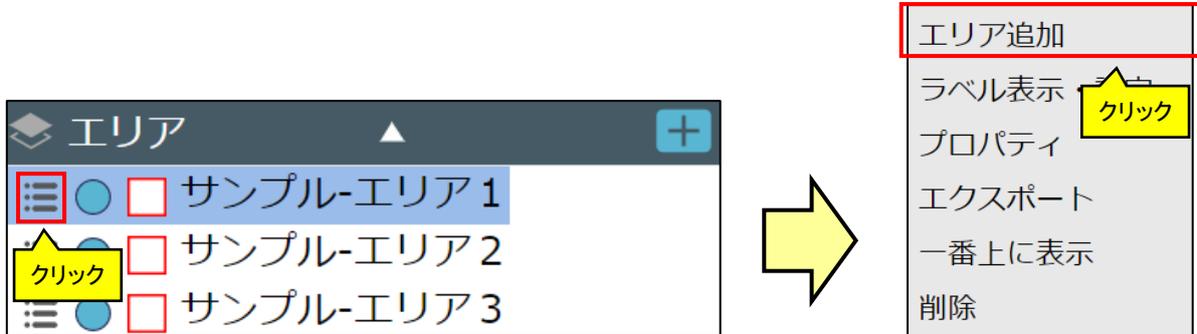
- ・ エリアグループ操作領域では、チェックボックスの ON/OFF によって表示／非表示を切り替えることができます。チェック状態を変えた後、「表示更新」を押すことで地図上に反映されます。



※ 非表示にする場合は、チェックを外して「表示更新」ボタンをクリックします。

### 6.3 エリアの追加

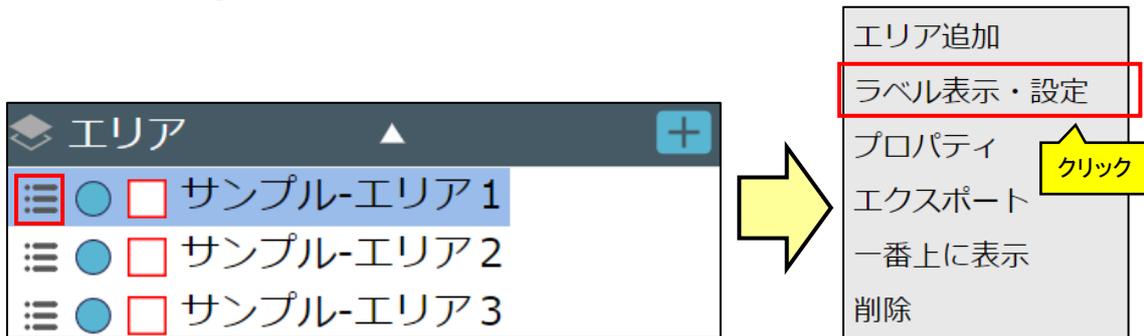
- ・ エリアグループにエリアの追加を行うことができます。
- ・ エリアグループ操作領域で、表示させたいエリアグループの左端部をクリックして、ポップアップメニューから「エリア追加」をクリックします。



※エリアの追加操作については、「4.2 エリア作成」を参照ください。

### 6.4 ラベルの表示・設定

- ・ エリアのラベルは、地図上に表示することができます。
- ・ エリアグループ操作領域で、表示させたいエリアグループの左端部をクリックして、ポップアップメニューから「ラベル表示・設定」をクリックします。



- ・「ラベル表示・設定」画面が表示されます。
- ・ラベルの表示/非表示、文字の設定、ラベルに表示する項目の設定、ラベルの枠などの設定、ラベルの余白や表示位置の設定などを行い、「適用」ボタンをクリックします。

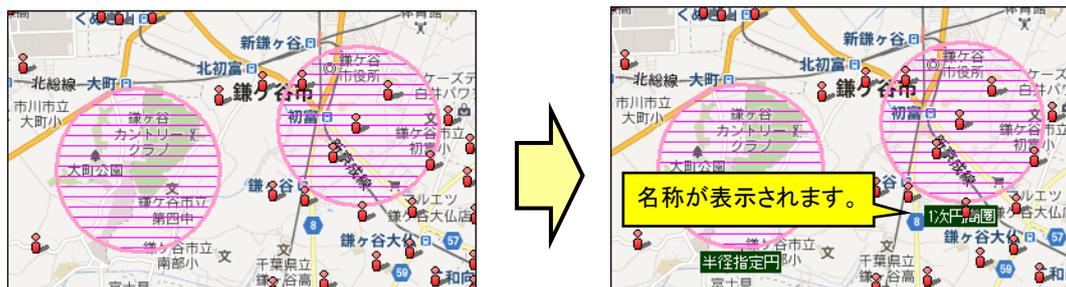
The screenshot shows the 'ラベル表示・設定' (Label Display Settings) dialog box. It is divided into several sections:

- ラベル表示 (Label Display):** Includes '表示' (Show) and '非表示' (Hide) buttons.
- 表示する属性項目 (3つまで) (Attributes to Display (up to 3)):** A list with checkboxes for 'エリア名' (Area Name), 'テスト1', 'テスト2', and 'テスト3'. 'エリア名' is checked.
- 文字設定 (Text Settings):** Includes '文字サイズ' (Text Size) with buttons for '小' (Small), '中' (Medium), and '大' (Large); and '文字色' (Text Color) with a color picker set to '#ffffff'.
- 背景設定 (Background Settings):** Includes '背景を塗りつぶす' (Fill background) and '囲み線を表示' (Show border), both checked. Both have a color picker set to '#004000'.
- 余白設定 (Margin Settings):** Includes '左右' (Left/Right) and '上下' (Top/Bottom) margin settings, both set to '2'.
- 適用 (Apply):** A button at the bottom right.

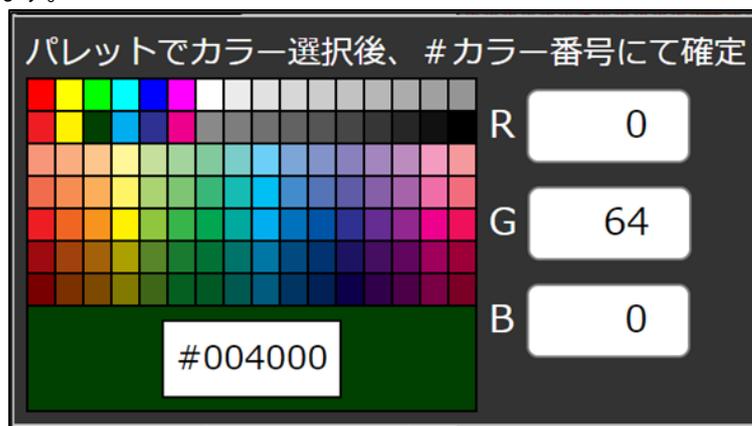
Callouts (yellow boxes) provide additional information:

- 'ラベルの表示/非表示' points to the '表示' and '非表示' buttons.
- 'ラベルに表示する項目の設定' points to the '表示する属性項目' list.
- '文字サイズ小・中・大の設定 文字色の設定' points to the '文字サイズ' and '文字色' settings.
- 'ラベルの枠の設定 背景: 塗り潰し ON/OFF および色 囲み線: 表示 ON/OFF および色' points to the '背景設定' section.
- 'ラベルの余白の設定' points to the '余白設定' section.
- 'クリック' points to the '適用' button.

- ・ 地図上のエリアラベルが更新されます。



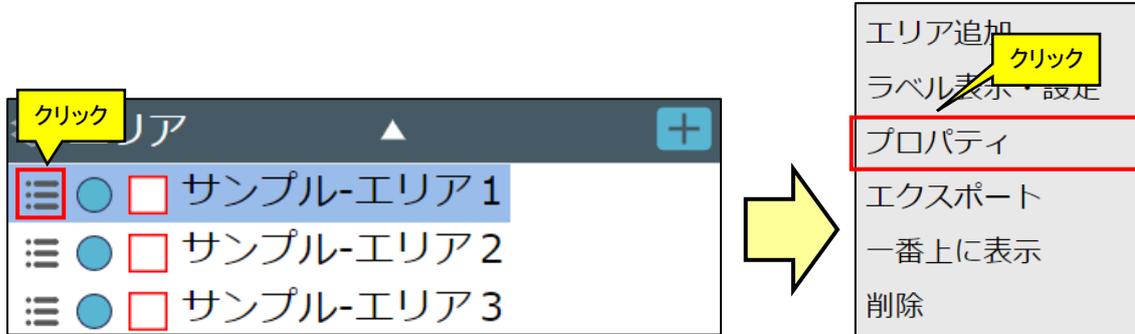
- ※設定は、グループに対して適用されます。(1つ1つのエリアラベルを個別に設定することはできません)
- ※文字色・背景色・囲み線は矩形をクリックすると以下のようなカラーパレットが表示されますので、カラーパレットの中の色を選択します。



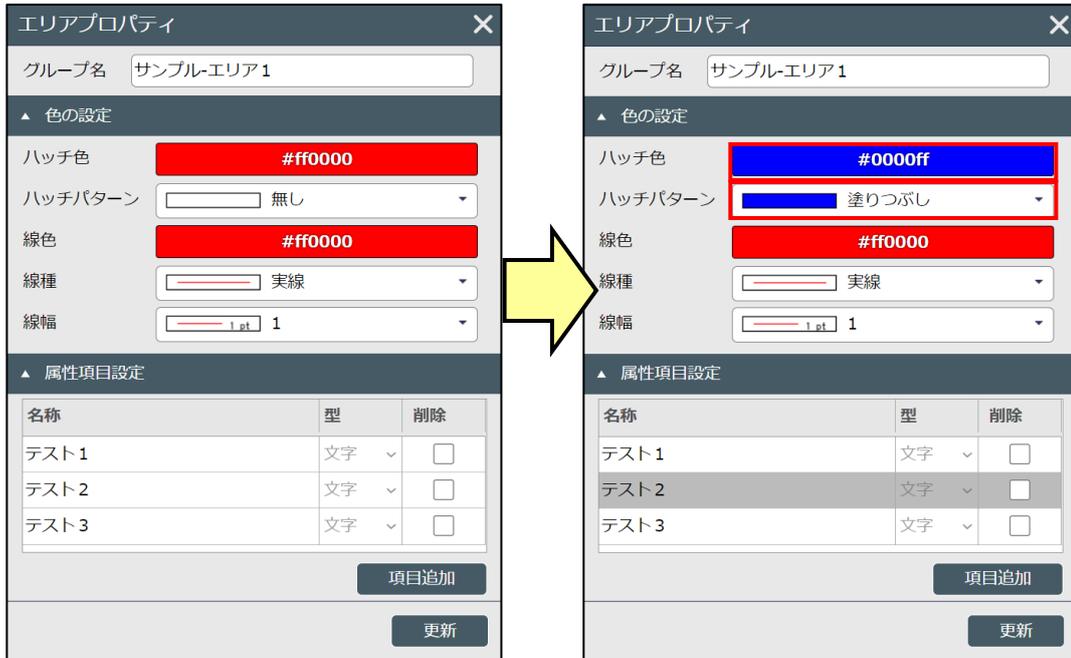
- ※余白は名称とラベル枠との間の余白をピクセル単位で指定します。
- ※重なるラベル配置を自動調整は、ラベルが重なったときに間引いて表示するか否かを選択します。

## 6.5 エリアグループプロパティ

- ・ エリアグループのグループ名、線種、ハッチパターンなどのデザインを変更したい場合は、プロパティ画面で行います。
- ・ エリアグループ操作領域で、対象のグループの左端部をクリックして、ポップアップメニューから「プロパティ」をクリックします。



- ・ 表示された画面で「グループ名」、「線種」、「ハッチパターン」、「属性名」などの変更や属性の削除ができます。
- ・ 削除する場合は、「削除」チェックボックスをチェックします。
- ・ 変更・削除は、「更新」ボタンで反映されます。



- ・ 上図は、グループ名とハッチ色、ハッチパターンを変更したサンプルです。

▲ 属性項目設定

名称	型	削除
テスト1		<input checked="" type="checkbox"/>
テスト2	文字	<input checked="" type="checkbox"/>
テスト3	文字	<input type="checkbox"/>

削除したい項目にチェック

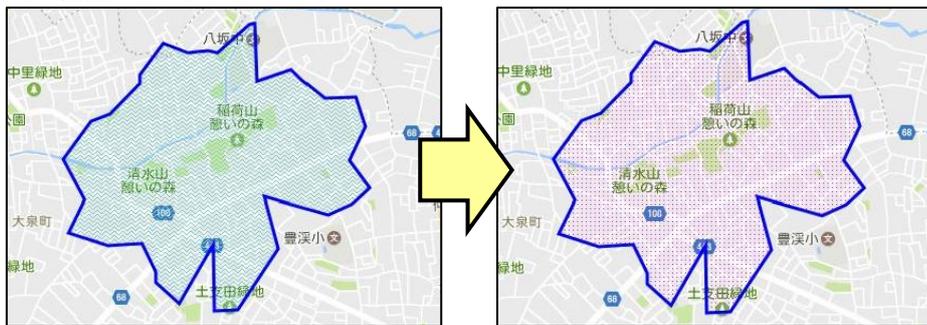
項目を追加する場合

項目追加

更新

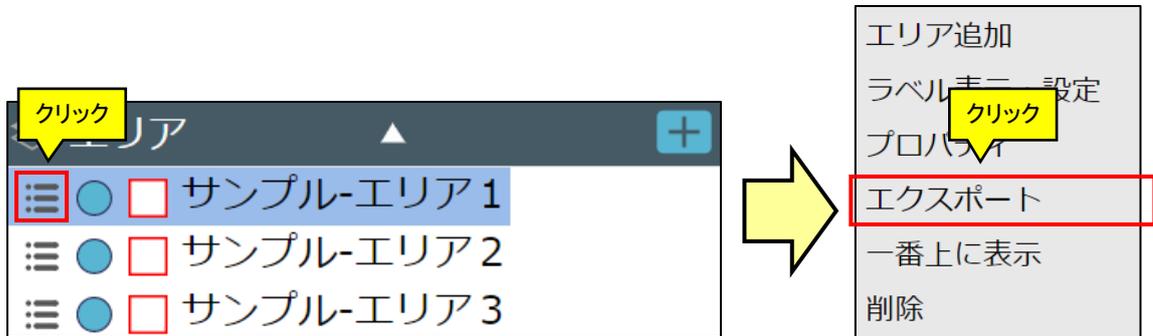
- ・ 属性項目を削除する場合は、「削除」欄をクリックしてチェックをいれます。
- ・ 属性項目を追加する場合は、「項目追加」ボタンをクリックします(追加できる項目数に上限はありません)。

- ・ 以下のように変更内容が反映されます。

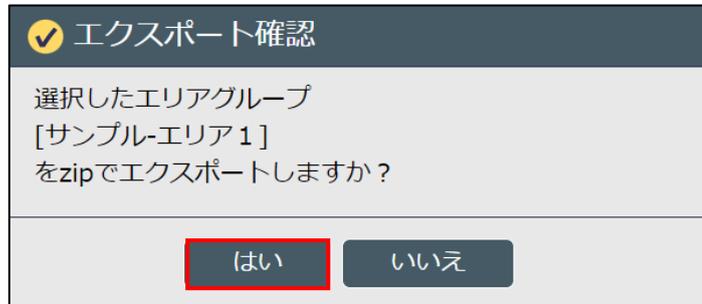


## 6.6 エリアデータのシェープファイルエクスポート

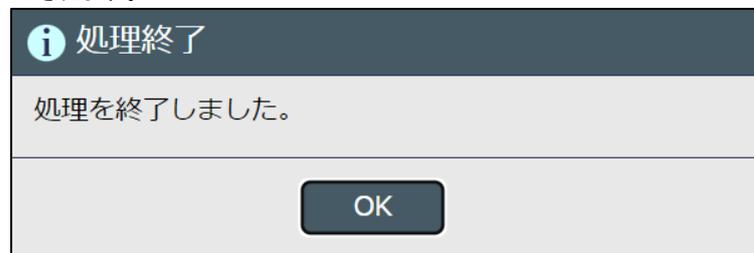
- ・ ユーザが作成したエリアデータを出力することができます。操作は以下の通りです。
- ・ エクスポートしたいエリアグループを選択すると、エクスポートボタンが有効になるので、これをクリックします。



- ・ 確認メッセージが表示されます。



- ・ エクスポートが完了すると、以下のような画面が表示され、.shx、.shp、.dbf、prj のファイルが zip 形式で圧縮された形でダウンロードされます。

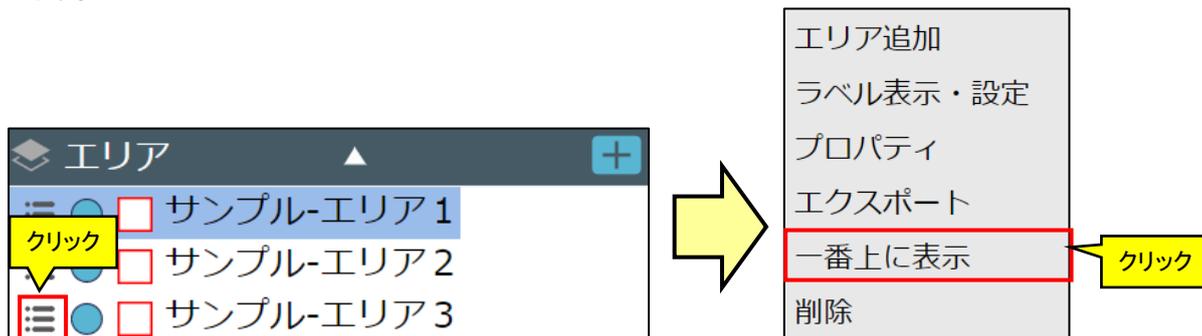


## 6.7 エリアグループのグループ表示順序変更

- ・ 下図のようにエリア名称とその他のエリアが上下逆になってしまい下のエリア名称が見えにくくなることがあります。このような場合は、上下の順序を入れ替えることで改善できます。



- ・ 上部に持って行きたいエリアグループ左端部をクリックして、ポップアップメニューから「一番上に表示」をクリックします。



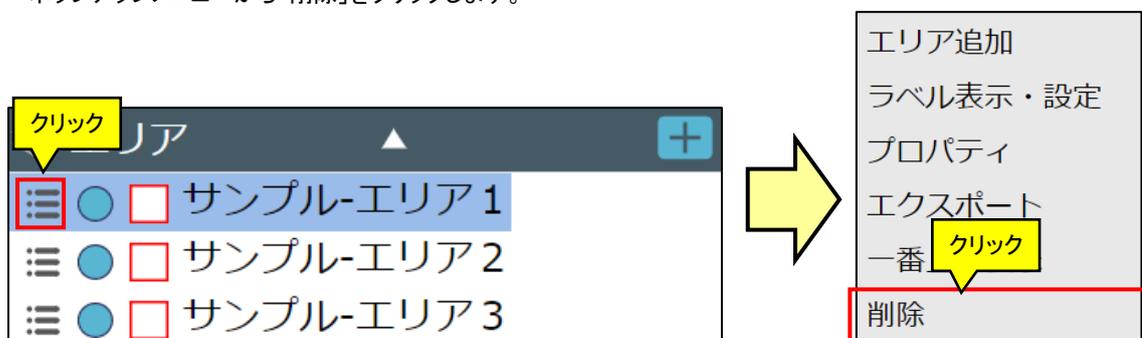
- ・ 以下のように上下関係が変更され、地図上も店舗が上位に表示されます。



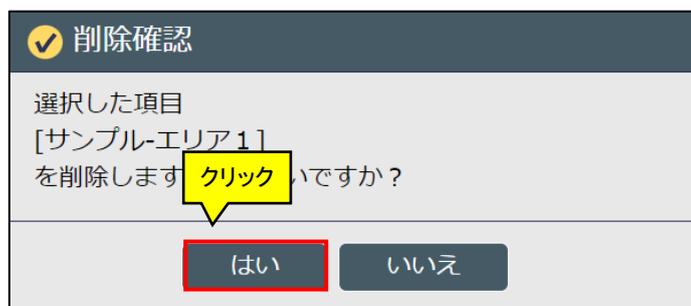
- ・ プロットやグラフとエリアとの上下関係を変更することはできません。

## 6.8 エリアグループの削除

- ・ エリアグループを削除する場合は、エリアグループ操作領域で、削除対象のグループの左端部をクリックして、ポップアップメニューから「削除」をクリックします。

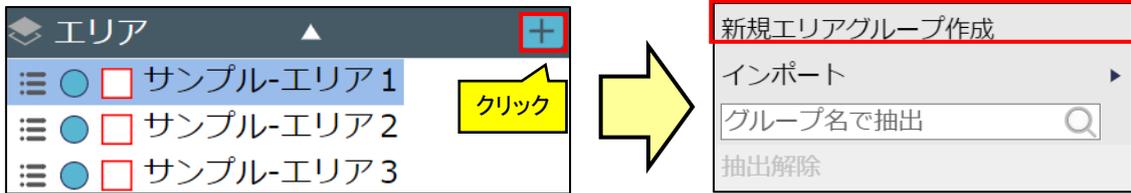


- ・ 以下のような確認画面が出ますので、「はい」ボタンをクリックすることで削除できます。



## 6.9 新規エリアグループの作成

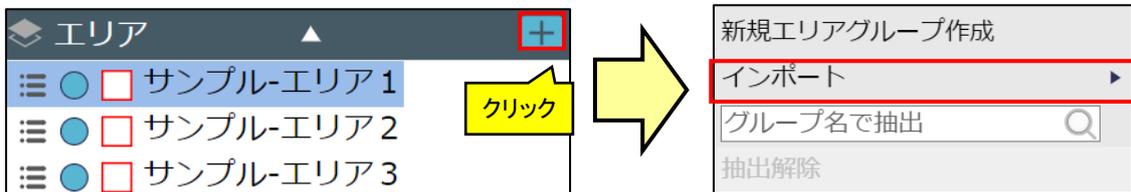
- ・ 新規にエリアグループを作成することができます。
- ・ エリアセクション右上の「+」ボタンをクリックし、右図のポップアップメニューから、「新規エリアグループ作成」ボタンをクリックし、エリアグループを作成できます。



※エリアグループの追加操作については、「4.2 エリア作成」を参照ください。

## 6.10 インポート

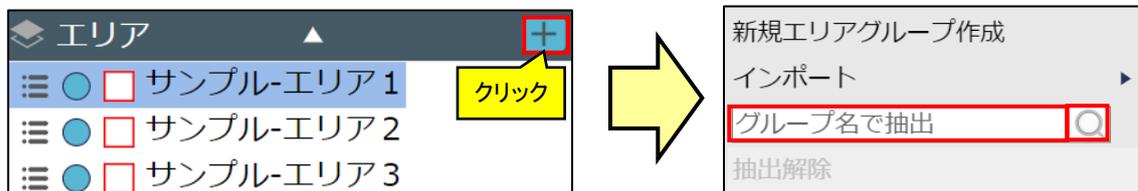
- ・ ファイルをインポートし、エリアとして登録することができます。
- ・ エリアセクション右上の「+」ボタンをクリックし、右図のポップアップメニューから「インポート」ボタンをクリックし、ファイルのインポートを行えます。



※「シェープファイル」「KML ファイル」「GML ファイル」より、インポート可能です。インポート方法については、「3.3.1 インポート」を参照ください。

## 6.11 エリア名称検索

- ・ エリアグループの名称を検索することができます。
- ・ エリアセクション右上の「+」ボタンをクリックし、右図のポップアップメニューから、グループ名を検索できます。



※何も入力せずに「検索」ボタンをクリックするとすべてのエリアが列挙されます(全検索)。

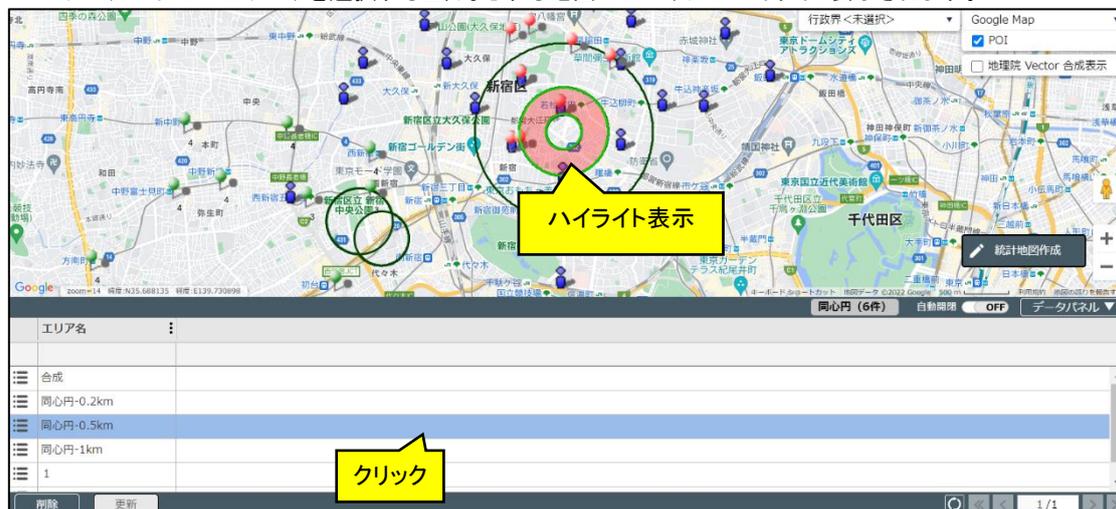
※「抽出解除」ボタンをクリックすることで、検索結果はクリアされ、すべてのエリアが列挙されます。

## 6.12 データパネルからの操作

- データパネルから、「ハイライト表示」、「表示位置移動」、「エリア移動」、「属性の並び替え、検索」、「編集」、「削除」を行うことができます。

### ■ 地図上にハイライト表示する場合

- データパネル上のデータを選択すると、対応する地図上のエリアがハイライト表示されます。

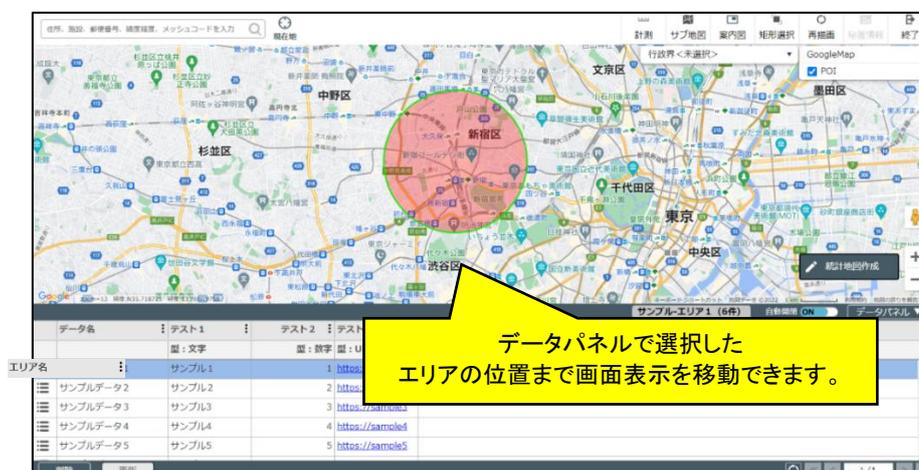
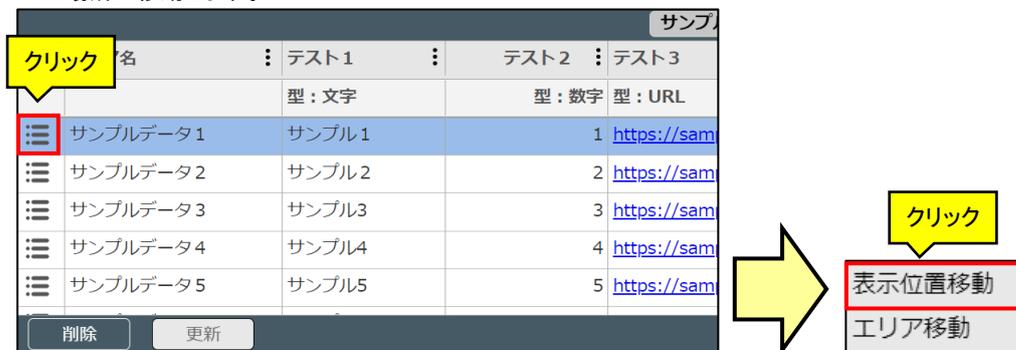


※Shift キー、または Ctrl キーで複数選択も可能です。

- ハイライト表示を解除する場合、データパネル上のデータを再選択すると解除することができます。

### ■ 表示位置移動する場合

- 地図上で登録したエリアを見失ってしまった場合、該当エリアの位置まで移動することができます。
- 各行左端部をクリックするとポップアップメニューから「表示位置移動」をクリックすると、地図上に登録したエリアの場所に移動します。



■ エリアを移動する場合

- 各行左端部をクリックすると表示されるポップアップメニューから、「エリア移動」をクリックすると、登録したエリアを移動することができます。

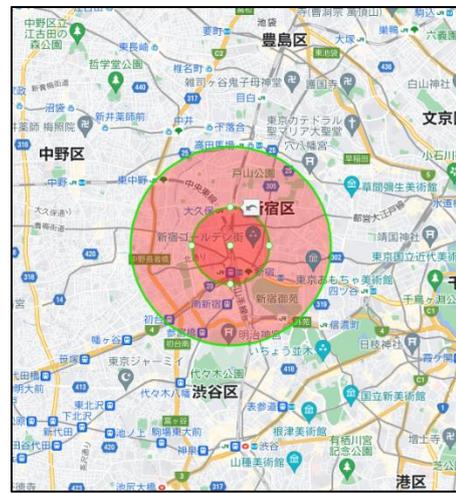
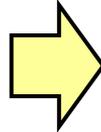
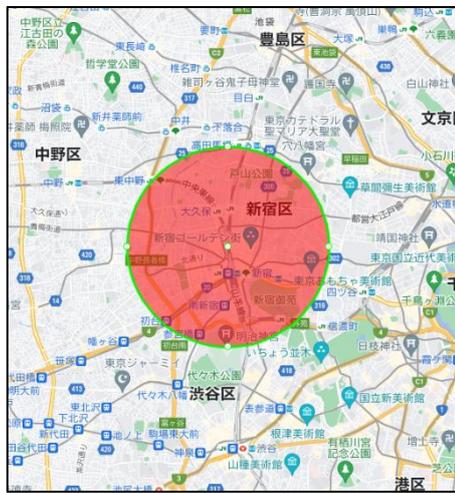
名	テスト1	テスト2	テスト3
サンプルデータ1	サンプル1	1	<a href="https://sam">https://sam</a>
サンプルデータ2	サンプル2	2	<a href="https://sam">https://sam</a>
サンプルデータ3	サンプル3	3	<a href="https://sam">https://sam</a>
サンプルデータ4	サンプル4	4	<a href="https://sam">https://sam</a>
サンプルデータ5	サンプル5	5	<a href="https://sam">https://sam</a>

削除      更新

クリック

表示位置移動

エリア移動



- 頂点の変更後、エリア頂点編集ダイアログ内の「更新」ボタンを押下することで、変更が反映されます。

エリア頂点編集

- エリア移動  
1. 円の面部分をドラッグし、円全体を移動します。
- 半径変更  
2. "O"で表示されている円の頂点をドラッグし、円の大きさを変更します。
- エリア更新  
3. 「更新」ボタンでエリアを更新します。

クリック

戻る      編集キャンセル      更新



※編集中のエリア付近に表示されるマークをクリックすると、操作の一つ前に戻ります。

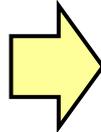
※「編集キャンセル」ボタンをクリックすると、最初の状態まで戻ります。

■ 属性の並び替え、検索をする場合

- データパネル上部をクリックすると、ポップアップメニューが表示され、並びの変更やデータの検索を行えます。

エリア名	デ
サンプルデータ1	サ
サンプルデータ2	サ
サンプルデータ3	サ
サンプルデータ4	サ
サンプルデータ5	サ

削除 更新



昇順  
降順

部分一致 ▾ 検索条件を入力してください。🔍

検索解除

■ 編集する場合

- 編集したいデータを選択し、値を入力後、「更新」ボタンをクリックすると、属性を編集できます。

エリア名	テスト1	デ
	型：文字	
サンプルデータ1	更新データ1	
サンプルデータ2	サンプル2	
サンプルデータ3	サンプル3	
サンプルデータ4	サンプル4	
サンプルデータ5	サンプル5	

削除 更新



エリア名	テスト1	デ
	型：文字	
サンプルデータ1	更新データ1	
サンプルデータ2	サンプル2	
サンプルデータ3	サンプル3	
サンプルデータ4	サンプル4	
サンプルデータ5	サンプル5	

削除 更新

■ 削除する場合

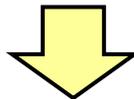
- 削除したいデータを選択し、「削除」ボタンをクリックします。その後、表示される確認画面で「はい」ボタンをクリックするとデータを削除できます。

サンプル-エリア 1 (6件) 自動開閉 ON データパネル ▾

エリア名	テスト1	テスト2	テスト3
	型：文字	型：数字	型：URL
サンプルデータ2	サンプル2	2	<a href="https://sample2">https://sample2</a>
サンプルデータ3	サンプル3	3	<a href="https://sample3">https://sample3</a>
サンプルデータ4	サンプル4	4	<a href="https://sample4">https://sample4</a>
サンプルデータ5	サンプル5	5	<a href="https://sample5">https://sample5</a>
サンプルデータ6	サンプル6	6	<a href="https://sample6">https://sample6</a>

削除 更新

1/1



昇順  
降順

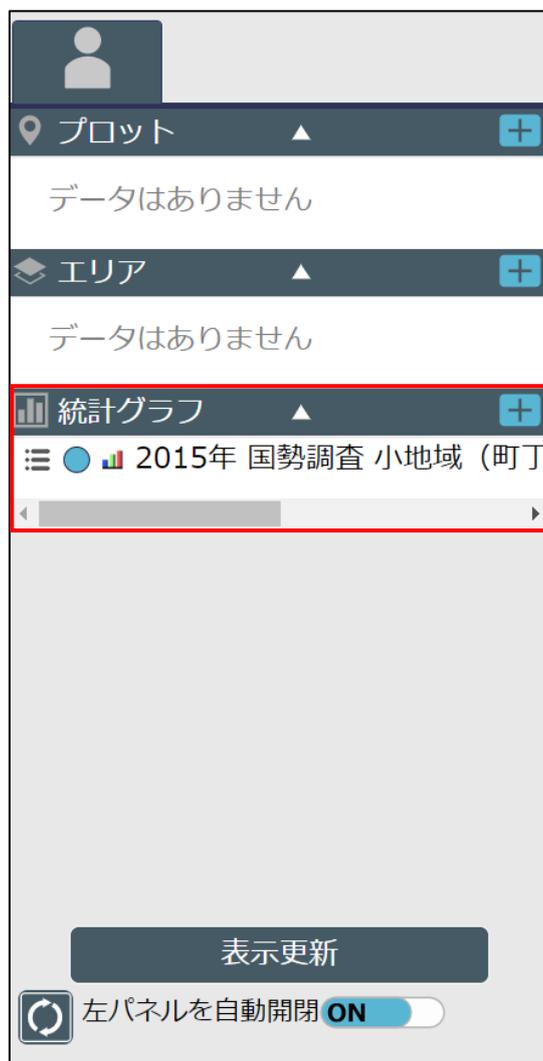
部分一致 ▾ 検索条件を入力してください。🔍

検索解除

## 7 グラフ操作(統計データ)

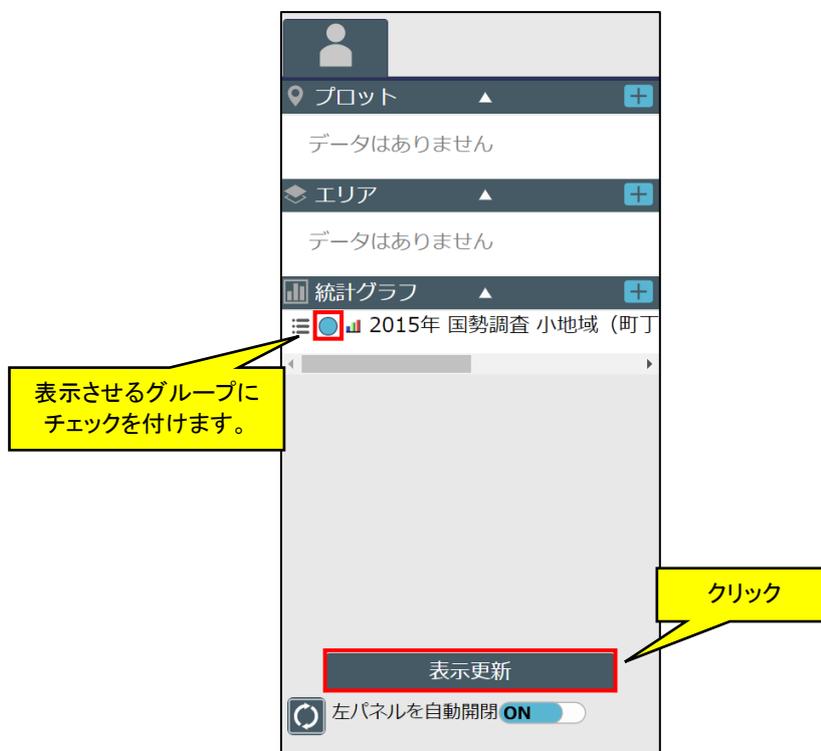
### 7.1 グラフパネル

- ・ グラフの表示／非表示、グラフ抽出、グラフ削除などは、左パネルの「統計グラフ」から操作します。



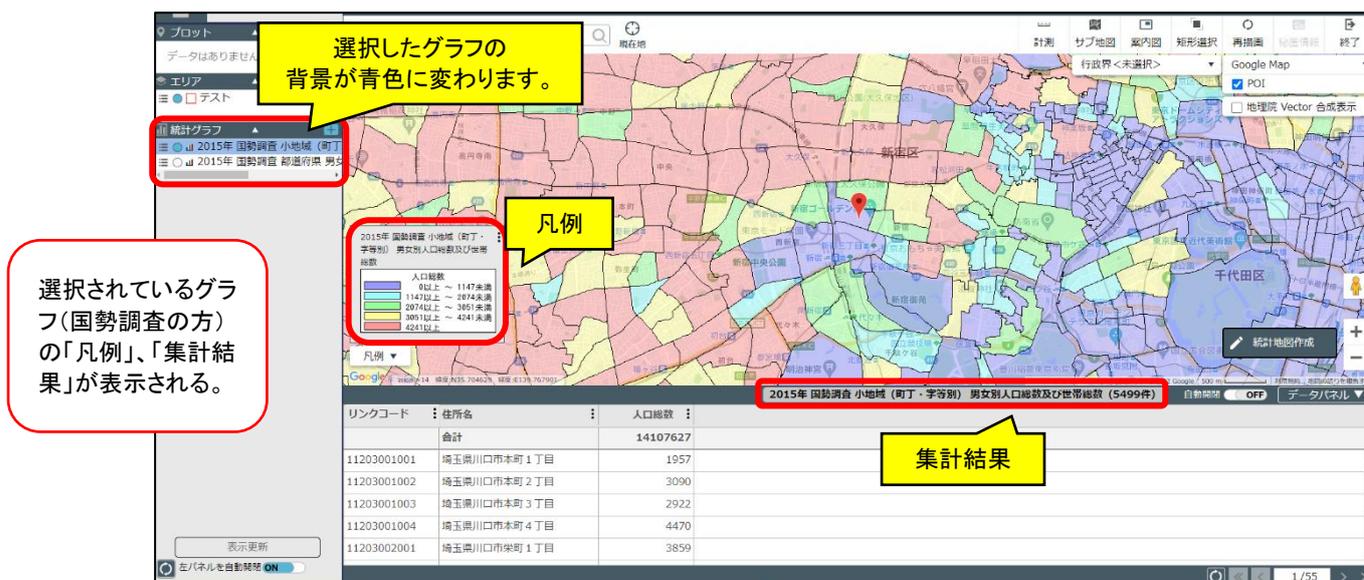
## 7.2 グラフの表示／非表示

- 統計グラフ操作領域では、チェックボックスの ON/OFF によって表示／非表示を切り替えることができます。チェック状態を変更した後、「表示更新」をクリックすることで地図上に反映されます。



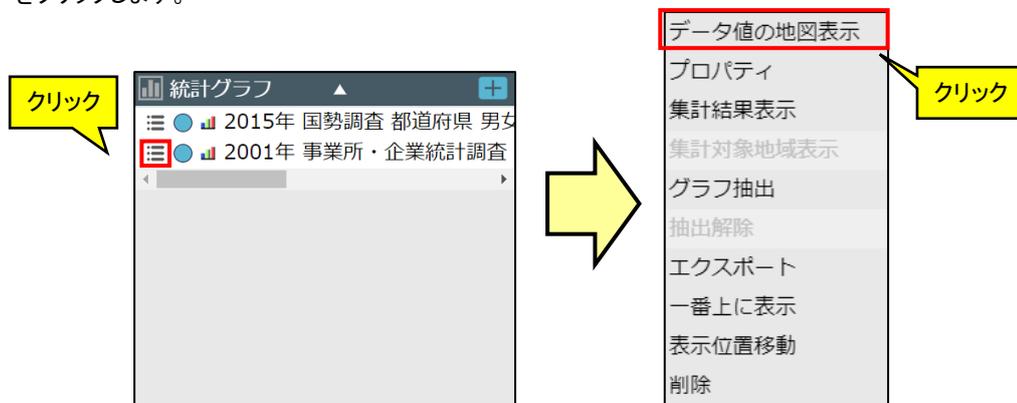
※ 非表示にする場合は、チェックを外して「表示更新」ボタンをクリックします。

- グラフ操作領域でクリックすると、選択したグラフの背景色が青色になります。凡例表示、集計結果表示は、選択されているグラフのものが表示されます。



### 7.3 グラフのデータ値表示

- ・ グラフのデータ値(統計値やプロット集計、エリア集計結果の値)は地図上に表示することができます。
- ・ グラフ操作領域で、表示させたいグラフの左端部をクリックして、ポップアップメニューから「データ値の地図表示」をクリックします。



**データ値表示**

データ値表示 表示 非表示

表示する項目 (6つまで)

リンクコード

都道府県名

支庁名

郡名/市名/特別区名

重なるラベル配置を自動調整

数値属性値を表示する場合に桁区切りを行う

▲ 文字設定

文字サイズ 小 中 大

文字色 #000000  全項目に設定  項目別に設定

▲ 背景設定

背景を塗り潰す 背景色 #e8ffff

囲み線を表示 線色 #000000

▲ 余白設定

左右 2 - + 上下 2 - +

適用

ラベルの表示/非表示設定

データ値に表示する項目の設定

文字サイズ小・中・大の設定  
文字色の設定

データ値の余白

重なるラベル配置の自動調整の設定  
数値属性値の桁区切り設定

ラベルの枠の設定  
背景: 塗り潰し ON/OFF および色  
囲み線: 表示 ON/OFF および色

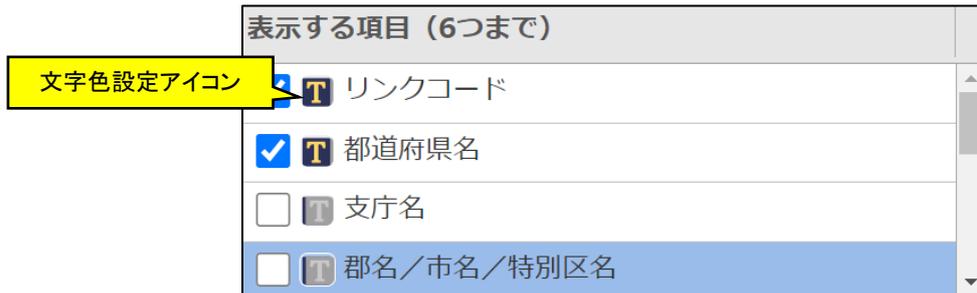
クリック

- ・ データ値を表示する場合は、「表示する項目」から表示したい項目をチェックして、「適用」をクリックします。



「文字設定」の「文字色」で選択した色で、地図上に表示されます。

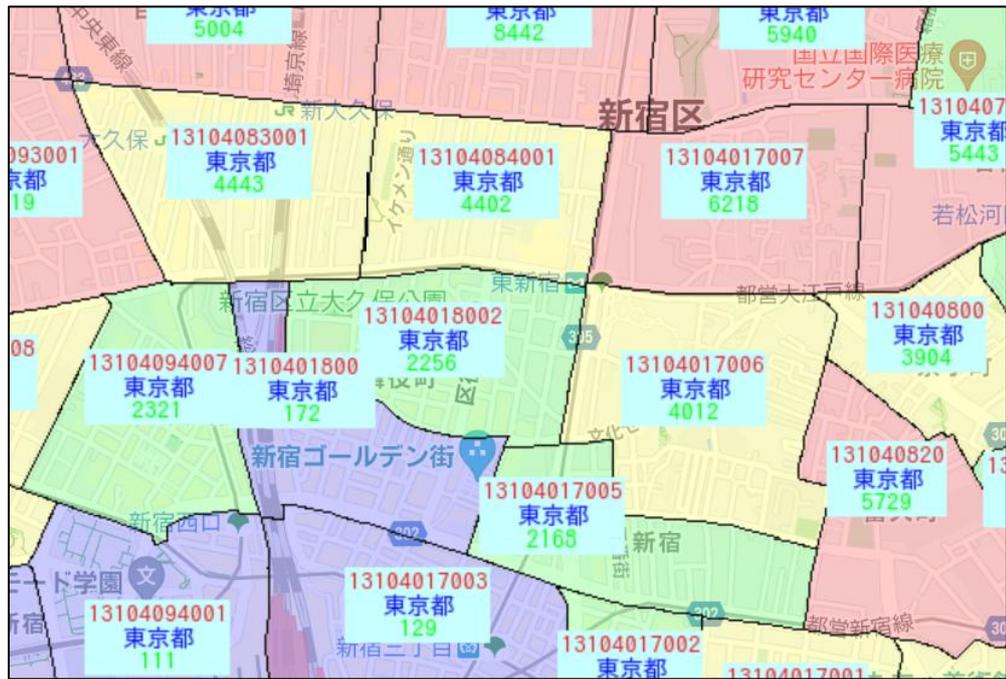
- ・ データ値の表示色を個別に設定することもできます。「文字色」のところにある、「項目別に設定」を選択してください。「表示する項目」のチェックの横の「文字色設定」アイコンが有効になります。



「文字色設定アイコン」をクリックすると、カラーパレットが表示されますので、文字色を選択してください。

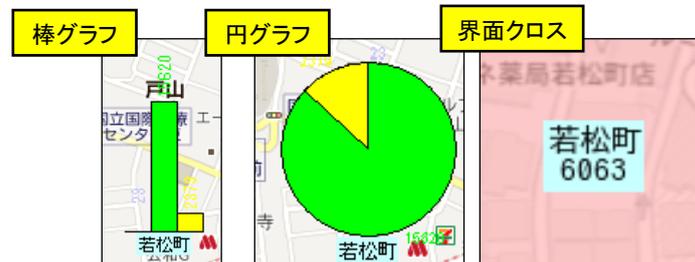


「適用」をクリックすると、地図上のグラフにデータ値が表示されます。



※ データ値のデザイン等は変更できません。

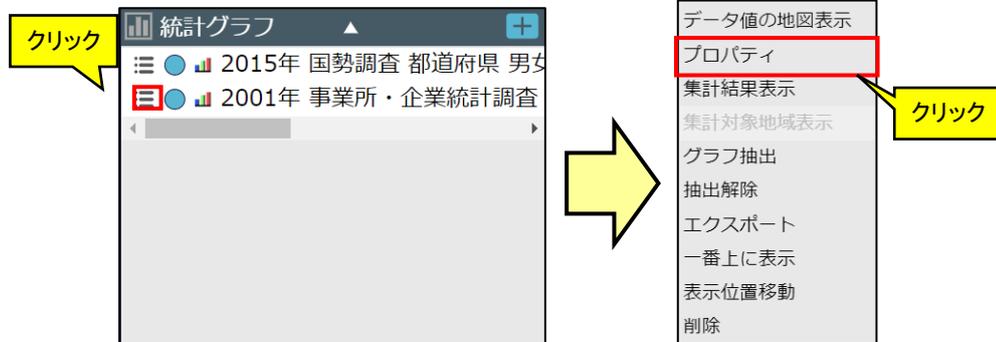
※ 棒グラフや円グラフ、界面クロスでも以下のようにデータ値が表示されます。



※ 広域(小縮尺)で表示している場合は、データ値は表示されません。

## 7.4 プロパティ

- ・ グラフの種類(界面グラフ、棒グラフなど)を変更したり、ランク分けの分類や色合いを変更する場合は、プロパティ画面で行います。
- ・ グラフリスト左端部をクリックして、ポップアップメニューから「プロパティ」をクリックします。



- ・ 以下のように、「グラフプロパティ」画面が表示されます。



### 7.4.1 配色設定について

- ・ 各種画面内には、配色値を設定できる以下のようなコントロールがあります。

ランク 1 #9999ff

- ・ クリックすることで、色の選択ができます。

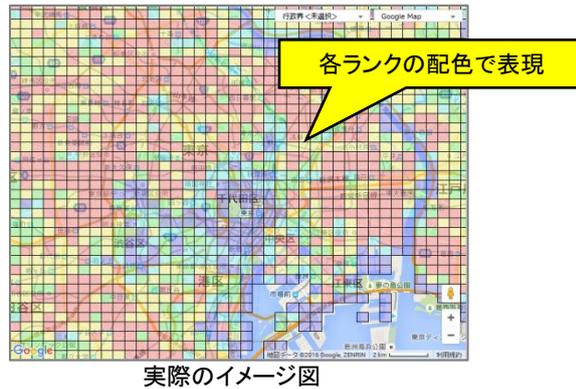
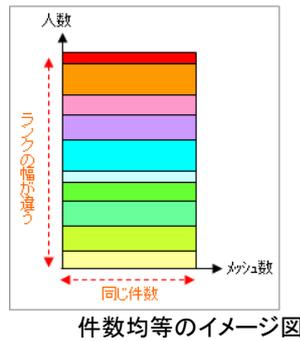


### 7.4.2 ランク種類の違いについて

- ・ 界面グラフ、界面クロスでは、ランク数に応じて自動的にランクを振り分ける「ランク種類」があります。5種類のランク種類にはそれぞれの特徴がありますので、以下に記載します。

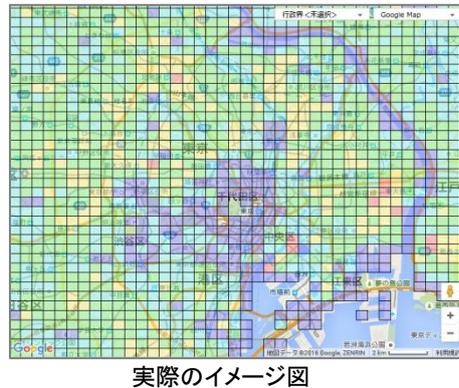
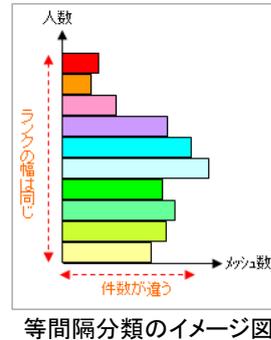
#### ■ 件数均等

- ・ 「件数均等」は、各ランクに属する件数が等しくなるようランク分けする機能です。各ランクで件数が均等になるように配分するため、グラフの配色が全体的に均一になり、集計した地域内での相対的な増減が分かりやすくなります。



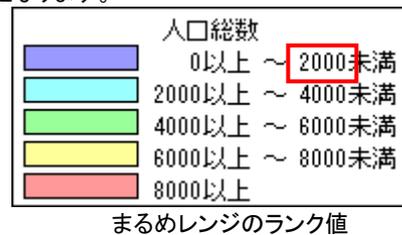
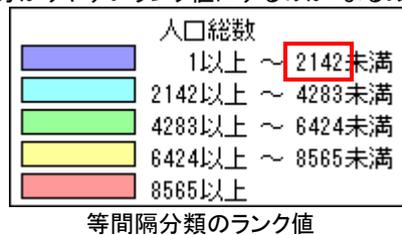
#### ■ 等間隔分類

- ・ 「等間隔分類」は、集計対象の統計データの最小値～最大値を指定のランク数で割り、ランク幅が等しくなるよう分ける機能です。



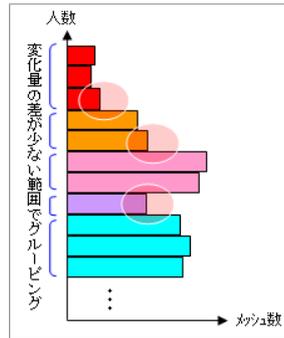
#### ■ まるめレンジ

- ・ 「まるめレンジ」は、前述の「等間隔分類」と同じ機能となります。ただし、分類するランクの数値に端数を出さないように分かりやすいランク値にするのが「まるめレンジ」となります。



#### ■ 自然分割

- ・ 「自然分割」は、件数やデータの値によって分割するのではなくデータの変化量が比較的大きいところに閾値を設定しランク分類を行う機能です。この機能は、地域ポテンシャルの分布特性を把握する場合に使用します。



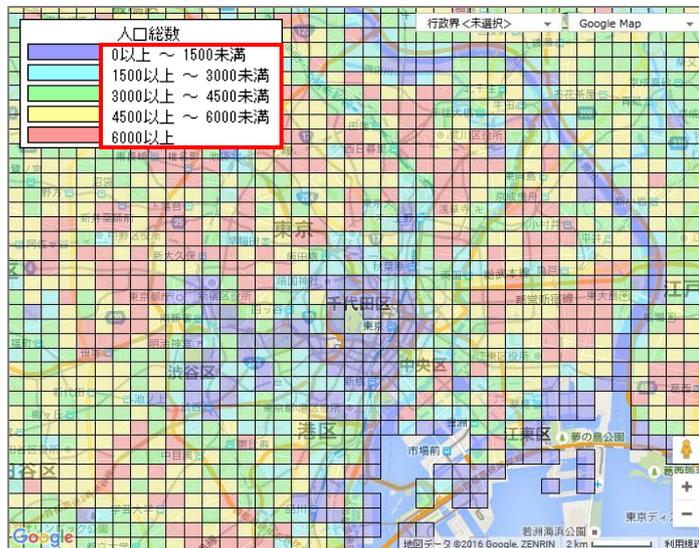
自然分割のイメージ図



実際のイメージ図

■ ランク差指定

- ・「ランク差指定」は、各ランク値の間隔を手入力によって分割する方法となります。



- ・ 上図は、各ランク値を「1500」単位で分類したサンプルとなります。

■ 個別指定

- ・「個別指定」は、各ランク値を手入力によって直接指定する方法となります。

グラフプロパティ 選択したグラフの編集が行えます。

グラフ名称 2015年 国勢調査 小地域(町丁・字等別) 男女別人口総数及び世帯数

指標 人口総数  
値範囲 0~9202

ランク種類

- 件数均等
- 等間隔分割
- 丸めレンジ
- 自然分割
- ランク差指定
- 個別指定

ランク数 5ランク

透過率 50%

ランク色・ランク値設定

ランク	色	値
ランク1	#9999ff	0
ランク2	#99ffff	431
ランク3	#99ff99	951
ランク4	#ffff99	2442
ランク5	#ff9999	4558
ランク6		
ランク7		
ランク8	#FFFFFF	
ランク9	#FFFFFF	
ランク10	#FFFFFF	

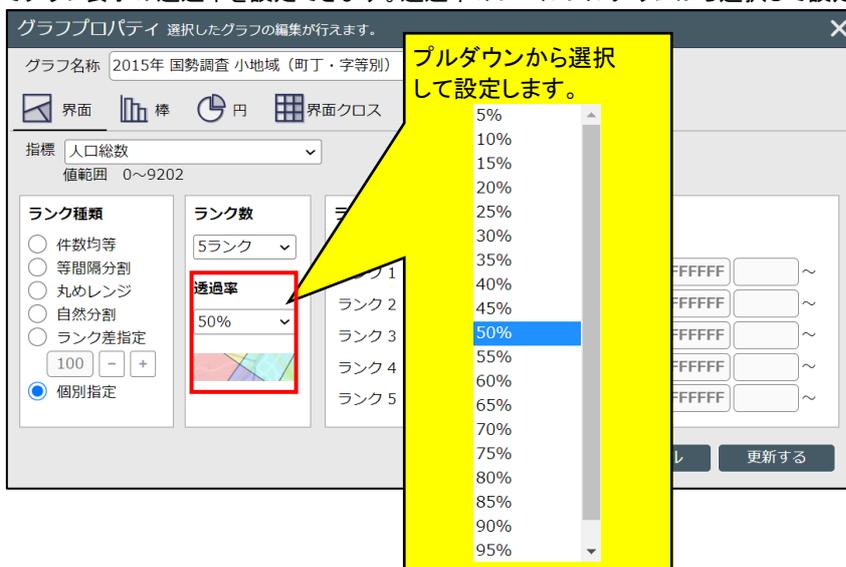
直接入力

選択

キャンセル 更新する

### 7.4.3 グラフの透過率

- ・ 地図に対してグラフ表示の透過率を設定できます。透過率のレベルプルダウンから選択して設定します。



### 7.4.4 界面グラフのプロパティ

- ・ グラフプロパティで「界面グラフ」を選択し、地図上にグラフ表示する「指標」、「ランク種類」、「ランク数」、「ランク色」の各種設定が行えます。設定完了後は「更新する」ボタンで地図上に反映されます。
- ・ 界面グラフのプロパティとして、集計値範囲を表示します。



※ここで表示している集計値範囲の値は、集計対象とした地域全体の中での最小値～最大値です。

※「ランク種類」の各種詳細については、「7.4.2 ランク種類の違いについて」を参照ください。

※「ランク数」で設定したランク数分のランク色の設定ができます。

※「ランク色設定」での色の設定方法は、「7.4.1 配色設定について」を参照ください。

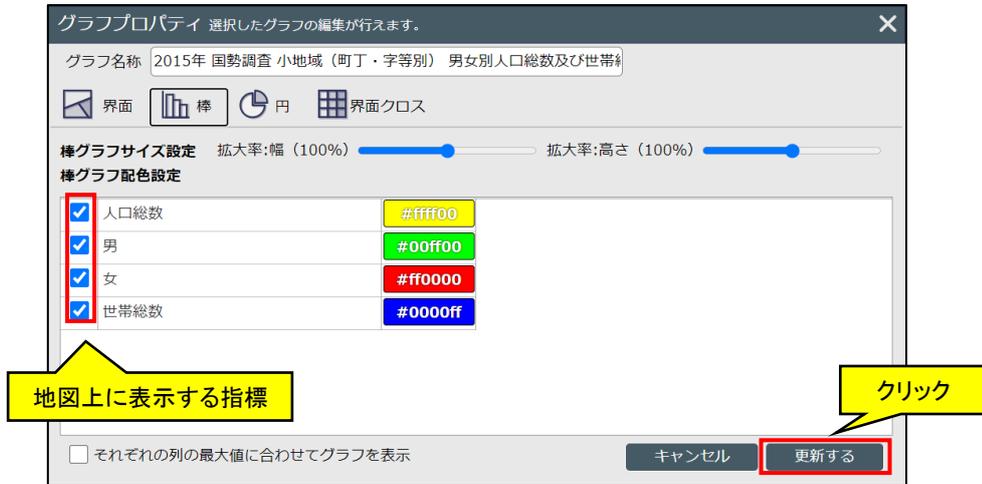
※「ランク色設定」でグラデーションにチェックした場合は、ランク1と「ランク数」で設定した最高ランクの色設定のみの表示ができます。



※ 同心円エリア等重なっているエリアで集計した界面グラフは、初期設定のままでは下のエリアの塗り色と混ざって、ランク色通りの色にはなりません。透過率を「5%」、ランク色設定を「グラデーション」に設定すると、下のエリアの塗り色の影響を受けにくくなります。

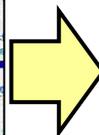
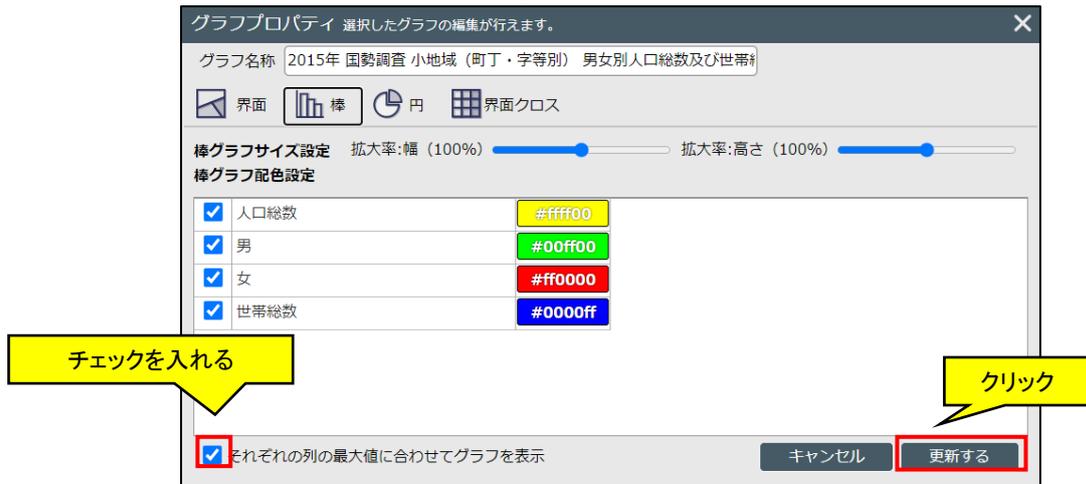
### 7.4.5 棒グラフのプロパティ

- ・ グラフプロパティで「棒グラフ」を選択した場合は、表示する指標のチェックと配色の設定ができます。設定後は、「更新する」ボタンをクリックすることで地図上に反映されます。



- ※選択可能な指標は 10 指標までとなります。
- ※「ランク色設定」での色の設定方法は、「7.4.1 配色設定について」を参照ください。

- ・ 棒グラフのプロパティ画面下部、「それぞれの列の最大値に合わせてグラフを表示」にチェックを入れると、各統計データの最大値に合わせた棒グラフが表示されます。



基準値が各統計データの最大値になる。

### 7.4.6 円グラフのプロパティ

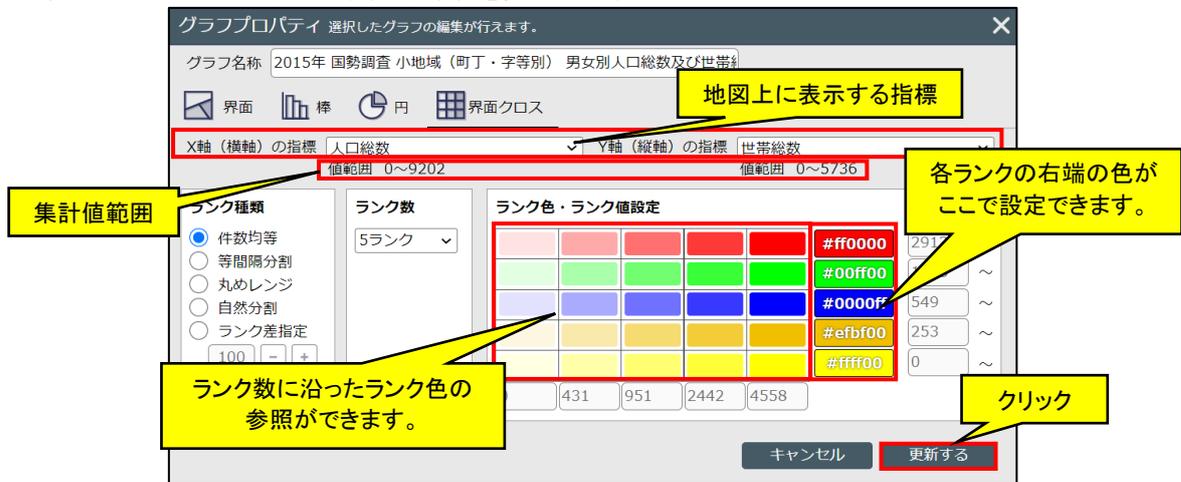
- ・ グラフプロパティで「円グラフ」を選択した場合は、表示する指標のチェックと配色の設定ができます。設定後は、「更新する」ボタンをクリックすることで地図上に反映されます。



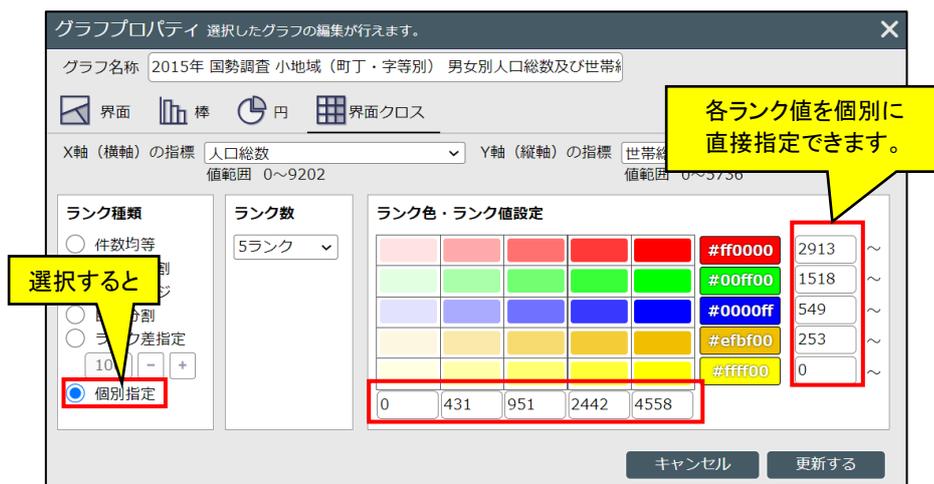
- ※ 選択可能な指標は 10 指標までとなります。
- ※ 「ランク色設定」での色の設定方法は、「7.4.1 配色設定について」を参照ください。

### 7.4.7 界面クロスのプロパティ

- ・ グラフプロパティで「界面クロス」を選択した場合は、地図上にグラフ表示する X 軸、Y 軸の「指標」、及び「ランク種類」、「ランク数」、「ランク色」の各種設定が行えます。設定完了後は、「更新する」ボタンをクリックすることで地図上に反映されます。
- ・ 界面クロスのプロパティとして、集計値範囲を表示します。



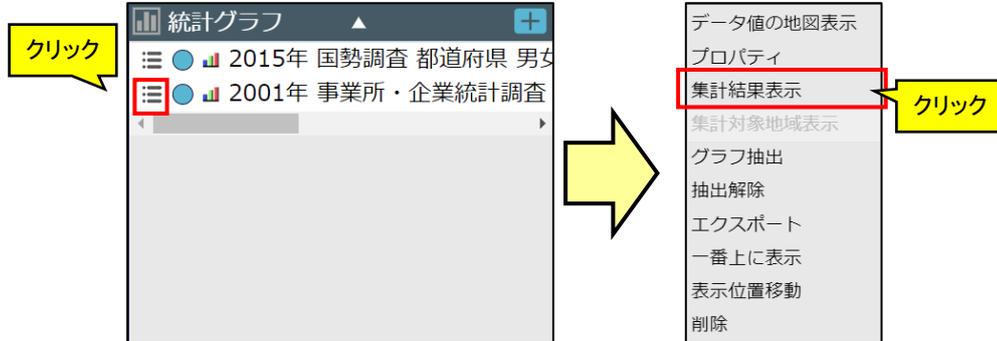
- ※ ここで表示している集計値範囲の値は、集計対象とした地域全体の中での最小値～最大値です。
- ※ 現在表示中心位置の市区町村や都道府県の集計値範囲は表示しません。



- ※ 上図の例の場合は、黄色が濃くなれば「世帯人員1人」の世帯が多く、薄い赤が多ければ「共同住宅」の世帯が多くなります。双方が多い場合は、濃い赤での表現となります。
- ※ 「ランク種類」の各種詳細については、「7.4.2 ランク種類の違いについて」を参照ください。
- ※ 「ランク数」で設定したランク数分のランク色の設定ができます。
- ※ 「ランク色設定」での色の設定方法は、「7.4.1 配色設定について」を参照ください。

## 7.5 グラフ集計結果表示

- ・ 作成したグラフの集計結果を表示することができます。
- ・ 集計結果を表示したいグラフをリスト左端部をクリックして、ポップアップメニューから「集計結果表示」をクリックします。



- ・ メイン地図下部のデータパネルに、集計結果一覧が表示されます。

2015年 国勢調査 小地域 (町丁・字等別) 男女別人口総数及び世帯総数 (227件)						自動開閉 ON	データパネル ▼
リンクコード	住所名	人口総数	男	女	世帯総数		
	合計	548657	273334	275323	33106	全データ件数	
13101002001	東京都千代田区大手町1丁目	3	3	0	3	全データの合計	
13101008001	東京都千代田区平河町1丁目	832	411	421	476	集計結果	
13101009001	東京都千代田区麴町1丁目	695	328	367	367		
13101009002	東京都千代田区麴町2丁目	627	298	329	330		

- ※ 1 ページに 30 件表示されて、31 件以降は 2 ページ以降に表示されます。
- ※ 合計欄は、ページ数に関係なく全集計結果の合計値が表示されます。
- ※ データパネルについての説明は、「7.15 データパネルからの操作」を参照ください。

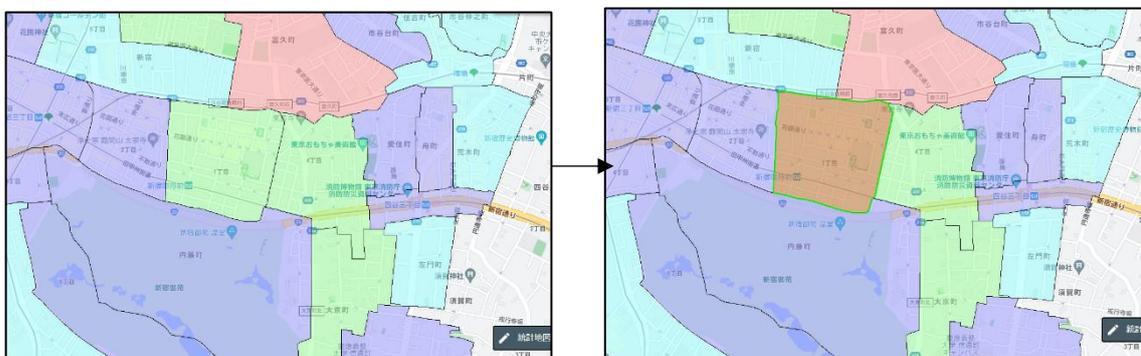
■ 条件抽出が行われていた場合

- ・ 条件抽出が行われていた場合は、抽出された内容だけが集計結果一覧に表示されます。

2015年 国勢調査 小地域（町丁・字等別） 男女別人口総数及び世帯総数 <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">10件</span> 自動開閉 ON データパネル ▼					
リンクコード	住所名	人口総数	男	女	世帯総数
	合計	76426	38129	38297	47041
13104084002	東京都新宿区大久保2丁目	8442	4421	4021	5736
13104093003	東京都新宿区北新宿3丁目	7090	3670	3420	4533
13104094004	東京都新宿区西新宿4丁目	7121	3785	3336	4872
13114003004	東京都中野区本町4丁目	6953	3383	3570	4440
13115002004	東京都杉並区和泉4丁目	7941	3813	4128	4223

※ 前述のグラフと同じものでも抽出結果が 10 件しかないため、集計結果一覧には 10 件しか列挙されません。

- ・ 各行の任意のデータを選択し、「表示更新」をクリックすると、選択した地域の境界線がハイライト表示します。
- ※Shift キー、または Ctrl キーで複数選択も可能です。
- ・ ハイライト表示を解除する場合、データパネル上のデータを再選択すると解除することができます。



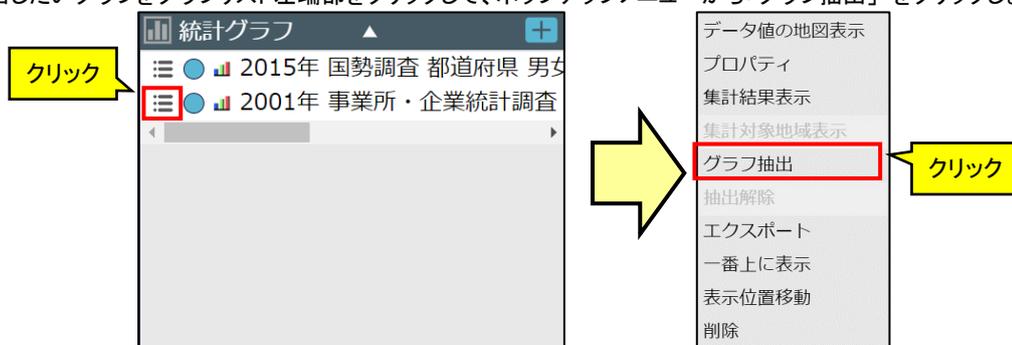
※「集計対象地域表示」メニューは、面積を按分しないで集計した場合の集計範囲表示を ON/OFF する機能です。ON の状態のときはメニュー名が「集計対象地域非表示」になります。

※このメニューは、エリア集計面積按分なしで作成したグラフの場合のみ有効です。

按分についての説明は、「4.3.8 エリア単位の集計」の「按分しない」「按分する」とはを参照ください。

## 7.6 グラフ抽出

- ・ 作成したグラフの集計結果からデータを抽出表示することができます。
- ・ 抽出したいグラフをグラフリスト左端部をクリックして、ポップアップメニューから「グラフ抽出」をクリックします。



・ 表示されるグラフ抽出画面では、以下の 3 種類の抽出を行うことができます。

- トップ 10 抽出 : 1 つの指標の上位〇件の抽出ができます。
- ランク抽出 : 色分けランクの上位だけ表示、下位だけ表示といった抽出ができます。
- 条件指定抽出 : 複数の指標に「〇以上〇以下」といった条件を付けて抽出ができます。

**グラフ抽出** ✕

抽出する方法を選択してください。※複数の抽出方法を同時に適用することはできません。

トップ10抽出   ランク抽出   条件指定抽出

抽出する指標をチェックしてください。

	指標
<input type="radio"/>	人口総数
<input type="radio"/>	男
<input type="radio"/>	女
<input type="radio"/>	世帯総数

抽出順序 :  降順    昇順   抽出数 : 上位 :  件を抽出する

タブによって抽出種類を切り替えます。

※タブ(抽出種類)をまたいでの抽出はできません。必ず 1 種類での抽出となります。

### 7.6.1 トップ 10 抽出

- ・ 「トップ 10 抽出」タブでは集計したグラフの指標 1 つに対して「上位〇件」の抽出を行うことができます。
- ・ 指標一覧部分で、指標を 1 つ選択し、「抽出順序」及び「抽出数」を設定して「抽出する」ボタンをクリックします。

**グラフ抽出** ×

抽出する方法を選択してください。※複数の抽出方法を同時に適用することはできません。

トップ10抽出    ランク抽出    条件指定抽出

抽出する指標をチェックしてください。

	指標
<input checked="" type="radio"/>	人口総数
<input type="radio"/>	男
<input type="radio"/>	女
<input type="radio"/>	

1つをチェック

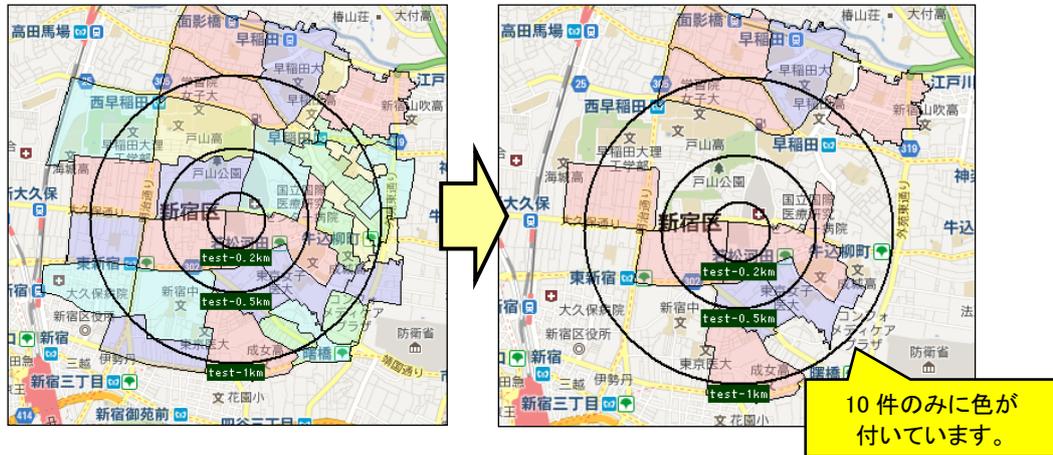
多い順(降順)か少ない順(昇順)かを指定します。

抽出数の指定

抽出順序:  降順     昇順    抽出数: 上位:  件を抽出する

抽出する

- ・ 以下のようなグラフの場合は、左図から右図のように抽出が実行されます。



- ※ 「上位 10 件」は、単純に上から 10 レコードを意味するものではありません。
- ※ 例えば降順で 10 を指定した場合は、値が大きい順に並べて上位 10 の「統計値」のものを抽出します。つまり、同一の統計値のものが複数レコード存在する場合は、抽出される件数としては 10 レコード以上となります。

## 7.6.2 ランク抽出

- ・「ランク抽出」タブでは、集計したグラフのランク値を使って抽出することができます。
- ・ 抽出したいランクのチェックを付けて、「抽出する」ボタンをクリックします。

**グラフ抽出** ✕

抽出する方法を選択してください。※複数の抽出方法を同時に適用することはできません。

トップ10抽出   ランク抽出   条件指定抽出

※棒グラフまたは円グラフの場合、ランク抽出はできません。

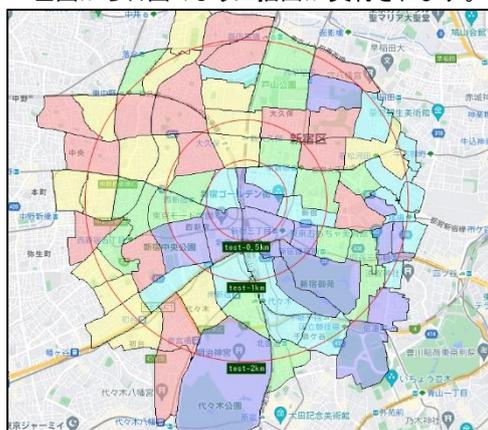
	ランク	配色
<input type="checkbox"/>	ランク1	#9999FF
<input type="checkbox"/>	ランク2	#99FFFF
<input checked="" type="checkbox"/>	ランク3	#99FF99
<input checked="" type="checkbox"/>	ランク4	#FFFF99
<input checked="" type="checkbox"/>	ランク5	#FF9999

表示させたいランクのみ  
チェックを入れます。

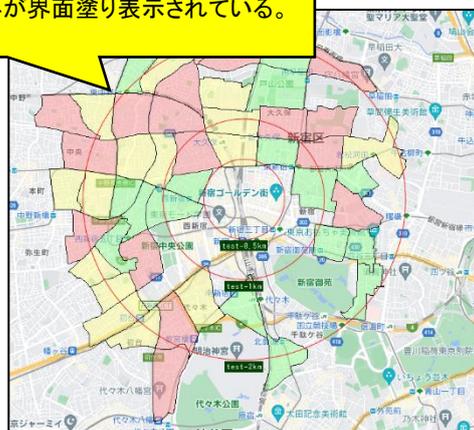
クリック

抽出する

- ・ 左図から右図のように抽出が実行されます。



チェックを入れたランク 3,4,5  
のみが界面塗り表示されている。



### 7.6.3 条件指定抽出

- ・「条件指定抽出」タブでは、各データ値に対して数値を使って抽出することができます。
- ・ 抽出したい指標にチェックを付けた上で、条件を入力し、「抽出する」ボタンをクリックします。

**グラフ抽出** ✕

抽出する方法を選択してください。※複数の抽出方法を同時に適用することはできません。

トップ10抽出   ランク抽出   条件指定抽出

条件指定抽出は、条件を満たす境界を選択します。条件式は【地域項目】と、【統計項目】各々3項目まで設定できます。

**抽出対象の選択** :  グラフ集計範囲    全国データ

有効	抽出指標	演算子	値	AND/OR	クリア
<input checked="" type="checkbox"/>	都道府県名	一致する	東京都	AND	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<指定無し>	<指定無し>		AND	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<指定無し>	<指定無し>			

**抽出条件を ON にする場合にチェックを入れます。**

**値には直接入力が可能です。**

**「条件 1」や「条件 2」は以下のドロップダウンから選択します。**

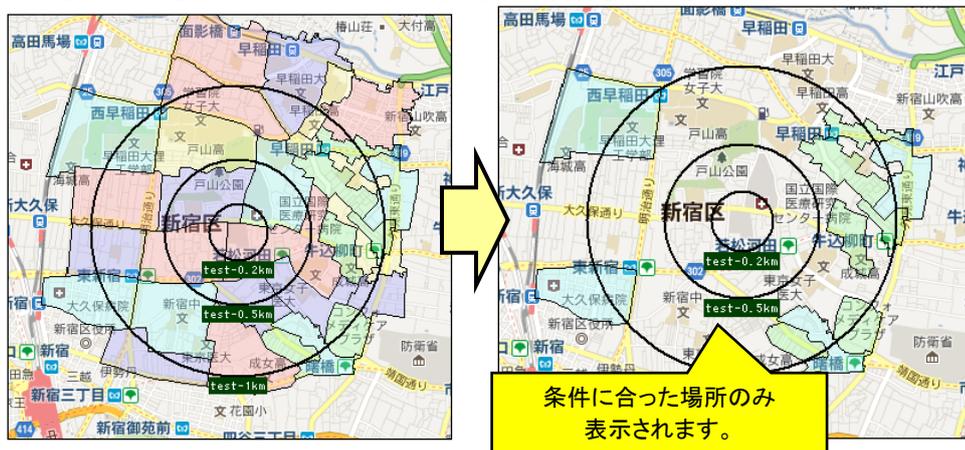
有効	抽出指標	値 1	条件 1	値 2	条件 2
<input type="checkbox"/>	<指定無し>	0	<指定無し>	0	<指定無し>
<input type="checkbox"/>	<指定無し>	0	<指定無し>	0	<指定無し>
<input type="checkbox"/>	<指定無し>	0	<指定無し>	0	<指定無し>

**クリック** **抽出する**

- ※ 「抽出対象」をグラフ集計範囲か全国データかを選択します。
- ※ 抽出対象機能は、小地域もしくは標準地域メッシュ統計データのみで構成されたグラフの場合だけ表示されます。プロット、エリアのグラフのときは表示されません。
- ※ 小地域もしくは標準地域メッシュ統計データは集計範囲が画面表示範囲でですが、これに対して、「全国データ」を選択して抽出を行なった場合、抽出対象となったグラフは、抽出結果地域のデータで上書きされます(=元のグラフデータは失われます)。つまり元の画面表示範囲の集計グラフではなく、条件に合致した小地域(メッシュ)からなるグラフになります。抽出解除でも元には戻りません。なお、抽出結果が1万件を超える場合は、「抽出件数が上限(1万件)を超えました。条件を絞り込んでください。」のメッセージが表示され、抽出を行いません。

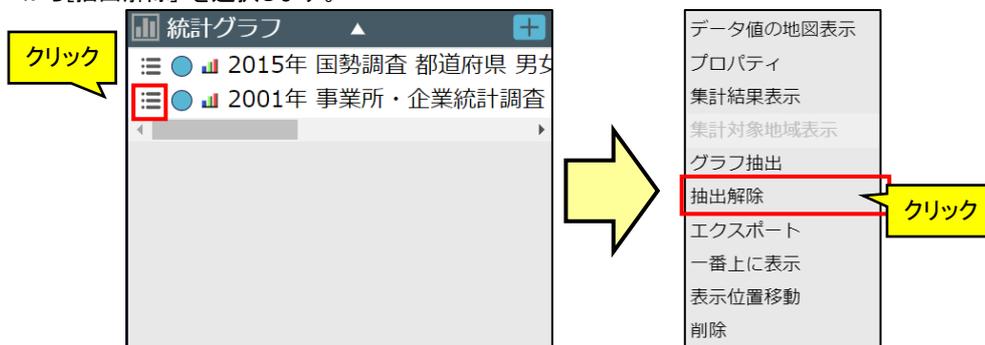
- ※ “値 1 と条件 1”、“値 2 と条件 2”はセットで設定します。
- ※ 複数の指標にチェックを入れて、それぞれに条件を入力することもできます。

- ・ 以下のようなグラフの場合は、左図から右図のように抽出が実行されます。



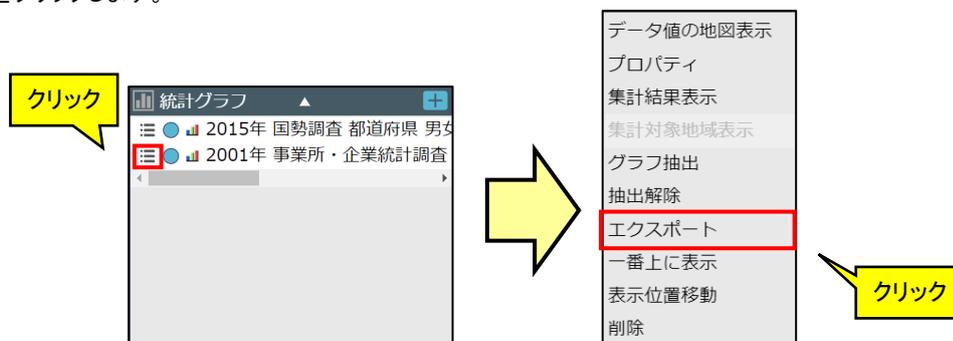
## 7.7 グラフ抽出解除

- 設定した条件抽出を解除する場合は、解除するグラフを反転選択し、リスト左端部をクリックして、ポップアップメニューから[抽出解除] を選択します。

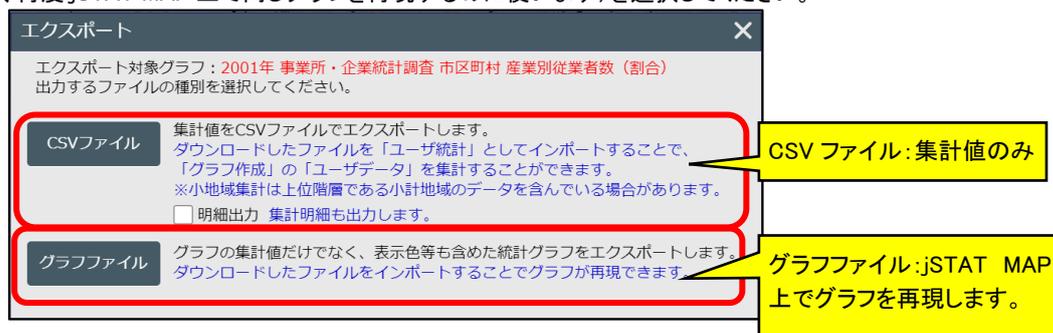


## 7.8 グラフのエクスポート

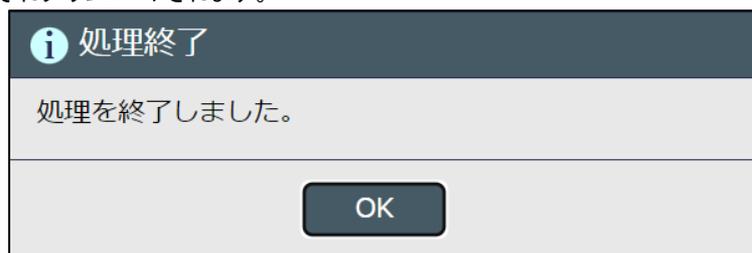
- 集計した結果をファイルに出力する場合は、グラフリスト左端部をクリックして、ポップアップメニューから「エクスポート」をクリックします。



- グラフエクスポート画面が表示されますので、「CSV ファイル」(集計値)か「グラフファイル」(作成したグラフの表示設定を保存し、再度 jSTAT MAP 上で同じグラフを再現するのに使います)を選択してください。



- エクスポートが完了すると、以下のような画面が表示され、エクスポートのファイルタイプによって、.csv、.gsf のファイルがそれぞれダウンロードされます。



※Excelなどで開くと1列目の小地域コードなどにある「01101000001」が、「1101000001」などと、ゼロが削れてしまいますのでご注意ください。

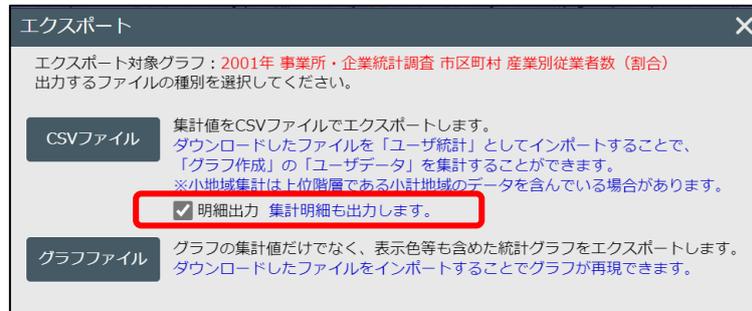
(頭ゼロが欠けた状態で保存した CSV ファイルを「ユーザデータの登録」でシステムに取り込む場合は、小地域コードが10桁のものについては頭ゼロを補完して登録しますので、jSTAT MAP 内では正しく集計することができます。)

※エリア集計したグラフを CSV 保存した場合、「コード」カラムは内部のエリア ID、「地域名」カラムはエリア名称となります。ただし、本システムの「行政界エリア登録」機能で作成したエリアについては、「コード」カラムに小地域コードが出力されます。

※グラフファイルに保存される項目は以下です。

- ・ グラフ名
- ・ 指標集計値
- ・ 透過率
- ・ 界面・棒・円・界面クロスグラフプロパティ
- ・ エリア集計時の明細(小地域/メッシュ)
- ・ 集計対象の形状(小地域、エリア)

※グラフの集計地域がエリアの場合、「明細出力」欄をクリックして CSV ファイルをエクスポートすると、集計されたグラフデータごとにファイルが出力されます。(ファイル名は、「明細\_[グラフデータ名].csv(tsv)」です。)

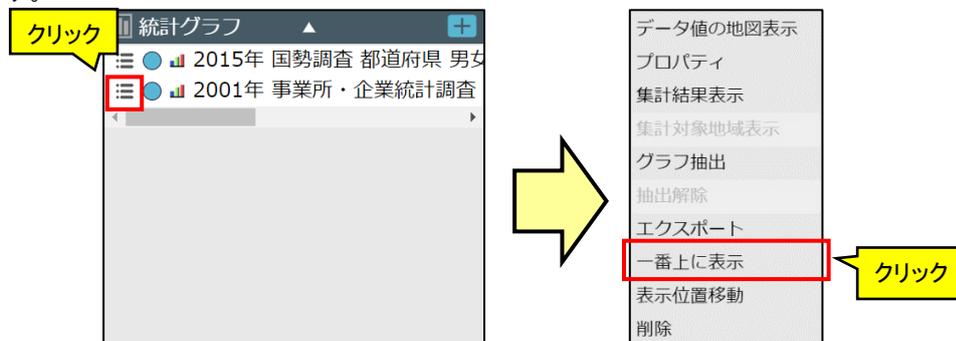


## 7.9 グラフの表示順序変更

- ・ 以下のようにグラフのデータ値とその他のグラフが上下逆になってしまいデータ値が見えにくくなることがあります。このような場合は、上下の順序を入れ替えることで改善できます。



- ・ 上部に持って行きたいグラフをグラフリスト左端部をクリックして、ポップアップメニューから「一番上に表示」をクリックします。



- ・ 以下のように上下関係が変更されて、地図上も店舗が上位に表示されます。



※プロットやエリアとグラフとの上下関係を変更することはできません。

## 7.10 表示位置移動

- グラフを登録した位置まで移動したい場合は、移動したいグラフの左端部をクリックして、ポップアップメニューから「表示位置移動」をクリックします。

The screenshot shows the '統計グラフ' (Statistics Graph) panel on the left with two graphs listed. The second graph, '2001年 事業所・企業統計調査' (2001 Business and Enterprise Statistics Survey), is selected. A yellow callout bubble labeled 'クリック' (Click) points to the left edge of this graph. A context menu is open, listing various actions. The '表示位置移動' (Move display position) option is highlighted with a red box, and a yellow callout bubble labeled 'クリック' (Click) points to it. Below the graph list, a map of Osaka is shown with a yellow callout bubble labeled '登録したグラフの位置に移動できます。' (You can move to the position of the registered graph). At the bottom, a table displays data for various wards in Osaka.

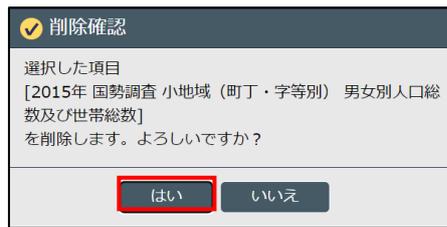
リンクコード	住所名	男	女
合計		932	
27115009006	大阪府大阪市東成区大今皇南6...	740	712
27115011002	大阪府大阪市東成区深江北2丁目	680	674
27115011003	大阪府大阪市東成区深江北3丁目	643	518
27115012001	大阪府大阪市東成区深江南1丁目	964	1075
27115012002	大阪府大阪市東成区深江南2丁目	832	930

## 7.11 グラフの削除

- グラフを削除する場合は、削除したいグラフの左端部をクリックして、ポップアップメニューから「削除」をクリックします。

The screenshot shows the '統計グラフ' (Statistics Graph) panel on the left with two graphs listed. The second graph, '2001年 事業所・企業統計調査' (2001 Business and Enterprise Statistics Survey), is selected. A yellow callout bubble labeled 'クリック' (Click) points to the left edge of this graph. A context menu is open, listing various actions. The '削除' (Delete) option is highlighted with a red box, and a yellow callout bubble labeled 'クリック' (Click) points to it.

- 以下のような確認画面が出ますので、「はい」ボタンをクリックすることで削除できます。



## 7.12 グラフ読み込み

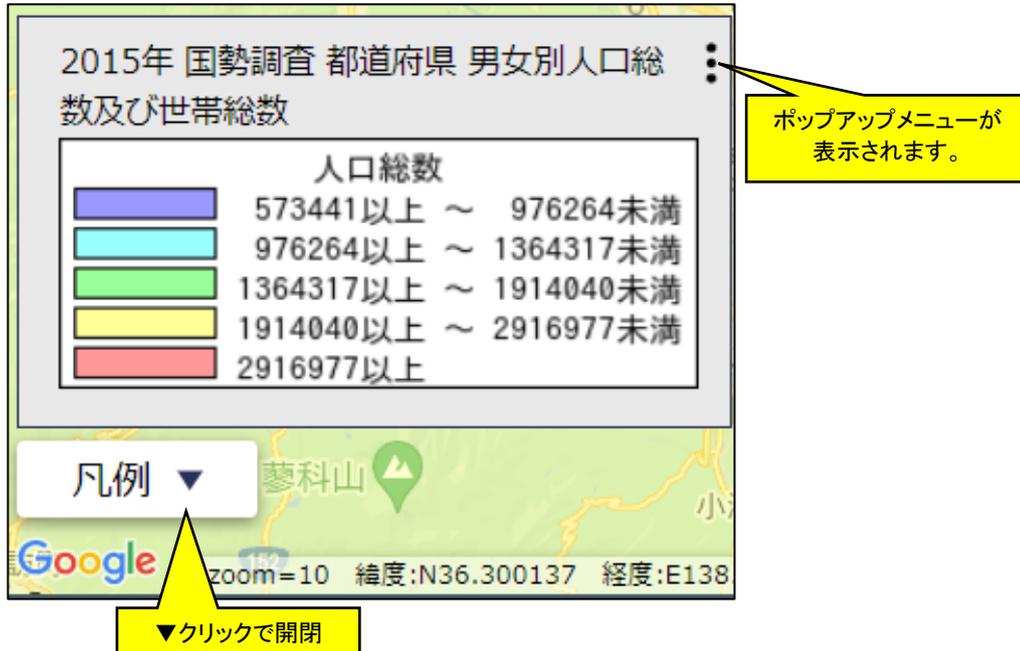
- ・ ファイルをインポートし、グラフとして登録することができます。
- ・ グラフセクション右上の「+」ボタンをクリックし、右図のポップアップメニューから「グラフ読込」ボタンをクリックし、ファイルのインポートを行えます。



※インポート方法については、「3.3.1 インポート」を参照ください。

## 7.13 グラフの凡例表示

- ・ グラフの凡例は、地図画面左下に表示されます。



※2 つ以上のグラフの凡例を表示することはできません。

## 7.14 グラフの凡例昇順・降順変更

- サブメニュー右上部をクリックすると、ポップアップメニューが表示され、凡例の並びを変更することができます。



## 7.15 データパネルからの操作

- データパネルから、「ハイライト表示」、「属性の並び替え」を行うことができます。

### ■ 地図上にハイライト表示する場合

- データパネル上のデータを選択すると、対応する地図上のエリアがハイライト表示されます。

リンクコード	住所名	人口総数
合計		642967
13114003006	東京都中野区本町6丁目	4806
13114004001	東京都中野区中央1丁目	5672
13114004002	東京都中野区中央2丁目	6397
13114004003	東京都中野区中央3丁目	5370
13114004004	東京都中野区中央4丁目	6516

※Shift キー、または Ctrl キーで複数選択も可能です。

- ハイライト表示を解除する場合、データパネル上のデータを再選択すると解除することができます。

### ■ 属性の並び替えをする場合

- データパネル上部をクリックすると、ポップアップメニューが表示され、並びの変更を行えます。

リンクコード	住所名	人口総数	男
合計		642967	
13114003006	東京都中野区本町6丁目	4806	
13114004001	東京都中野区中央1丁目	5672	3812
13114004002	東京都中野区中央2丁目	6397	
13114004003	東京都中野区中央3丁目	5370	
13114004004	東京都中野区中央4丁目	6516	

※ソートはページを跨ぐ全データを対象とします。(ページ内だけのソートではありません)。

## 8 利用上の注意事項

### 8.1 統計データについて

国勢調査で秘匿対象となっている小地域については、秘匿数値をゼロとし秘匿先に合算していますので、実際の数値分布と異なる小地域が存在します。

※小字がすべてゼロまたは秘匿対象である小地域の場合は、大字に合算しています(秘匿情報非表示の場合の地図表記ではゼロ)。

また、面積按分している集計値およびリッチレポートのエリア数値については、四捨五入の関係で合計値と合算値が異なる場合があります。

## 8.2 各種上限値

・本システムは Web 上で稼働する統計地理情報システムであるため、日本全土に渡るような広域・大量のデータ作成、集計が行われるとサーバやネットワークに大きな負荷がかかります。

他の利用ユーザ様への影響を避けるために、本システムでは比較的狭域でのエリアマーケティングでの利活用を想定し、以下の制約を設定しています。

また、下表で\*を付した操作については、上限を超えた場合でも一時データとして取り込むことが可能です。一時データは、ログアウトのタイミングで削除されます。

プロット	
住所マッチング	500 件 (1日あたり 1000 件) (1月あたり 3000 件)
緯度経度取り込み	2000 件

エリア	
到達圏エリア	車: 5~30 分、 30~80km/h 徒歩: 1~60 分、 1~20km/h (分の指定は整数のみ となります)
到達圏(プロットグループ指定)での1回の操作で作成できるエリア数	100 件
シェープファイル取り込み(*)	1000 件
KML 取り込み(*)	1000 件
GML 取り込み(*)	1000 件



グラフ	
指標最大選択数	20 指標
ユーザ統計ファイル	10,000 行
小地域、メッシュ指標集計時の制限	
集計最大表示縮尺	約 1/30 万
集計地域がエリアの場合の最大面積	315k m <sup>2</sup>

リッチレポート	
円	半径 10km
エリア	面積 315 k m <sup>2</sup>



【小地域/メッシュ集計最大表示縮尺範囲】

### 8.3 利用者登録による機能の比較

- ・ 利用登録をしているか(ログイン ID あり)、利用登録をしていないかにより、利用いただける機能が異なります。機能一覧については以下の表をご覧ください。

機 能	利用登録あり	利用登録なし
データの登録	✓	✓
データの保存	✓	✗
プロットの作成	✓	✓
エリアの作成	✓	✓
グラフの作成	✓	✓
データのインポート	✓	✗
データのエクスポート	✓	✗
シンプルレポートの作成	✓	✓
リッチレポートの作成	✓	✗